



北洋銀行

統合報告書

ディスクロージャー誌 本編

2021

経営理念

お客さま本位を徹底し、
多様な課題の解決に取り組み、
北海道の^{あす}明日をきりひらく



| 編 | 集 | 方 | 針 |

北洋銀行は、当行グループの持続可能な価値創造に向けた取組みを株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまにご理解いただくため、このたび「北洋銀行統合報告書2021（ディスクロージャー誌 本編）」を作成いたしました。本統合報告書は銀行法第21条に基づくディスクロージャー誌（業務及び財産の状況に関する説明書類）の本編を兼ねています。ディスクロージャー誌としてご利用の際は、本統合報告書ならびに「北洋銀行ディスクロージャー誌 資料編2021.3」をあわせてご参照ください。「北洋銀行ディスクロージャー誌 資料編2021.3」は当行ホームページ（<https://www.hokuyobank.co.jp/ir/library/disclosure.html>）に掲載しています。

CONTENTS

北洋銀行について	3 トップメッセージ 7 沿革
価値創造への成長戦略	9 価値創造プロセス 11 中期経営計画 15 財務ハイライト 16 非財務ハイライト 17 法人のお客さまの価値創造 29 個人のお客さまの価値創造 31 デジタル化による新たな価値の提供 32 アライアンスの広がり
社会課題への取組	33 サステナビリティへの取組 35 気候変動問題への取組 36 お客さまとの共通価値の創造への取組 38 環境保全への取組 41 医療福祉への取組 43 文化への取組 45 教育への取組
成長を支える経営基盤	47 人財育成とダイバーシティ 49 コンプライアンス（法令等遵守） 53 リスク管理 57 コーポレート・ガバナンス 61 社外取締役メッセージ 63 ステークホルダーとのコミュニケーション
企業情報	65 役員一覧 67 組織図・グループ会社 69 店舗等ネットワーク

北洋銀行の概要 (2021年3月31日現在)

● 設立年月日	1917(大正6)年8月20日
● 本店所在地	札幌市中央区大通西3丁目7番地
● 資本金	1,211億円
	資金量 99,907億円
● 主要勘定	貸出金 74,244億円
	総資産 118,238億円
● 発行済株式数	普通株式 399,060,179株
● 上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 札幌証券取引所
● 店舗数	171店
● 従業員数	2,695名

※本資料に記載の金額は、原則、単位未満を切り捨てて表示しています。

トップメッセージ

皆さまとの絆・信頼関係を
より深化させるために

取締役頭取 安田 光春



はじめに

厳しさを増す経営環境

皆さまには、日頃より北洋銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

コロナ禍の波に見舞われた2020年度の国内経済は、経済活動の制約が繰り返され、個人消費や企業収益の減少をはじめ、先行き不透明感の高まりによる設備投資の抑制なども相まって、リーマンショックを超える未曾有のマイナス成長となることが確実視されています。

また、当行の営業基盤である北海道経済においても、道内景気を牽引してきた観光関連産業がインバウンドの消滅などにより大きく落ち込んでいることや、度重なる道独自の対策期間の影響もあり、全国よりさらに厳しい状況にあると見ております。

こうした経済情勢に加え、地域の構造的課題である人口減少・少子高齢化の加速から、将来のマーケット縮小が見込まれているほか、金融環境においても、超低金利環境の長期化、デジタル化

の急速な進展やそれに伴う異業種の参入、新たなサービスの拡がりなど、これまで以上に厳しい経営環境が続くものと認識しております。

新・北洋銀行グループとして
スタートした1年

昨年、当行では、北洋銀行グループとして統一した新たな経営理念を策定し、この理念のもと、中期経営計画『共創の深化』をスタートさせました。お客さま本位を徹底したコンサルティング営業を柱として、お客さま・地域の多様なニーズ・課題に沿った最適なサービス・ソリューションを提供し、その解決にグループの総力を挙げて取り組むこと、この積み重ねが、お客さまの信頼となり、当行グループの企業価値を向上させ、北海道の持続可能な未来への貢献にもつながるとのこと…この1年は、まず、こうした根本のあるべき姿・ビジョンと取組みの実践を、あらためて浸透・定着させていくことから始めました。

中期経営計画『共創の深化』

コロナ禍に応じた取組み

中期経営計画『共創の深化』では、以下の4つの基本方針を掲げております。これらは、私どもが優先的に取り組むべき課題でもあり、その戦略が軸であることに変わりはありませんが、この1年は、コロナ禍の影響を受けたお客さまへの支援を最優先に、こうした環境変化に対応したサービスの拡充に取り組んでまいりました。

〈基本方針〉

1	お客さまに寄り添った コンサルティング営業の徹底	> P12 コンサルティング戦略
2	デジタル化を中心とした 取引の窓口拡大と効率化	> P13 デジタル戦略
3	深度あるコンサルティングの 実現に向けた人財育成	> P13 人財戦略
4	生産性向上とコスト削減へ 向けた取組みの加速	> P14 生産性向上戦略

コンサルティング戦略

個人・法人ともに対面取引が制約される環境下で進めたのが、Webを活用した面談態勢の構築であり、2021年1月より全店でご対応できる態勢を整えました。また、ニーズが高まっている医療保険など、非対面で完結可能な商品の拡充にも注力しました。

このほか、法人のお客さまへは、繰り返し深度ある対話「事業性理解」を通じて、円滑な資金繰り支援はもとより、事業の悩み・課題の解決に向けた、

ビジネスマッチングなどの本業支援や官民連携による資本性ローンを活用した経営改善支援など、様々なソリューション提供によるご支援を進めてまいりました。

デジタル戦略

この分野は、まさにコロナ禍の影響を受けて、あらためてその必要性が再認識されたのではないのでしょうか。先ほどのWeb面談をはじめ、スマートフォンによる通帳機能や口座開設、住所変更、キャッシュレスサービスなど、私どもも、環境変化に対応した、より利便性や付加価値の高いサービスの拡充に努めており、今年度中にはこうした各種サービスを一元化したポータルアプリを導入する予定です。また、今後のさらなるIT技術の進展やデジタル庁の新設など、重要性の高い分野でもあり、他行や異業種との連携も活用しつつ進めていきます。

人財戦略

昨年度は、コロナ禍により、オンラインによる研修が中心となりましたが、お客さま・地域に寄り添い、多様化するニーズや課題へ対応していくため、対話力やコンサルティング力を兼ね備えた専門性の高い人財の育成に力を入れています。

また、働きがいのある職場作りの一環として、この4月にタレントマネジメントシステムを導入し、人財情報の見える化や行内コミュニケーションの活性化を図っており、今後は適材適所の人財配置に活用し、職員のモチベーション向上につなげていきます。

トップメッセージ

生産性向上戦略

厳しい経営環境が続く中で、経費削減や業務効率化等により生産性を向上させていくことは当行グループの必須の課題であり、強力に進めています。具体的には、お客さまの利便性を可能な限り確保しつつ、店舗の集約やATMの外部委託による置換えを進めることで、コスト削減や人員創出につなげているほか、ワークフローシステム導入によるペーパーレス・印鑑レスの取組みにより、業務効率化に注力しています。

また、中長期的には大幅なコスト削減となる、TSUBASA基幹系システムへの移行に向けた準備も着実に進んでいます。



持続的経営の実現に向けて

ガバナンス体制の充実・強化

当行の経営体制としては、監査の独立性を確保する観点から、取締役会と監査役会を明確に分離する監査役会設置会社を選択しているほか、取締

役の指名・報酬等に関する意思決定の客観性と透明性を高めるため、独立社外役員が過半数を占め、かつ独立社外取締役が議長を務める任意の「指名・報酬等経営諮問委員会」を設置するなど、より効果的なコーポレートガバナンス体制の強化に努めています。

また、昨年より、社外取締役を4名とし、取締役に占める社外取締役の比率を1/3以上にするなど、ガバナンス体制の充実も図っています。

このほか、経営の最重要課題の一つと位置付けているコンプライアンスの徹底においては、経営理念を実現するための具体的な「行動規範」の一番に掲げ、全役職員の意識を高めるべく努めています。

持続可能な社会への取組み

この度のコロナ禍を受け、あらためて持続可能な地域社会や環境の重要性が問われていますが、当行では、2021年5月、これまでの「CSR基本方針」を発展的に見直し、新たに「サステナビリティ方針」を策定しました。これは、地域社会・環境の持続的発展への貢献と、当行グループの中長期的な企業価値向上および持続的経営の実現に向けて取り組むことを明確にするためです。そして、この方針のもとに、ESGおよびSDGsの取組みを進めることとしました。

併せて、気候変動問題への対応を進めるため、「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)提言」への賛同も表明しており、今後、気候関連リスク・機会の特定や評価のほか、リスク管理への反映など具体的な取組みを進めていきます。

株主還元方針

当行は、株主の皆さまへの総合的な利益還元を行うべく、原則、1株10円/年の安定的な普通配当金のお支払いや自己株式の取得などにより、総還元性向40%を目処とした株主還元方針を掲げております。2021年3月期については、配当性向41.2%という水準での還元となったことから、自己株式の取得は見送っていますが、今後も、株主の皆さまにご納得いただける利益還元の継続のため、当行グループの収益力や財務基盤の強化を図り、中長期的な企業価値の向上に努めてまいります。

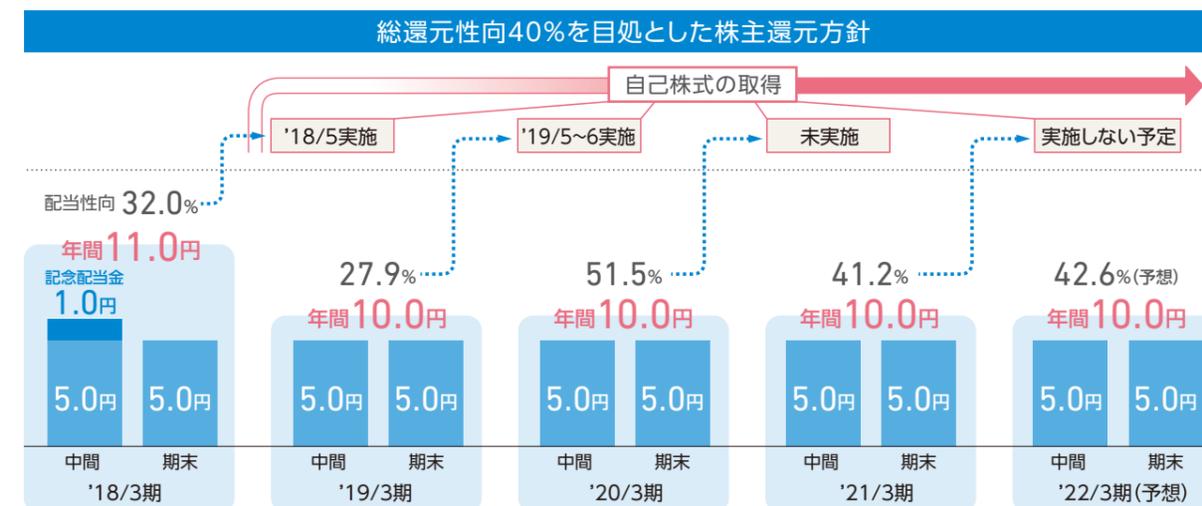
むすびに

皆さまからの信頼に応え続けていくこと

コロナ禍の終息は未だ見通しが立たず、依然として厳しい状況が続いていますが、私ども北洋銀行グループは、新経営理念のもと、環境変化に適応しつつ、こうした困難の中で果たすべきこと、ポストコ

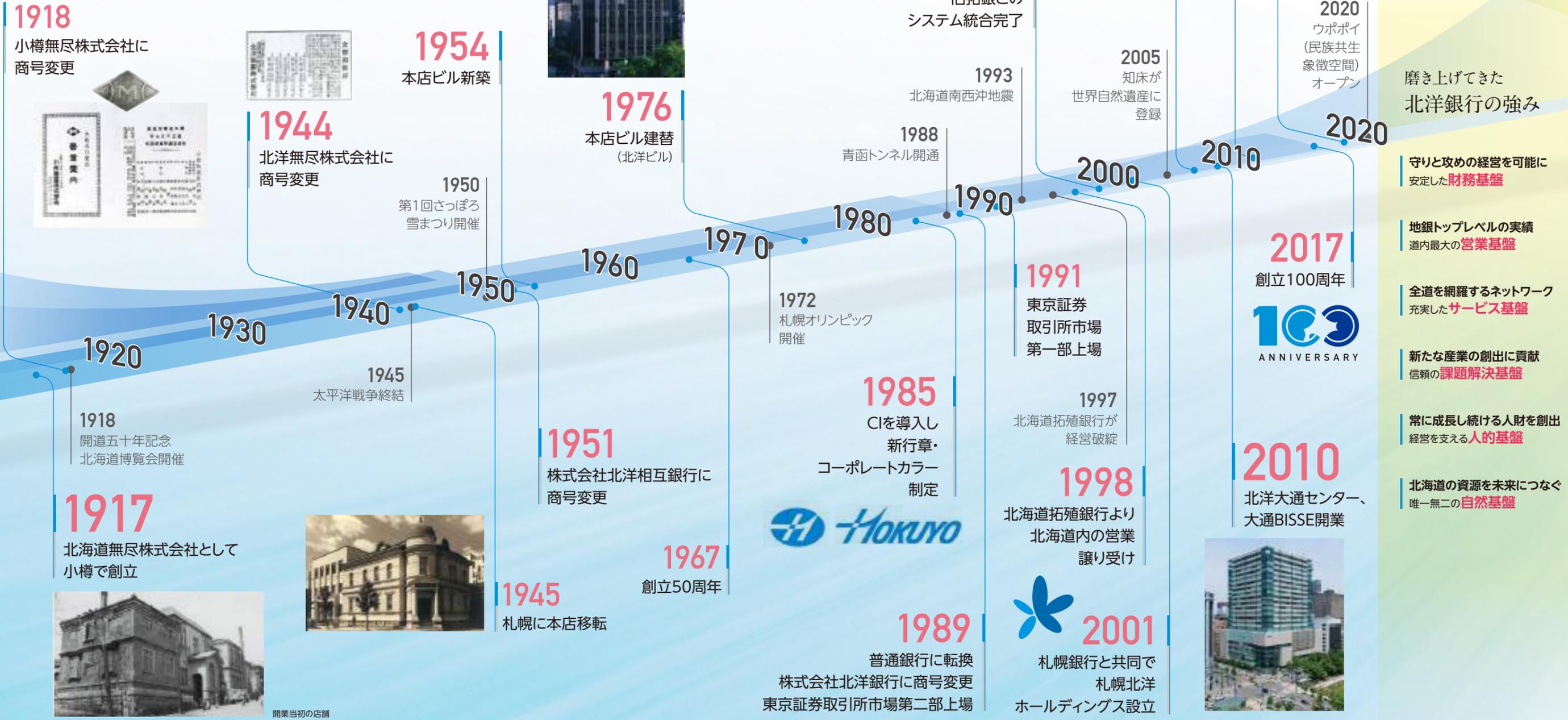
ロナを見据えて取り組むべきことを見失わず、一歩ずつ前に進んでいきます。

私どもの財産は、これまで時間をかけて築いてきた、そしてご支援いただいたお客さま、地域の皆さま、株主の皆さまとの絆であることを忘れず、皆さまからの信頼に応え続けていける銀行グループを目指してまいりますので、今後とも温かいご支援、ご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



北洋銀行の沿革

北海道無尽株式会社として設立された1917年に始まり、1951年の相互銀行転換、1989年の普通銀行転換を経て今へ。時代を越えて北海道と歩んできた当行の足跡をご紹介します。



1917 - 無尽会社の時代

1951 - 相互銀行の時代

1989 - 普通銀行の時代

次の100年へ

北洋銀行の価値創造プロセス

一人ひとりが役割を果たし 北海道の未来に貢献する

経済・産業・社会の構造変化が進む中、北洋銀行は、多様化・高度化するお客さまのニーズや課題にしっかりお応えする「お客さま本位」を経営理念の軸として、お客さまならびに地域の持続可能な未来に貢献してまいります。また、この価値創造プロセスをもって当行の企業価値を向上させ、株主価値の最大化を追求するとともに、職員の満足度を高めていくことで、全てのステークホルダーとの共通価値を創造してまいります。

外部環境

マイナス金利政策の長期化

デジタル化の急速な進展

ライフスタイルの変化

顧客ニーズの多様化

自然災害の増加

感染症等の社会リスク増大

少子高齢化による人口減少

経営基盤

財務基盤

- 充実した自己資本
- 優良な貸出資産

営業基盤

- 全国の地域銀行で
資金量 **第5位** 貸出金 **第6位**
メインバンク社数 **第1位** (2020年)

- 道内預貸シェア **第1位**

サービス基盤

- 道内に **169** の店舗網
- 店舗外ATM **424カ所** (2021年6月末)

課題解決基盤

- 北洋銀行グループの総力を結集した多彩なソリューション
- TSUBASAアライアンスによる広域かつタイムリーな情報ネットワーク

人的基盤

- 深度あるコンサルティングを提供できる専門性の高い人財
- 連結職員数 **3,106名**

自然基盤

- 広大な土地と豊かな自然環境
- 北海道の「食」「観光」による **ブランド力**

経営理念

お客さま本位を徹底し、
多様な課題の解決に取り組み、
北海道の明日をきりひらく

行動規範

- | | |
|---------------------------------------|------------------------------|
| 1 コンプライアンス・社会的責任を常に意識し、誠実に向き合う | 2 お客さまからの「ありがとう」を追求する |
| 3 職員一人ひとりを尊重し、チームワークを最大化する | 4 変化を恐れず、自ら考え挑戦する |

中期経営計画
『共創の深化』

【中期経営計画の目標】 > □ P11

～お客さま・地域から最も信頼されるパートナーを目指して～
【計画期間】 2020年4月1日～2023年3月31日(3年間)

コンサルティング戦略
よりそう

お客さまに寄り添った
コンサルティング営業の徹底

生産性向上戦略
むだなく

生産性向上とコスト削減へ
向けた取組みの加速

デジタル戦略
ひろげる

デジタル化を中心とした
取引の間口拡大と効率化

人財戦略
そだてる

深度あるコンサルティングの
実現に向けた人財育成



お客さま満足・
価値の最大化

北洋銀行グループの
収益向上

地域の持続可能性への
貢献

ステークホルダーにもたらす
価値

お客さま

- ▶ 幅広い商品・専門性の高いサービスのご提供
- ▶ ニーズや課題を的確に捉えたベストなご提案

株主・投資家

- ▶ 中長期的な企業価値の向上
- ▶ 透明性の高い情報開示と積極的な対話

地域

- ▶ 北海道の豊かさや魅力向上への貢献
- ▶ 地域の課題解決など持続可能な未来への牽引

職員

- ▶ 職員が夢や誇りを持って活躍できる職場の提供
- ▶ 多様な働き方の提供とワークライフバランス支援

※1 メインバンク社数は帝国データバンク「全国メインバンク動向調査」(2020年)による
※2 メインバンク社数・店舗外ATMを除き2021年3月末時点

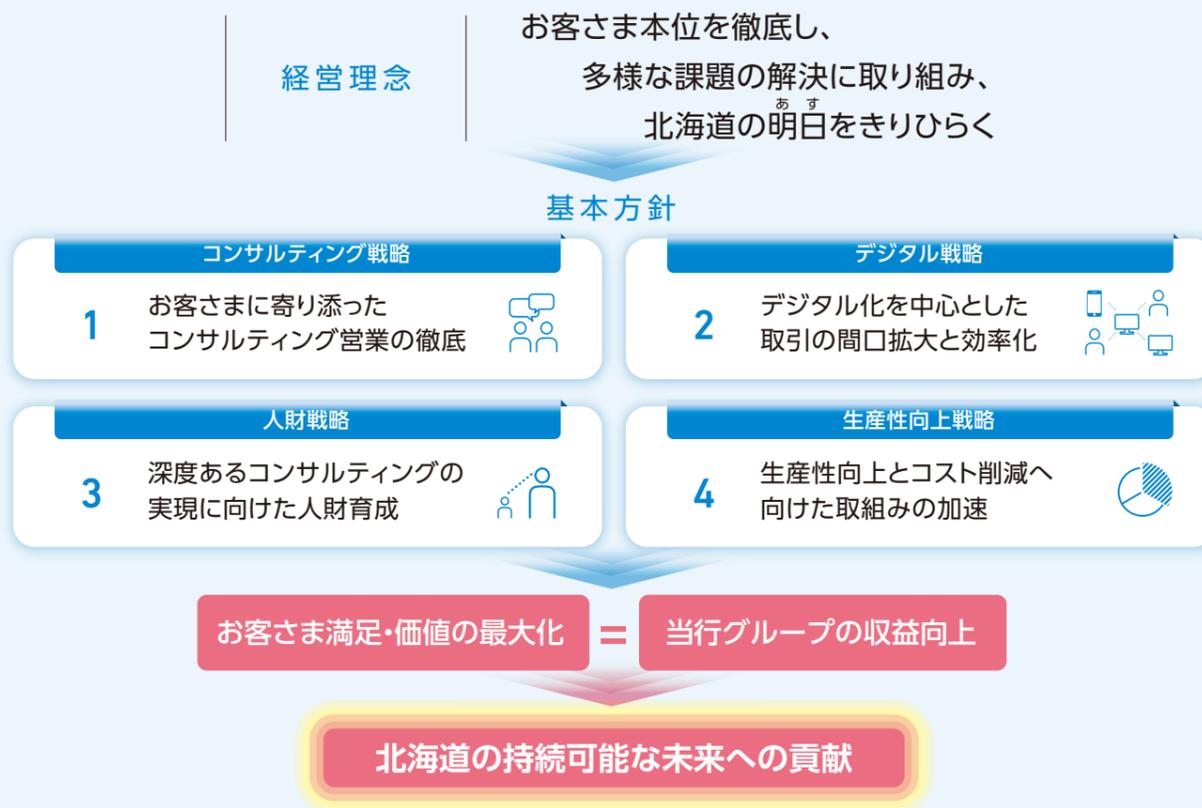
価値創造の循環 による経営基盤のさらなる強化と持続的な企業価値の向上

中期経営計画『共創の深化』

～お客さま・地域から最も信頼されるパートナーを目指して～

計画期間 2020年4月～2023年3月(3年間)

新たな経営理念に基づき、'20年度より4つの基本方針を掲げた中期経営計画『共創の深化』をスタート。それぞれの基本方針に沿った戦略を着実に進め、お客さまの満足・価値の最大化を図るとともに、当行グループの収益向上につなげ、北海道の持続可能な未来に貢献していきます。



計数計画

中期経営計画1年目は、各指標ともに概ね順調な進捗状況となっています。長期的に目指す指標として掲げたROE、コアOHR、道内貸出シェアは、長期目標の水準に対しまだ低位にありますが、引続きその実現に向けて取り組んでまいります。

主要な経営指標	2020年度実績(前年比)	2022年度計画(長期目標)
経常利益(連結)	157億円(+30億円)	158億円
当期純利益(連結)	94億円(+18億円)	105億円
自己資本比率(連結)	12.41%(△0.2%)	12%程度
貸出金平均残高(単体)	7.1兆円(+0.4兆円)	7.0兆円
一人あたり生産性(単体)	3.2百万円(+0.2百万円)	4.2百万円
ROE(連結)	2.23%(+0.39%)	2%程度(5%以上)
コアOHR(単体)	80.4%(△0.1%)	83%程度(70%以下)
道内貸出シェア*(単体)	32.8%(△0.1%)	33.6%(34.7%)

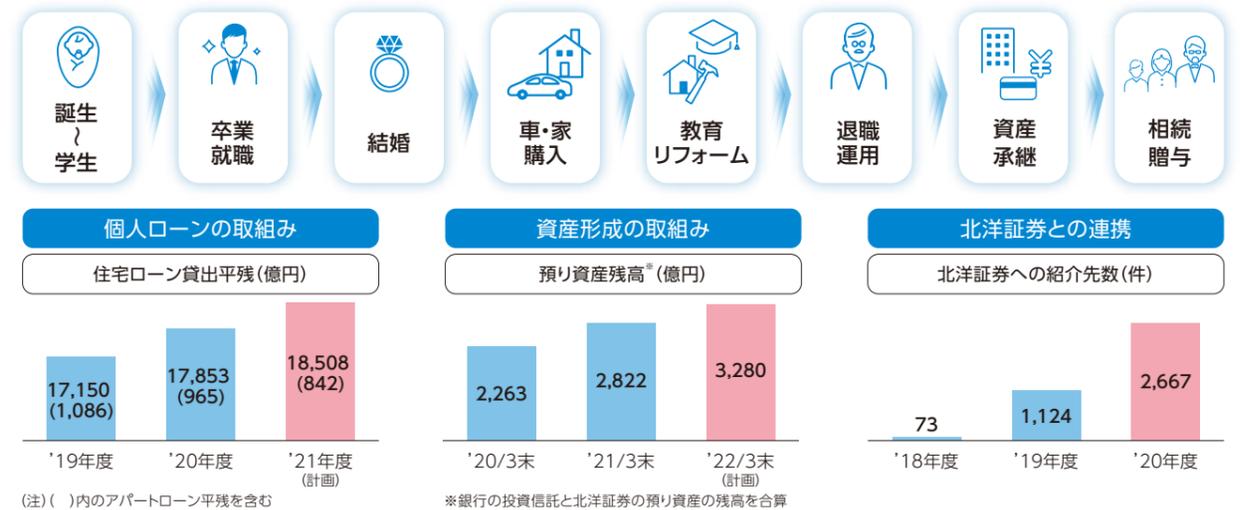
*'20年度初めより政府施策の「実質無利子・無担保融資」の取扱いが先行した政府系金融機関の大幅な貸出増加の影響から、当初計画が実態と乖離したことを補正するため、政府系金融機関を除いた道内貸出シェア目標へ修正

全体戦略

北海道を主軸として、これまで築いてきたお客さまとの信頼関係をより深化させるため、潜在的なニーズや課題の顕在化、その解決に向けた人財の育成や、グループの総力を結集したソリューションの提供、大胆なコストダウンに取り組み、強固な組織へ進化させていきます。

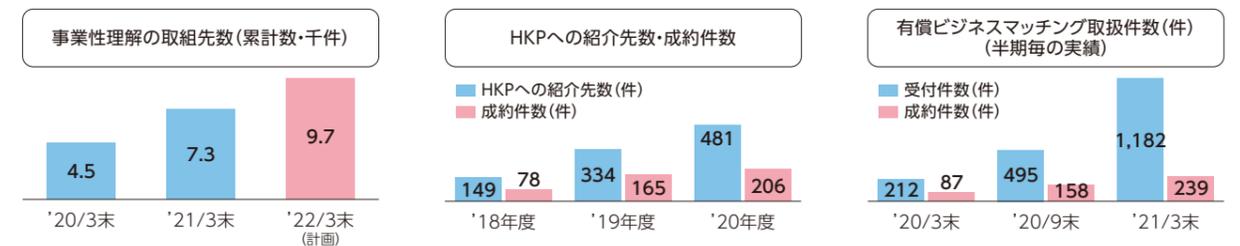
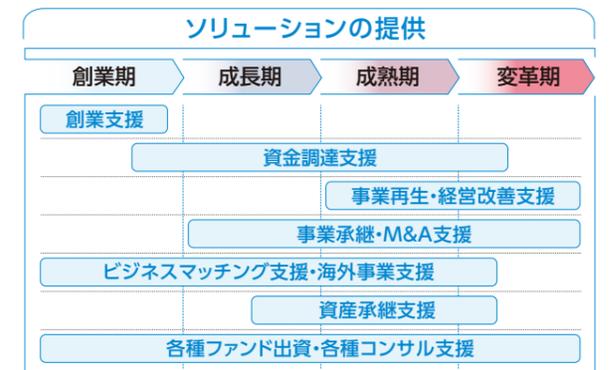
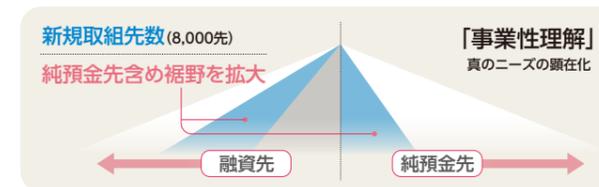
コンサルティング戦略(リテール)

ライフサイクルに応じたサービス提供の中で、住宅ローン取引や資産形成・運用支援を起点として、個人のお客さまに担当者を選任。ファイナンシャルプランなど、総合的なコンサルティングによりOne to Oneでの対面取引によるサポートを強化していきます。



コンサルティング戦略(法人)

事業性理解の取組みを起点に、企業の成長サイクルに応じて、お客さまの真のニーズや課題を顕在化し、そのニーズや課題に応える最適なソリューションをグループ一体で提供し、企業価値の向上に貢献しています。



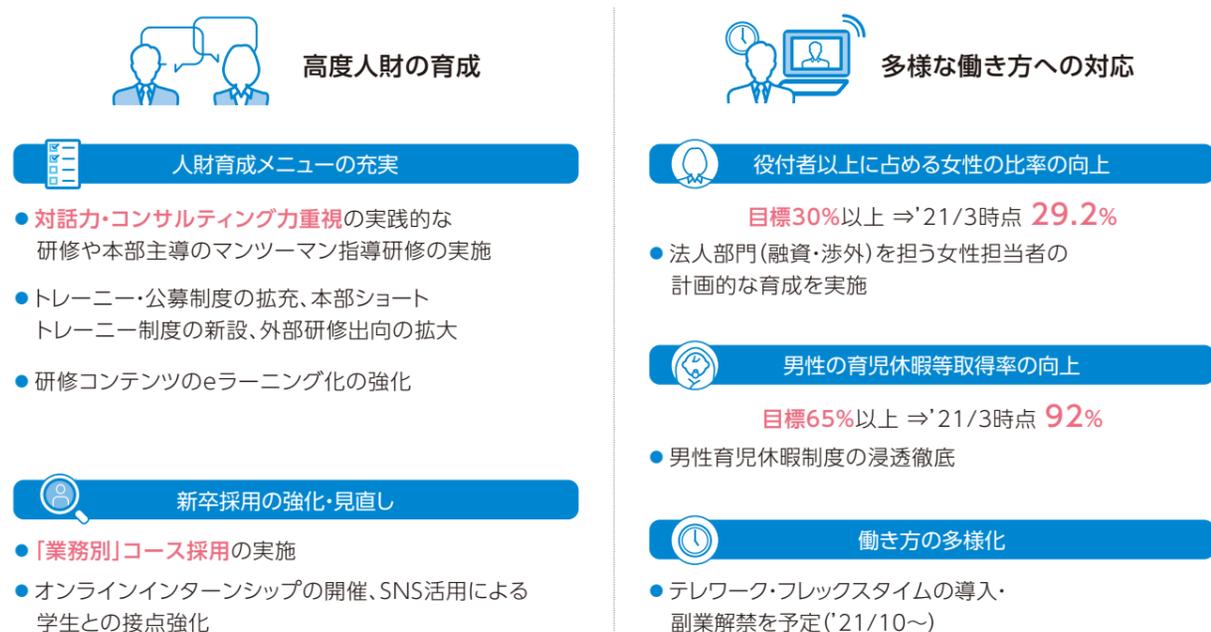
デジタル戦略

多様化するお客さまのニーズやIT技術の進展に対応し、マーケティング分析に基づくデジタルを活用した各種サービスの提供や効率的なアプローチにより、お客さまとの接点を強化するほか、お客さまの利便性や当行の生産性の向上を図っています。



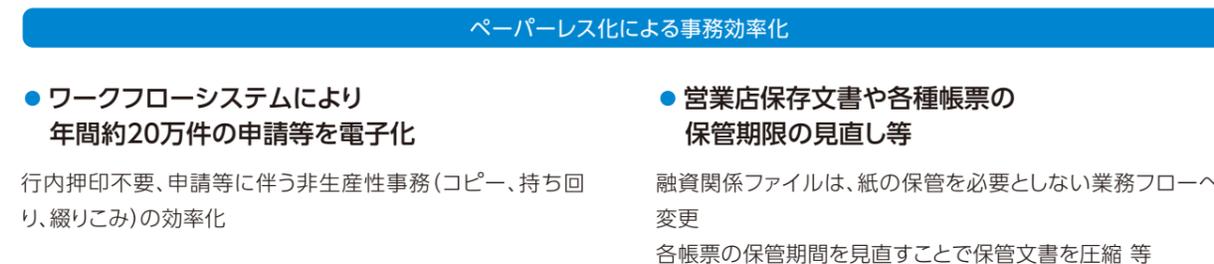
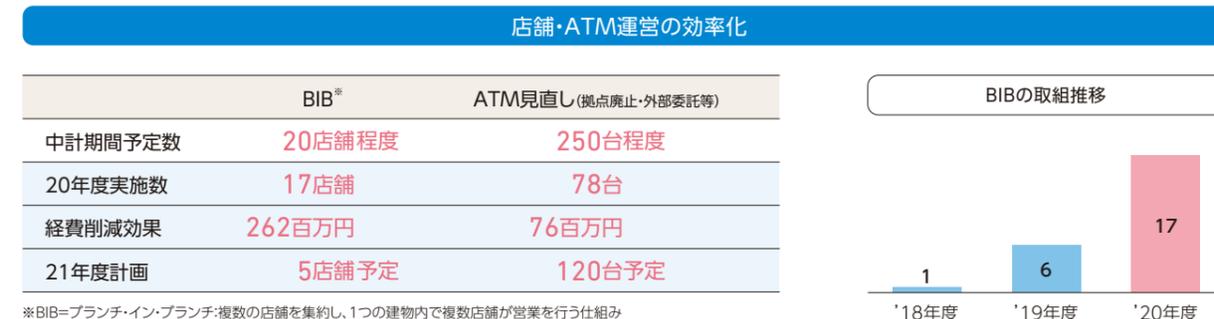
人財戦略

お客さまに寄り添った、深度あるコンサルティングの実現に向けて、チャレンジする高度人財の育成を図るとともに、働きがいのある職場づくりや働き方の多様化に応じた取組みを進め、職員エンゲージメントの向上に取り組んでいます。



生産性向上戦略

人口減少、ライフスタイルや働き方の多様化、デジタル化の進展など、環境の変化に対応し、お客さまの利便性を可能な限り確保しつつ、人財や店舗、業務等の集約や効率化を進め、さらなるコスト削減と生産性向上に向けた取組みを加速させていきます。



その他の戦略

アライアンス戦略 ~TSUBASAアライアンス~

「TSUBASAアライアンス」は、当行を含め10行体制となる国内最大規模の地銀広域連携の枠組み。総資産合計は90兆円とメガ3行に次ぐ規模。

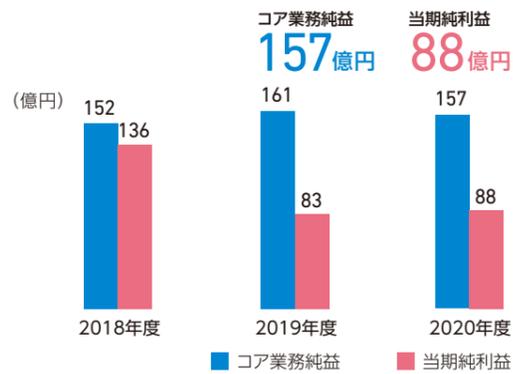


財務・非財務ハイライト

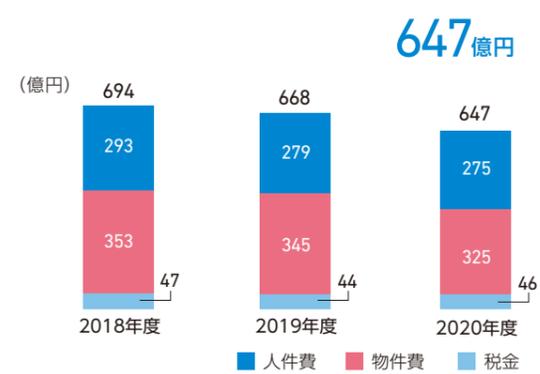
近年の主要な財務・非財務データをご紹介します。

財務ハイライト (単体)

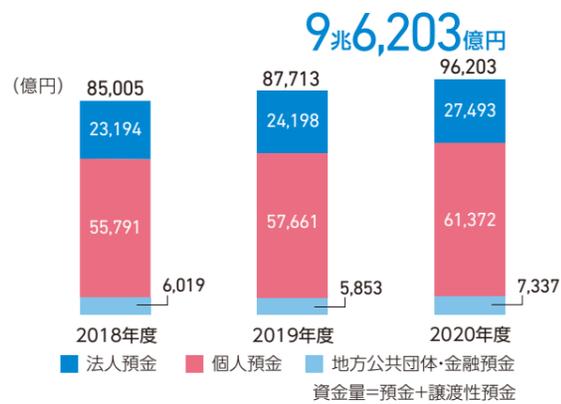
コア業務純益・当期純利益



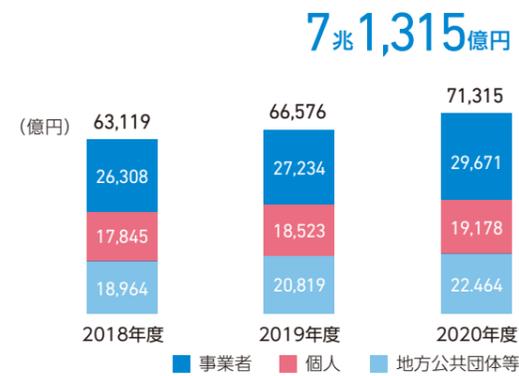
経費 (除く臨時処理分)



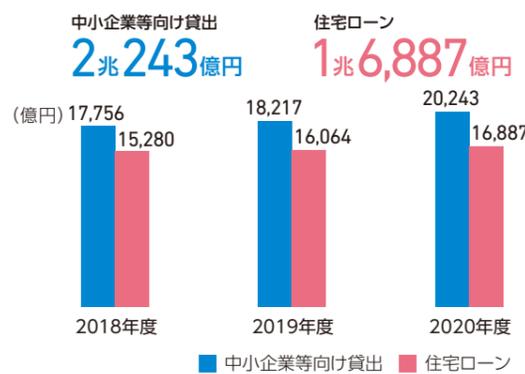
資金量 (平均残高)



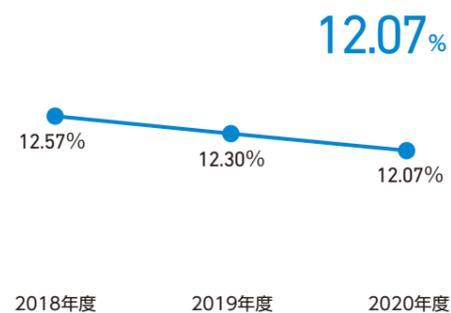
貸出金 (平均残高)



中小企業等向け貸出・住宅ローン (平均残高)

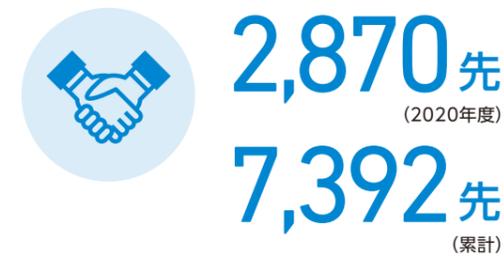


自己資本比率



非財務ハイライト

「事業性理解」実施先数



ファンドによる支援



メインバンク社数



※帝国データバンク「全国メインバンク動向調査」

エネルギー使用に係る原単位削減率 (対前年度比)



CO₂排出量削減率 (対2013年度比)



北洋医療福祉債



調査役クラス以上の女性比率



学生向け金融教育受講者数



法人のお客さまの価値創造

北洋銀行は、北海道に根ざしたリーディングバンクとして、お客さまと密接に関わりながら、地域企業の稼ぐ力の拡大と地域経済の活性化に貢献します。

中小企業の経営支援に関する取組方針

北洋銀行グループは、2020年3月に策定した新たな経営理念のもと、北海道の持続的成長の実現に貢献することを責務と考え、お客さまの成長サイクルに応じたソリューションの提供や地方創生のサポートなどに積極的に取り組んでいます。

2020年4月よりスタートした中期経営計画『共創の深化』においては、お客さまに寄り添ったコンサルティング営業の徹底によるお客さまのニーズの顕在化とその実現をサポートすることを基本方針の一つに掲げています。これらの取組みは、2016年9月に金融庁が公表した「金融仲介機能のベンチマーク」の趣旨に沿ったものと考え、当行における中小企業の経営支援に関する取組方針や取組状況にかかる説明の後に、当行の「金融仲介機能のベンチマーク」を掲載しています。

成長サイクルに応じた最適なソリューションのご提供



グループ総合力の発揮

ベンチマーク(2021年3月末)

共通(グループ)	経営指標等が改善した先に係る3年間の事業年度末の融資残高の推移(億円)			
メイン先数	12,088社	10,023	10,234	12,270
メイン先の融資残高	14,370億円			
経営指標等が改善した先数	9,343社	'19/3	'20/3	'21/3

選択	メイン取引先数	その割合	選択	①運転資金額	②短期融資額	②/①
メイン取引先数および全取引先数※に占める割合	14,020社	43.1%	運転資金に占める短期融資の割合	23,316億円	6,803億円	29.2%

※全取引先数…32,516社(2021年3月末)

1)参考

1. ベンチマークの種別について

共通	全ての金融機関が金融仲介の取組みの進捗状況や課題等を客観的に評価するために活用可能な指標
選択	各金融機関が自身の事業戦略やビジネスモデル等を踏まえて選択できる指標
独自	金融機関において金融仲介の取組みを自己評価する上でより相応しい独自の指標

2. お取引先数のカウントについて

数値について「グループ」と記載がある場合は、企業グループベースのカウントです。

3. メイン取引先について

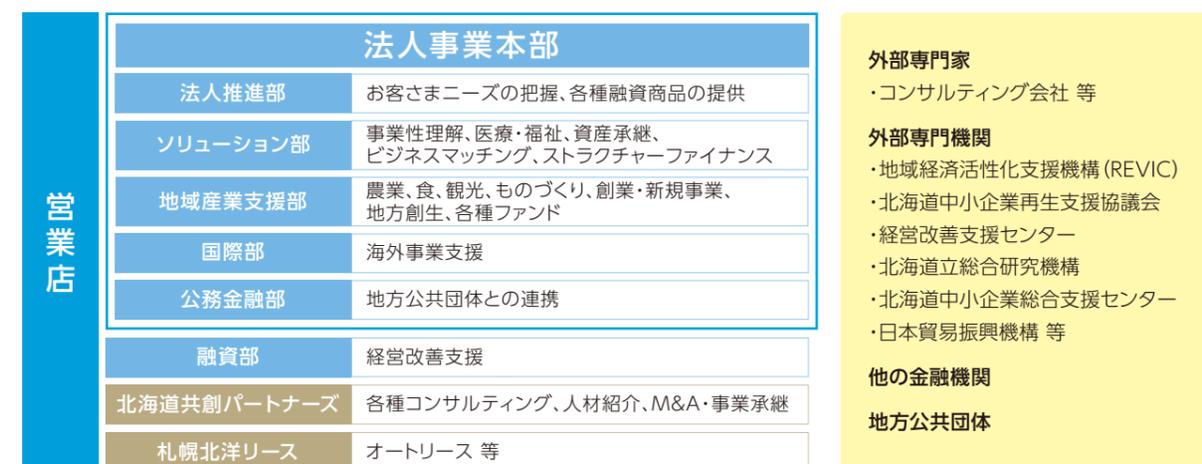
当行が融資残高1位の取引先

中小企業の経営支援に関する態勢整備の状況

経営支援への態勢整備の状況

北洋銀行グループでは、北海道の強みである「農業」「食」「観光」分野や高齢化に伴いニーズが高まっている「医療・福祉」「M&A・事業承継」分野のほか、ものづくりや海外事業などの分野に専任者を配置し、営業店・本部間で情報を共有しながら、グループ会社・外部専門機関・他の金融機関・地方公共団体とも連携し、積極的な事業支援を行っています。

2020年4月には、お客さまのニーズ・課題にワンストップでお応えするため「法人事業本部」を新設したほか、法人コンサル会社である「株式会社北海道共創パートナーズ」を完全子会社化し、M&A・事業承継業務を銀行から移管することで、より専門的なサポート態勢に拡充するなど、お客さまの支援態勢を強化しています。また、地域の優位性や資源を活かした産業振興、創業・新規事業などの意欲的な取組みを支援するため、地域産業支援部、公務金融部が営業店と連携し、外部専門機関や地方公共団体などと地方創生の実現や地域の面的再生を目指しています。



横断的に連携

ベンチマーク(2021年3月末)

選択(グループ)	①全取引先	②ソリューション提案先	②/①
ソリューション提案先数および全取引先数に占める割合	31,665社	7,417社	23.4%
ソリューション提案先の融資残高および融資残高の全取引先の融資残高に占める割合	55,549億円	6,653億円	12.0%

選択(グループ)	地元(道内)	地元外(道外)	海外
販路開拓支援を行った先数	220社	120社	48社

選択(グループ)	選択(グループ)		
外部専門家を活用して本業支援を行った取引先数	496社	取引先の本業支援に関連する中小企業支援策の活用を支援した先数	44社

■ 中小企業の経営支援に関する取組状況

北洋銀行グループでは、事業性理解を起点として、お客さまとの日常的・継続的な対話を通じて様々な経営課題を把握・共有しながら成長サイクルごとに抱える経営課題の解決に向けて、様々なソリューションを提供しています。

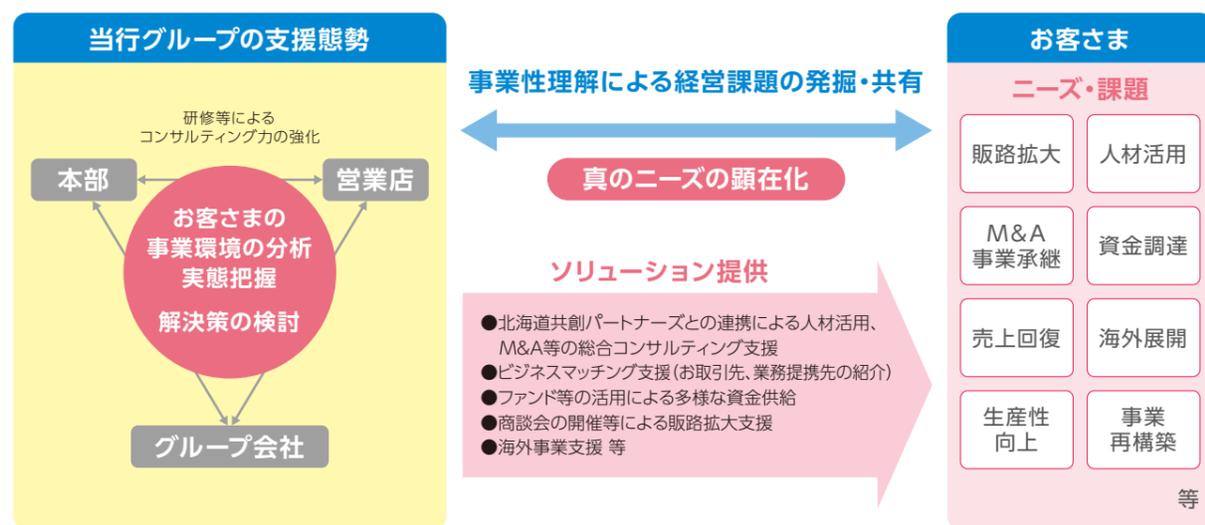
ベンチマーク(2021年3月末)

共通	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
ライフステージ別※の与信先数	31,023社	2,178社	2,223社	16,310社	1,091社	984社
ライフステージ別※の与信先に係る事業年度末の融資残高	31,476億円	1,262億円	2,157億円	19,536億円	857億円	1,437億円

※5期分の決算データ等がない先は除く

事業性理解への取組

当行は、定量的な財務資料のみに頼ることなく、お客さまの事業内容、お取扱商品(技術・サービス)、業界環境等の強み・弱みを的確に把握・分析し、企業の成長可能性や持続性などを理解する「事業性理解」に積極的に取り組んでいます。ソリューション部の「事業性理解グループ」を中心に、営業店・本部が連携しながら、お客さまと経営課題を共有し、真のニーズに沿ったソリューションを提供しています。



ベンチマーク(2021年3月末)

共通	先数	全与信先に占める割合	融資残高	全与信先に占める割合
事業性理解に基づく融資を行っている与信先数および融資残高と全与信先に占める割合	8,533社	27.5%	11,899億円	37.8%

選択(グループ)	対話を行っている取引先数	うち、労働生産性の向上に資する対話を行っている取引先数
事業性理解の結果やローカルベンチマークを示して対話を行っている取引先数	8,308社	7,133社

選択	回答数
事業性理解に基づく対話先からのアンケート回答数	234件

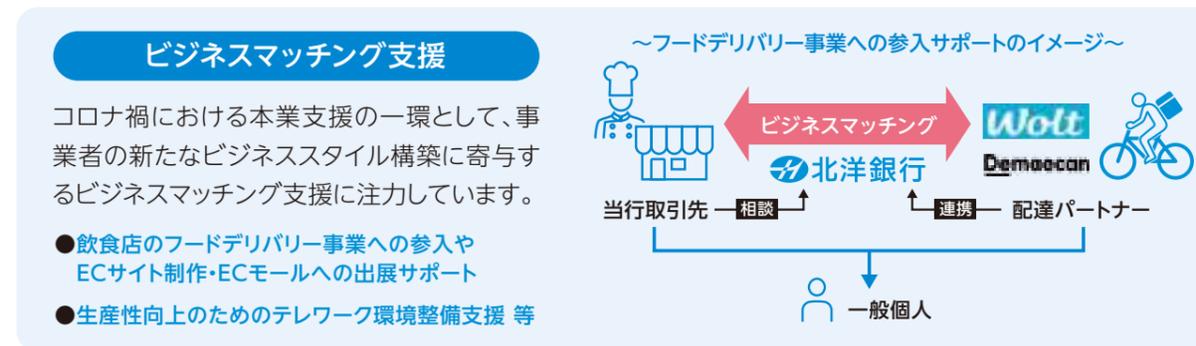
コロナ禍における取組み

コロナ禍の影響を受けたお客さまへ、各種制度も含めた資金支援をはじめ、既存のご融資の返済条件見直しやビジネスマッチングによる本業支援など、引き続き全行を挙げて取り組んでいます。

コロナ関連の資金支援

コロナ関連のご融資については、ご預金のみのお取引先も含めた全先と面談・対話を実施し、約15,000先へ4,600億円を超えるご融資にて支援しています。

本業支援



創業・新規事業開拓期の支援

地域経済の活性化のためには、地域における中小企業の創業や新分野への進出が不可欠です。当行では、「各種ファンドの活用」「産学官金連携の推進」などにより、ベンチャー創業や新事業展開を積極的に支援しています。

北洋SDGs推進ファンド

2018年6月に株式会社北海道二十一世紀総合研究所と共同で、SDGs(エスディージーズ=持続可能な開発目標)をコンセプトとした「北洋SDGs推進ファンド」を設立しました。SDGsが掲げる17の目標およびこれらに基づき日本が掲げる8つの優先課題は、北海道が対処すべき課題と共通しています。本ファンドは、SDGsのコンセプトに合致する道内中小企業を投資対象とし、資金の提供を通じて地域企業が抱える課題を解決し、地域経済の活性化と北海道の持続可能な発展に貢献することを目的としています。

2020年度は、4社に対して約50百万円の出資を行っており、ファンド設立以降、2021年5月までの出資は26先に対して約374百万円となっています。

ベンチマーク(2021年3月末)

共通(グループ)	988件	選択(グループ)	7件
創業・第二創業に関与した件数	988件	ファンド(創業・事業再生・地域活性化等)の活用件数	7件

成長期・成熟期～変革期の支援

北洋銀行グループでは、円滑な資金供給による金融仲介機能の発揮に加え、外部機関とも連携しつつ、お客さま、地域の抱える課題やニーズに応じた最適なソリューションを提供するなど、次ページ以降の取組み等を通じてお客さまの事業や地域の成長をサポートしています。

■ 農業・食分野に対する支援

北海道の基幹産業の一つである農業・食分野は、今後も成長が期待できる分野です。その支援に向け、生産・加工・販売までの各フェーズで最適なソリューションを提供し、道内フードビジネスの育成・強化に取り組んでいます。



ほくよう農業地域活性化ファンド

2014年設立の「北洋農業応援ファンド」の後継ファンドとして、2019年11月に株式会社北海道二十一世紀総合研究所と共同で設立した、農業法人への直接出資により長期間の支援を可能とするファンドです。「農業法人に対する投資の円滑化に関する特別措置法」に基づき農林水産大臣の承認を受けており、当制度により単一の民間金融機関がファンドを設立しているのは道内で当行のみです。2020年1月には、日本政策金融公庫が加入し、総額2億円のファンドとなりました。2021年3月までの出資は、2先に対して40百万円となっています。

ベンチマーク(2021年3月末)

独自	'19/3	'20/3	'21/3
農業経営体と信先数	713先	725先	705先
農業経営体向け融資額	287億円	273億円	227億円

🔗 コロナ禍における食関連企業へのサポート ～「がんばろう北海道!フェア」を開催～

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける北海道の食関連企業を応援するため、札幌市内の百貨店と連携した「がんばろう北海道!フェア」の催事を開催いたしました。当行とお取引がある14社が出展し、販路支援等のサポートにつながりました。

引き続き、北海道の基幹産業である「食」に携わるお客さまのサポートに努め、道内経済の発展に貢献してまいります。



がんばろう北海道!フェア

各種商談会による支援



「食のブランド・ステップアップ個別相談・商談会」をはじめとした、各種商談会を拡充させお客さまの販路拡大をサポートしています。2020年度は道内8つの地域で計10回の商談会を開催しました。商品のブラッシュアップ、パッケージデザインなどについて、食に関する専門家への相談やバイヤーなどとの商談を行うことができます。

インフォメーションバザール

お取引先企業の販路拡大ニーズに応えるため、様々なビジネスマッチング商談会を開催しています。中でも、「インフォメーションバザール」は、オール北海道で開催する首都圏最大規模の道産食品商談会として、毎年東京と大阪で開催していましたが、2020年度は新型コロナウイルス感染拡大に配慮し、東京・大阪での開催を見合わせ11月に福岡で初めて開催しました。九州最大級の食の展示会である「Food Style 2020 in Fukuoka」に北海道コーナーを設置する形式で開催し、道内より食品メーカー39社に出展いただきました。

初めての試みとなりましたが、北海道コーナー全体に統一した装飾を施すことで「北海道ブランド」としての魅力を発信するなど、お取引先企業の新たなマーケット拡大を支援しました。



インフォメーションバザール in Fukuoka

ベンチマーク(2021年3月末、ただし商談件数推移を除く)

独自	'19/3	'20/3	'21/3
インフォメーションバザールにおける商談件数推移	5,040件	4,723件	622件
選択	出展先数	回答数	回答率
出展企業アンケート結果	39先	39件	100%

■ 観光分野に対する支援

観光は道内経済を牽引する、国内外に優位性を持つ分野です。北海道経済の活性化や雇用機会の創出を促す新たな経済成長施策として、様々な産業への経済波及効果が期待されており、当行では、観光に携わる機関・団体とも連携したサポートを積極的に実施しています。

ワーケーション*への取り組み ～北の大地でワーケーション!プロジェクト～

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて落ち込んだ地域産業の活性化および人口減少下における地域の関係人口の創出を目的として、ワーケーションの道内誘致に向けた取り組みを進めています。



オンライン情報交換会



オンラインセミナー

*ワーケーション:「Work(仕事)」と「Vacation(休暇)」を組み合わせた造語。IT技術の進展により、時間や場所にとらわれず働くテレワークの普及を背景とした就業・休暇スタイル。

阿寒摩周国立公園活性化に向けた摩周エリアの観光資源磨き上げ連携協定

阿寒摩周国立公園の活性化と自然環境保護・保全を目的に、弟子屈町、北海道をはじめ関係機関・企業等で連携協定を締結しており、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めています。



■ 医療・福祉分野に対する支援

医療・福祉分野では、高齢化社会の到来に向けた制度改革が進んでおり、お客さまのニーズは設備投資への円滑な資金供給、経営戦略の策定、組織再編など多様化しています。当行では、専門知識を有する医療担当者を本部、営業店に計20名配置し、お客さまへのサポートを強化しています。

医療・福祉向け融資残高の推移(億円)

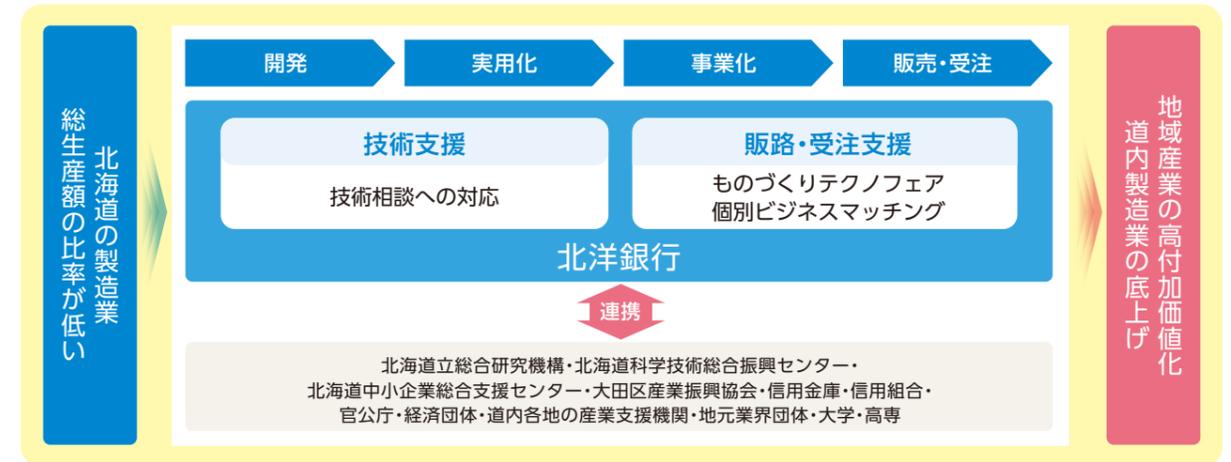


コロナ禍における地域医療への貢献 ～ほくよう北の医療応援債等～

新型コロナウイルス感染症の患者の治療に奮闘する道内医療従事者等を応援するべく、2020年5月に「ほくよう北の医療応援債」の取扱いを開始しました。本私募債をご利用いただくことで、発行金額の0.2%相当額を北海道等を通じて、医療従事者へ寄付する仕組みであり、2020年度は83先・約59億円のご利用をいただき、北海道へ1,188万円の寄付を行いました。このほか、2020年12月には医療従事者の皆さまを応援することを目的とした提携社員ローン「医療従事者応援プラン」の取扱いを開始し、2021年3月末時点で約4億円ご利用いただきました。当行は、引続き地域のお客さまとともに道内の地域医療に貢献していきます。

■ ものづくりに対する支援

製造業のウェイトが他の地域と比較して小さい北海道の経済活性化のためには、ものづくり企業を中心に、従来の枠組みにとられない手法を用いた持続的なサポートが重要です。ビジネスマッチングによる販路拡大支援のほか、外部機関との連携などにより、特色ある企業の発掘・育成に取り組んでいます。



ものづくりテクノフェア

優れた技術や製品を有する中小企業、大学、支援機関などが一堂に会する場を提供し、販路拡大や企業間連携の促進、情報交換や技術交流を通じて、北海道のものづくり産業の振興をより一層推進することを目的としています。2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大に配慮し中止とさせていただきましたが、2019年7月に開催した「北洋銀行ものづくりテクノフェア2019」においては、225社・団体が出展、約4,600名の来場をいただき、1,300件以上の商談が行われました。北海道は全国的にみても人口減少が進んでおり、生産性向上や省力化は喫緊の課題です。今回は、「IoT・スマートものづくり応援ツール」の専用展示ゾーンを設けてAIやIoTを活用した最新のビジネスモデルを展示したほか、産学官金等による連携および道内外の広域連携による地域経済の活性化を目指し、道内の大学・高専をはじめ各支援機関や道内信金、また道外から27社・団体のご出展をいただきました。2021年度は道内企業の優れた技術や製品を情報発信するWebサイトを提供する予定です。



ものづくりテクノフェア2019



Webサイト案内

ベンチマーク(2021年3月末、ただし商談件数推移を除く)

独自	'19/3	'20/3	'21/3	選択	出展先数	回答数	回答率
ものづくりテクノフェアにおける商談件数推移	1,263件	1,380件	中止	出展企業アンケート結果	—	—	—

補助金の活用

当行は、ものづくり企業の設備投資ニーズなどに有効な国や自治体の補助金制度について、その内容などを営業店に通知し、お客さまへの補助金の提案・活用について周知徹底を図っています。「認定金融機関」の確認書発行が必要な補助金制度については、営業店・本部と子会社である株式会社北海道共創パートナーズが連携し、申請手続きから内容のブラッシュアップまでサポートを行っています。その結果、2020年度の当行を通じた「ものづくり補助金」の採択率は、1次公募～5次公募合計で47.3%と全国平均42.1%を上回りました。また、採択件数も道内シェア13%と、北海道内で1位となりました。

海外展開支援

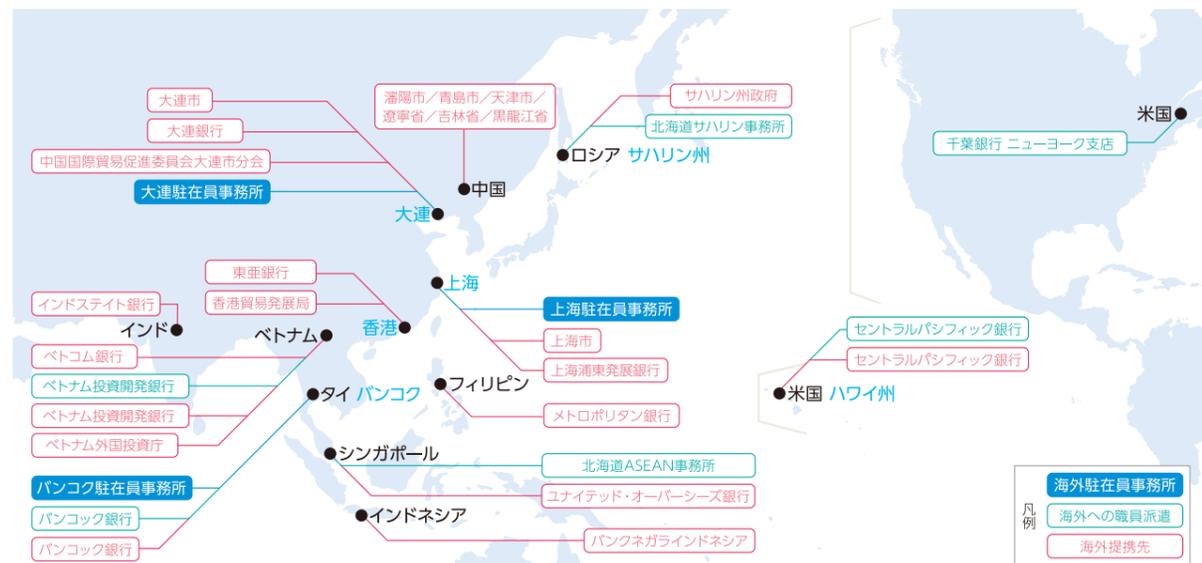
北洋銀行グループでは、海外駐在員事務所をはじめ、海外金融機関や関係機関、外部コンサルティング会社との業務提携などを活用し、中国・ASEAN・北米・ロシアを結ぶ海外ネットワークを活用し、お客様の海外進出や海外展開等のニーズに応じたきめ細かなサポートを行っています。2020年度は、339件の商談をサポートしました。

ビジネスマッチングによる海外ビジネスサポート

北洋銀行グループでは、海外金融機関・諸機関のほか、外部コンサルティング会社などとビジネスマッチングに関する業務提携を締結し、現地情報の提供、現地視察、海外販路の開拓、貿易取引など、お客様のニーズに応じたサービスの提供を積極的に行っています。

お客様のニーズ	業務提携先	主なサービス
販路開拓・海外進出・海外視察・海外拠点への人材派遣	サイエスト株式会社	グローバルエキスパート人材の派遣、海外視察プランの策定 等
販路開拓	アリババ株式会社	インターネットを活用した海外市場進出支援 等
信用調査・与信管理	三井物産クレジットコンサルティング株式会社	海外取引のリスク管理サービス
貿易代金の回収不安の解消	株式会社日本貿易保険	輸出・投資などの貿易保険
国際ファクタリング	三菱UFJファクター株式会社	世界各国のファクター会社との連携
外国人材の採用	株式会社グローバルパワー	長期雇用となる人材の紹介

海外ネットワーク (2021年3月末時点)



※2021年6月現在、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、千葉銀行ニューヨーク支店およびセントラルパシフィック銀行への職員派遣は見合わせています。

担保・保証に過度に依存しない融資

ABL(Asset Based Lending)

お客様の事業や商流そのものに着目して、在庫や売掛金等を活用する融資手法です。担保にできる不動産がない場合でも、在庫や売掛金等を活用することで、資金調達の多様化につながります。2021年3月末時点で50先のお客様にABLをご利用いただいています。

ABL残高の推移(億円)



経営者保証に関するガイドラインへの取組状況

当行は、お客様からのお借入相談時や保証債務整理の相談時に真摯に対応するための営業店・本部態勢を整備し、担保や保証に過度に依存しない融資の一層の促進に取り組んでいます。

※経営者保証に関するガイドライン

2013年12月に保証側(借り手)代表としての日本商工会議所と、保証を申し受ける側(貸し手)代表としての一般社団法人全国銀行協会が立ち上げた「経営者保証に関するガイドライン研究会」が発表したもの。また2019年12月には、事業承継に際して求め、期待される具体的な取扱いを定めた「経営者保証に関するガイドライン」の特則も発表。

経営者保証に関するガイドラインの活用状況 (融資案件ベース)

	2020年度
新規に無保証で融資した件数	12,003件
保証金額を減額した件数	18件
ガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数	5件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	32.2%
保証契約を解除した件数	1,515件
うち、代表者の交代時において、旧経営者との保証契約を解除し、かつ、新経営者との保証契約を締結しなかった件数	62件
うち、代表者の交代時において、旧経営者との保証契約を解除する一方、新経営者との保証契約を締結した件数	354件
代表者の交代時において、旧経営者との保証契約は解除しなかったが、新経営者との保証契約は締結しなかった件数	92件
代表者の交代時において、旧経営者との保証契約を解除せず、かつ、新経営者との保証契約を締結した件数	0件

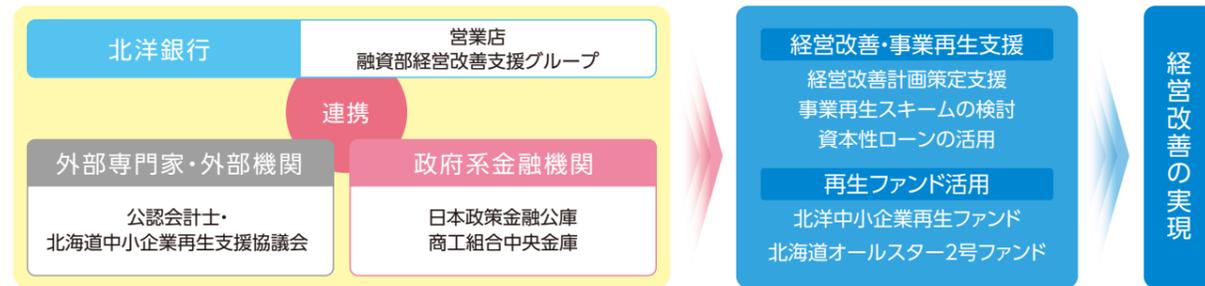
ベンチマーク (2021年3月末)

選択	①全与信先数	②ガイドライン活用先数	②/①
経営者保証に関するガイドラインの活用先数および全与信先数に占める割合*	31,023社	7,595社	24.5%

※お取引先数ベース

■ 経営改善・事業再生に向けた支援

当行では、経営改善や事業再生が必要なお客さまに対して、営業店と本部専門部署である融資部経営改善支援グループが、専門家や外部機関などと連携しつつ、官民ファンドや資本性ローンの活用など、お客さまが抱える経営課題の解決に向けた経営改善・事業再生スキームを個別に検討し、提案を行っています。経営課題が多様化・複雑化しているお客さまに対しては、公正・中立的な立場で他の金融機関との調整を図る北海道中小企業再生支援協議会などの外部機関と連携しながら、専門性の高い経営改善支援や抜本的な事業再生支援に取り組んでいます。



資本性ローンを活用した支援

コロナ禍の影響を受けたお客さまへの経営改善や事業継続支援等を強化するため、政府系金融機関との連携によるサポートをあらためて公表し明確化したほか、当行独自の資本性ローン商品の取扱いによる支援も開始しております。

- 日本政策金融公庫との連携サポート「To the future」(2021年1月)
- 「ほくよう資本性ローン」(2021年5月)
- 商工組合中央金庫との連携サポート「For tomorrow」(2021年2月)

ベンチマーク(2021年3月末)

選択	①メイン取引先数	②経営改善提案実施先	②/①
メイン取引先のうち、経営改善提案※を行っている先の割合	12,088社	3,158社	26.1%

※本業支援やソリューション提案を含む

共通(グループ)	総数	好調	順調	不調※
貸付条件の変更(条変)を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況	1,087社	28社	208社	851社

※経営改善計画の未策定先429社を含む

選択(グループ)	
REVIC・中小企業再生支援協議会の利用先数	14社

■ M&A・事業承継支援

経営者の高齢化や後継者不在を背景として、全国的にM&A・事業承継ニーズが高まっています。とりわけ北海道は、後継者不在率が依然として70%を超えており、全国で最も高い地域となっています。こうした状況を踏まえて、北洋銀行グループでは、2020年4月に完全子会社化した株式会社北海道二十一世紀総合研究所に、M&A・事業承継業務を銀行から移管するとともに、専門人員を増強するなど、サポート態勢をさらに強化して取り組んでいます。

ベンチマーク(2021年3月末)

選択(グループ)	
M&A支援先数	421社
事業承継支援先数	963社

■ 地域の活性化に関する取組状況

道内の地方公共団体や信用金庫・信用組合も含めた金融機関や大学など、産学官金の連携を拡充させながら、地域の優位性や資源を活かした産業の振興、革新的な新事業の創出、グローバルなマーケットの開拓など、地方の意欲的な取組みを支援し、北海道経済の活性化に貢献するべく、地方創生を強力にサポートしています。

地方公共団体との連携

北海道の特徴を活かしつつ、自立的で持続的な社会を実現するため、道内の地方公共団体と連携し、地方創生の推進や地域経済の活性化に協働して取り組んでいます。2021年3月までに以下の地方公共団体と連携協定を締結しています。

札幌市、北海道、ニセコ町、倶知安町、江別市、函館市、小樽市、深川市、室蘭市、北広島市、旭川市、釧路市、恵庭市、芦別市、砂川市、美唄市、滝川市、名寄市、北見市、岩見沢市、紋別市、富良野市、下川町、士別市、三笠市、夕張市、北斗市、東神楽町、美瑛町、東川町、七飯町、網走市、伊達市、当麻町 (締結日順)

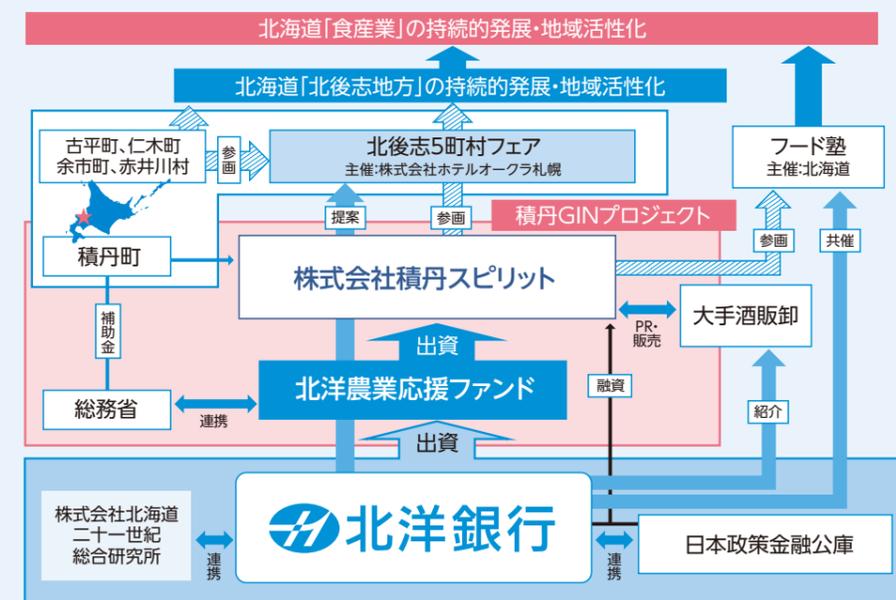
◎ TOPICS ~ほくよう農業地域活性化ファンド利用先が

「地方創生に資する金融機関等の特徴的な取組み事例」に採択されました。

積丹GINプロジェクトは、2016年より積丹町で耕作放棄地や地域の未活用資源を活かしたクラフトジン製造を目指すプロジェクトで、2020年5月より株式会社積丹スピリット様で蒸留開始、6月より一般販売が開始されました。

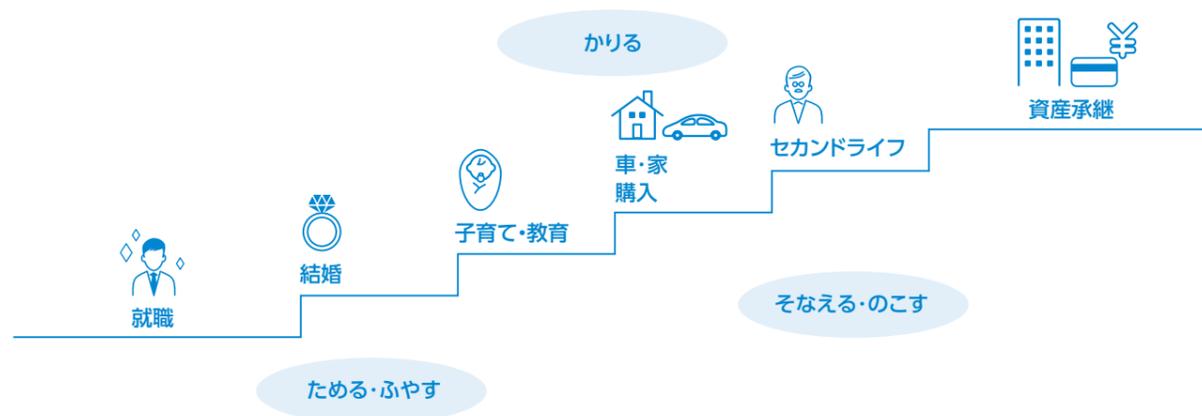
当行は、事業構想を早期の段階から営業店と本部で共有し、ハーブなどポタニカル栽培を通じた耕作放棄地解消や森林保全といったESG要素の他、新産業創出による地域の活性化などのビジネスモデルの評価を通じて、日本政策金融公庫と共同で組成した当ファンドの前身である「北洋農業応援ファンド」による出資で支援し、お客さまや地域との協働体制を構築しました。

併せてビジネスマッチングによる販路支援だけでなく、積丹町、近隣4町村、株式会社ホテルオークラ札幌様と連携した地域産品のPRと食材の提供機会を提案したことで「北後志5町村フェア」が開催され、積丹ジンのみならず近隣町村を含めた広域連携による共創の深化が実現しました。



個人のお客さまの価値創造

当行では、お客さま本位の営業を前提とした対面コンサルティング営業を中心に、お客さまのニーズやライフステージに応じた商品・サービスをご提案しています。



ためる ふやす	定期預金／積立預金／個人向け国債・公共債
	投資信託／外貨預金／金融商品仲介

長期分散投資や、安定運営から積極運用まで幅広いお客さまのニーズにグループでお応えする体制を構築し、商品ラインナップを拡充しています。また、購入時期を分散し少額から投資できる「投信積立」や、少額投資非課税制度(NISA)活用のご提案などもあわせて、お客さまの資産形成・運用のお手伝いをしています。また、子会社の北洋証券では、銀行で取り扱っていない社債、株式、ETF、仕組債などを扱っており、銀行から北洋証券へお客さまをご紹介するなど、連携を一層強化しています。

R&I「顧客本位の投信販売会社評価」で「S」評価取得

当行は、株式会社格付投資情報センター（以下、R&I）による「顧客本位の投信販売会社評価^{※1}」において、「S」の評価^{※2}を取得しました。本評価は、投資信託の販売において、銀行や証券会社などがいかに顧客本位の業務運営を行っているかを、R&Iが中立的な立場から評価するものです。

2020年に改定した経営理念の冒頭に「お客さま本位」を盛り込むなど経営トップが主導してフィデューシャリー・デューティー^{※3}を推進している点ならびにライフステージやニーズに合わせた多様な投資信託の提案などが評価され、2018年12月に取得した「A+」の評価から1段階引き上げとなりました。



※1 「R&I顧客本位の投信販売会社評価」（以下、「本評価」）は、投信販売業務を行う販売会社の「顧客本位の業務運営」の取組みに関するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。R&Iが本評価を行うに際して用いた情報は、R&Iがその裁量により信頼できると判断したものではあるものの、R&Iは、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。また、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではなく、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。本評価に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。
 ※2 定義：お客さまの最善の利益を図るための取組みが行われており、多くの優れた要素がある。
 ※3 フィデューシャリー・デューティーとは、お客さまのニーズを正確にとらえ、適切な説明や情報提供を実施し、お客さまの意向や利益に真にかなう金融商品やサービスをご提供することをいいます。

そなえる のこす	年金保険／終身保険／学資保険／養老保険／医療保険／がん保険
	介護保険／定期保険／収入保障保険／就業不能保険
	確定拠出年金401k・iDeCo／結婚・子育て資金贈与専用預金／教育資金贈与専用預金

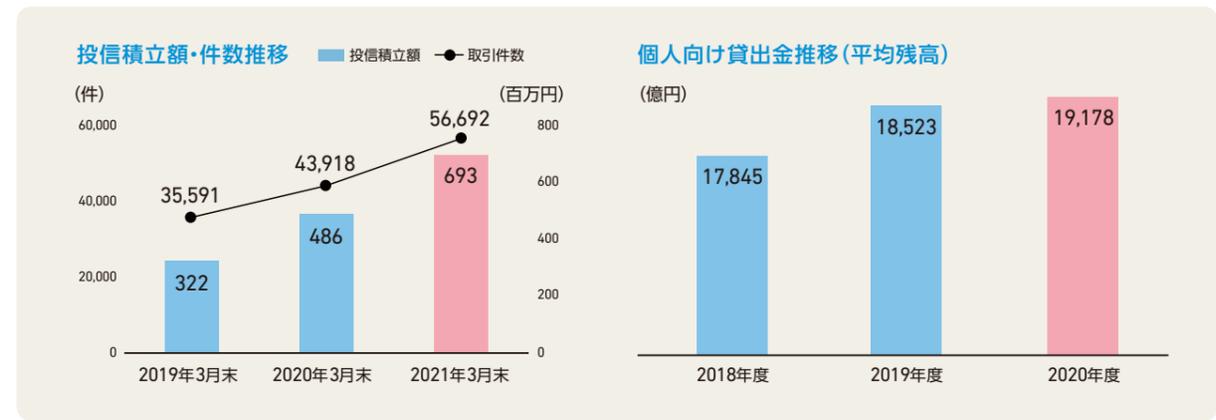
「医療保険」「終身保険」等の各種保険商品に加え、「確定拠出年金」や贈与税非課税制度に対応した商品など、万が一の場合やセカンドライフに備えるための多様な商品ラインナップをご用意しています。2021年2月より、インターネットによる医療保険の募集を開始しました。また、事業や資産の次世代への承継をお考えのお客さまには、不動産も絡めた複雑な案件にも対応できる専門スタッフ（ソリューション部ウェルスマネジメントチーム）が、最適なプランをご提案しています。

かりる	住宅ローン／リフォームローン／リバースモーゲージ
	マイカーローン／教育ローン／リビングローン
	フリーローン／カードローン「スーパーアルカ」／資産形成・活用ローン「ゆとり」

各種ローン商品にインターネット事前審査申込受付サービスを導入（一部対象外）しているほか、お申込みからご契約までインターネット上で契約可能なローン商品を拡充しています。また、住宅ローンについても、保障ニーズの多様化に応じ、付帯の団体信用生命保険の種類を拡充しています。

同性パートナー・事実婚等の方々に対する住宅ローンの取扱開始

2021年7月より、住宅ローンの連帯債務契約や担保提供の対象者に同性パートナーや事実婚の配偶者、兄弟姉妹を含める取扱いを、道内金融機関で初めて開始しました。あわせて、産休・育休取得中に住宅を取得する子育て世代のお客さまをサポートするため、最長3年間元金据置きを選択できる「産休・育休サポートサービス」も導入しています。当行はダイバーシティを尊重し、法律婚以外の様々なご家族における住宅取得ニーズや、お客さまの多様な生き方・働き方を応援してまいります。



デジタル化による新たな価値の提供

当行では、お客さまの利便性向上やチャネルの多様化、業務の効率化を目指し、デジタル化の積極的な推進に取り組んでいます。

ほくようスマート通帳 お申込みが20万件を突破!

「ほくようスマート通帳※」は、口座のお取引明細や残高情報をスマートフォンにより24時間リアルタイムで閲覧できるサービスです。口座の情報を自動的に取得するため、記帳・繰越手続が不要です。また、インターネットバンキング契約がないお客さまでもご利用いただくことができます。2021年5月より、新たに「ユーザー追加機能」と「印刷機能」が搭載され、ご家族の口座をまとめて管理できるようになったほか、最大10年分の取引明細が印刷可能となり、ますます便利になりました。

※紙の通帳との併用はできません。ご利用には「ほくようID」の登録が必要です。



スマートフォン上で住所変更等が可能に

2021年4月、トッパン・フォームズ株式会社が提供する共通手続プラットフォーム「AIRPOST※1」を道内企業で初めて採用しました。スマートフォンを利用し、住所変更や口座振替申込※2が「非対面・印鑑レス・ペーパーレス」で行えるサービスです。時間や場所を選ばずに手続きが可能となり、お客さまの利便性向上につながります。

※1 メッセージサービスアプリ「+メッセージ(プラスメッセージ)」を利用します。なお、「AIRPOST」はトッパン・フォームズ株式会社の登録商標です。
 ※2 AIRPOSTに連携可能な企業への口座振替が対象となります。



Web面談の積極活用

新型コロナウイルス感染症の拡大以降、店舗へのご来店機会の減少やお客さま宅へのご訪問を自粛させていただく場面が増えるなか、非対面による面談の機会をつくり、お客さまとの接点の維持・拡大を図るため、全行でWeb面談を積極活用しています。

ワークフローシステムの導入

2021年7月より、全営業店および本部でワークフローシステムを導入しました。これまで紙で回章していた年間約20万件の申請等を電子承認でワークフロー化し、印鑑レス・ペーパーレスを強力に進めていく予定です。

アライアンスの広がり

北洋銀行では、地銀広域連携の「TSUBASAアライアンス」に2016年から参加しています。全国を網羅するネットワークで、より付加価値の高い金融サービスを提供していきます。

TSUBASAアライアンス

「TSUBASAアライアンス」は、参加行の総資産が約90兆円と、地銀最大規模のアライアンスとなっています。幅広い情報や施策の連携により、経営統合に匹敵するシナジー効果を追求してまいります。2020年には琉球銀行および群馬銀行が参加し、北海道から沖縄まで全国を網羅するネットワークを形成しています。

2021年3月期決算(連結ベース)
他行比較・総資産順 (兆円)

	総資産	預金	貸出金
三菱UFJFG	359.4	211.5	107.1
三井住友FG	242.5	142.0	85.1
みずほFG	225.5	133.3	83.7
TSUBASA	90.4	71.5	52.6
りそなHD	73.6	58.6	38.9

合計総資産はメガバンクに次ぐ規模に

TSUBASAアライアンスの主なあゆみ

- 2015年 TSUBASAアライアンス発足
- 2016年 T&Iイノベーションセンター(株)設立
- 2017年 アセットマネジメント業務提携
- 2018年 TSUBASA FinTech共通基盤稼働
- 2019年 TSUBASA SDGs宣言
M&A業務プラットフォーム構築
- 2020年 TSUBASAアライアンス(株)設立
同社内にAMLセンター設置



サステナビリティへの取組

北洋銀行グループは、これまでCSR基本方針に基づき、全てのステークホルダーの持続的発展に資する活動に取り組んでまいりました。

2021年5月、持続可能な地域社会・環境の実現に対する社会的な意識の高まりを受け、CSR基本方針を発展的に見直し、新たに「サステナビリティ方針」を策定しました。本方針のもと、「ESG取組方針」「SDGsに係る重点取組テーマ」を掲げ、持続的経営の実現に向けて行動していきます。

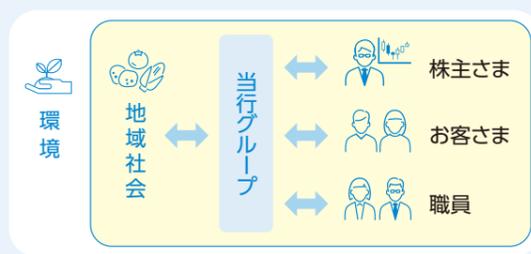


サステナビリティ方針

北洋銀行グループは「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。

北洋銀行グループのステークホルダー

ステークホルダーとは、企業の利害関係者のことです。ただし、金銭的な利害関係のある「お客さま」「株主さま」だけを指すのではなく、「地域社会」「環境」「職員」など、企業活動を行う上で関わる全ての主体を含みます。



北洋銀行SDGs宣言

北洋銀行は、当行グループの「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組み、国際連合が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献してまいります。



ESG取組方針

1



環境方針

美しく豊かな自然環境を維持し次世代へ継承していくことは、我々の責務であり、持続可能な地域社会の実現に不可欠であるとの認識のもと、事業活動を通じて環境負荷低減に貢献するとともに、生物多様性保全など地域が抱える環境課題の解決に取り組んでまいります。

2



社会貢献方針

当行は、地域金融機関として北海道経済の持続的成長に寄与することを責務と考え、金融仲介機能の円滑な発揮や多様なソリューションの提供に努めるとともに、様々なステークホルダー(利害関係者)が抱える社会的課題の解決に取り組んでまいります。

3



ガバナンス方針

様々なステークホルダーと確固たる信頼関係を構築し、より実効的なコーポレートガバナンスを追求していくため、独立社外役員の活用等による公正性・透明性の向上、ならびにコンプライアンス態勢のさらなる強化に取り組んでまいります。

SDGsに係る重点取組テーマ

1

お客さまとの共通価値の創造

事業性理解に基づく融資や各種ファンドの活用による金融仲介機能の円滑な発揮、地方創生や起業・創業・販路拡大・事業承継等、お客さまのニーズに応じた多様なソリューションの提供、ならびにそれらを活用した、地域の強みである農業・食・観光分野および課題であるモノづくりへの支援を通じて、お客さまとの共通価値を創造し、北海道経済の持続的成長に貢献してまいります。



2

環境保全

省エネルギー等への全行的取組みによる自行の環境負荷低減、多様な金融商品を活用した環境配慮型企業・環境成長分野へのサポート、ならびに北海道の生物多様性保全に取り組む個人・団体への助成等により、北海道の自然環境の維持・保全に貢献してまいります。



3

医療福祉

少子高齢化の先進地域である北海道の実情を踏まえ、医療・福祉機関への経営面のサポートや道内医療大学との連携、ならびに障がい者支援等により医療福祉の充実に貢献してまいります。



4

教育文化

貯蓄・投資を通じた安定的資産形成に資する金融リテラシーの向上を見据えた金融経済教育の推進、ならびに幅広い質の高い教育文化の振興に取り組んでまいります。



5

ダイバーシティ

女性職員の能力発揮、仕事と家庭・生活の両立に向けたさらなる女性活躍促進・労働環境整備、ならびに外国人職員の活用など、多様な人財が活躍できる組織づくりに取り組んでまいります。



気候変動問題への取組

日本政府により「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現」が宣言され、気候変動問題への対応は経済成長の制約ではなく、成長の機会ととらえる潮流が加速しています。2021年5月、当行は「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)*」提言への賛同を表明し、本提言で推奨される気候関連財務情報開示と脱炭素社会の実現に積極的に取り組んでいます。



*Task Force on Climate-related Financial Disclosuresの略。
2015年12月に金融安定理事会(FSB)により設立された、気候変動リスク・機会の情報開示を推奨する国際的な支援組織。

ガバナンス

頭取を委員長とするサステナビリティ委員会を設置し、気候変動をはじめとする環境問題への対応等について協議を行います。推進状況は取締役会へ報告し、取締役会による監督が適切に図られるよう体制を整備しています。

戦略

機会

脱炭素社会への移行を支援するファイナンス、ソリューションの提供を通じて、低炭素・脱炭素社会の実現に貢献していきます。

リスク

気候変動に伴うリスクとして移行リスクと物理的リスクを以下の通り認識しており、今後TCFD提言が推奨するシナリオを活用した分析を実施し、各リスクの定量的な評価を進めていきます。

移行リスク	脱炭素社会への移行に伴い、お客様の事業が影響を受け当行の与信関係費用が増加する等のリスクを想定		
	法規制リスク	炭素税等、CO ₂ 排出に関する規制強化等	
	技術リスク	既存製品の低炭素技術への入替えに係る投資の失敗等	
	市場リスク	消費者行動の変化、原材料コストの上昇等	
	評判リスク	特定セクターへの非難等	
物理的リスク	異常気象により、当行の事業用資産が被災し事業継続が困難となるリスクや、お客様の業績悪化や事業用資産毀損による当行の与信関係費用が増加する等のリスクを想定		
	急性リスク	洪水等の増加、異常気象の深刻化	
	慢性リスク	平均気温の上昇、海面上昇	

リスク管理

当行は気候変動に伴うリスクが将来的に当行の事業活動や財務内容に影響を及ぼす可能性があることを認識しています。今後、当該リスクを分析・評価・把握し、統合的リスク管理の枠組みの中で管理する体制の構築を進めていきます。

指標と目標

当行のCO₂削減量を2030年までに2013年度比50%削減し、2050年カーボンニュートラルの実現を目指します。また、脱炭素社会への移行を支援するファイナンスについて実行目標の設定を進めていきます。

お客さまとの共通価値の創造への取組

お客さまと経営課題を共有し、その解決に向け、資金面の支援はもとより外部専門機関も活用した多様なソリューションを提供しています。また地域社会の一員として社会貢献につながる行事への参加や地域交流など、全店をあげて様々な活動に取り組んでいます。



お客さまのSDGsへの取組を支援

北海道と「SDGsの推進における連携および協力に関する覚書」締結

北海道と2008年8月に締結した「北海道と北洋銀行の連携協力に関する協定書」に基づき、道内のSDGsの普及促進を目的として、「SDGsの推進における連携および協力に関する覚書」を締結しました。北海道と連携することで、当行単独の活動から北海道全体のSDGs普及拡大に深化させ、道内の今後のSDGs活性化に貢献していきます。



SDGs連携調印式

道内事業者の取組みを支援する「SDGs宣言サポート」

近年、社会的にSDGsへの関心が高まっており、企業イメージの向上や新たな事業機会の創出に繋がることから、多くの企業がSDGsに対して積極的に取り組んでいる背景をふまえ、道内事業者のSDGsへの取組みを支援すべく「SDGs宣言サポート」をお取り扱いしています。

本サービスでは、チェックシート*を用いてお客さまのSDGsに対する取組状況を診断し、独自の「SDGs宣言書」策定のお手伝いと、課題に対する取組みをサポートします。今後も道内のSDGs普及促進に向けた活動を強化していきます。

*チェックシートの作成は、当行が地域企業のSDGsへの取組みを支援することに賛同いただいた損害保険ジャパン株式会社様およびSOMPOリスクマネジメント株式会社様に協力をいただいています。

企業版ふるさと納税制度を通じた北海道への寄付

2020年11月より野村アセットマネジメント株式会社様による寄付スキームを備えた投資信託「グローバルESGバランスファンド【愛称:ブルー・アース】」をお取り扱いしています。本ファンドは野村アセットマネジメント株式会社様が、当行グループの販売残高に応じて北海道へ寄付をするもので、寄付金は「企業版ふるさと納税制度」を通じ北海道が実施するSDGs関連事業に活用されています。

お客さまの資産形成と社会的課題の解決に向けた取組みを同時に行うことができる商品であり、お客さまへの商品販売を通じて北海道経済の成長に貢献していきます。



寄付金贈呈式

地域における社会貢献

地域イベント・お祭り行事への参加

地域貢献の一環として、役職員がお祭りなどの地域行事に参加しているほか、各種イベントの運営にも積極的に協力しています。

地域の緑化・清掃活動

きれいな街づくりを目指し、地元の振興会や町内会が開催する緑化・清掃活動に参加するなど、地域の美化活動に積極的に取り組んでいます。



清掃活動(光星支店)

地域交流～店頭ロビーなどの活用～

店頭ロビーが地域の情報発信・文化交流の場となるよう、お客さまや地域の子どもたちによる作品を展示するロビー展を実施しているほか、環境や医療などのお客さまに役立つ情報を提供するパネル展などを開催しています。



ロビー展示(美深支店)



ロビー展示
(北広島中央支店)

CS～お客さまから感動していただける対応に向けて～

お客さま本位の徹底とサービス品質の向上を目的に全店で「CS委員会」を開催しているほか、お客さまアンケートを継続的に実施し、金融サービス業に必要な接客スキルの向上に努めています。コロナ禍においては、お客さまが安心して来店でき、明るい気持ちでお帰りいただけるよう、感染対策や拡大防止の呼びかけを徹底しています。



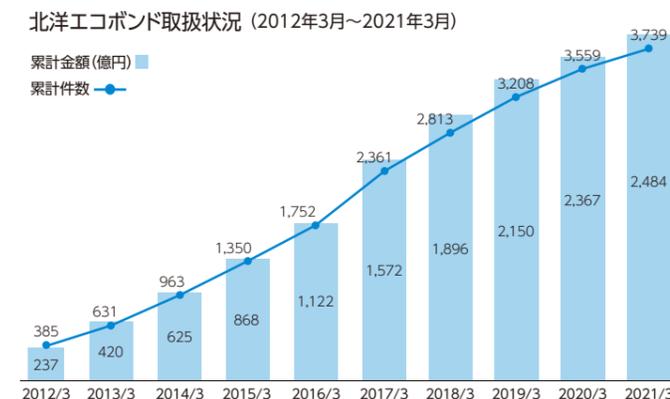
環境保全への取組

北海道の豊かな自然と環境を守り次世代へ引き継いでいくことは、地域に根差した金融機関の社会的責務であると認識し、ビジネスを通じてお客さまの取組みを支援しているほか、当行としても環境保全への取組みを積極的に行っています。

ビジネスを通じた取組

環境配慮型私募債「北洋エコボンド」

環境に配慮した取組みを自主的・積極的に行っている企業をサポートする私募債「北洋エコボンド」をお取り扱いしています。一般的な私募債よりも金利を優遇しており、多くの企業の皆さまにご利用いただいています。環境への取組みについては、北海道や札幌市等の地方公共団体とも連携を強化していることから、主な対象企業を北海道グリーンビズ認定制度・さっぽろエコメンバー登録制度の登録企業としています。



地域ESG融資促進利子補給事業

環境省が実施する「地域ESG融資促進利子補給事業」の指定金融機関に採択され、2019年11月より「地域ESG融資促進利子補給制度」の取り扱いを開始しました。本事業は、環境省が民間資金による地球温暖化対策の促進を図り、地域循環共生圏の創出につなげることを目的に創設したもので、一般社団法人環境パートナーシップ会議*が認定したCO₂削減効果の高い再エネ・省エネ設備投資に対するESG融資について、最大1%の利子補給を行います。

名称	地域ESG融資促進利子補給制度
資金用途	一般社団法人環境パートナーシップ会議が認定する、CO ₂ 削減効果の高い再エネ・省エネ事業に関する設備投資
融資金額	1社あたり1,000万円以上10億円以内
融資利率	当行所定の利率
利子補給	融資実行日から最長3年間、貸付利率の最大1.0% (利子補給後の実質融資利率は0.3%を下回らない)
返済方法	年2回(毎年3月および9月の各10日)元金均等返済
取扱期間	2021年7月2日～2022年2月10日 (環境省の本事業にかかる予算消化、もしくは当行融資決定額の累計が20億円に達した段階で終了。)

*環境省より「地域ESG融資促進利子補給事業」を受託し、運営を行う事業者のこと。

個人向けローンの拡充

リフォームローン エコリフォームローン金利割引

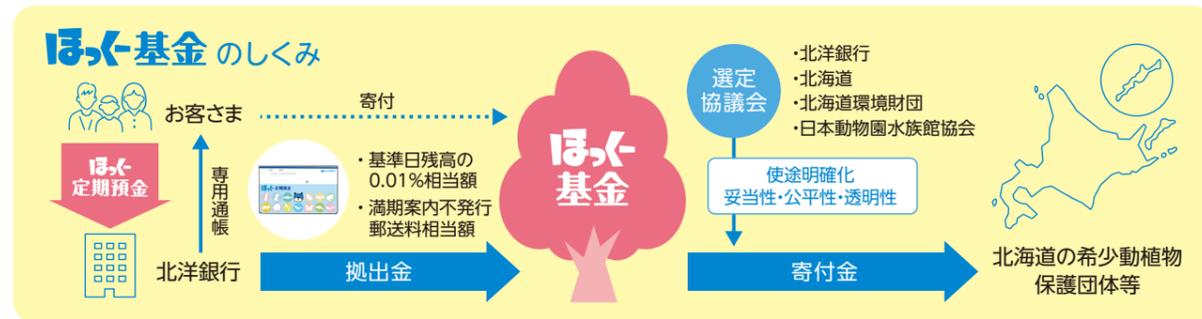
省エネ改修工事、太陽光発電工事等、環境配慮型工事の普及を後押しし、CO₂排出量削減に協力するため、これらの工事を行うお客さまのローン金利を通常のリフォームローン金利より優遇しています。

生物多様性保全活動 ほっくー基金

ほっくー基金

北海道の生物多様性保全に取り組む人々や団体を応援する「ほっくー基金」を2010年に設立し、道内の希少種保護や生息環境の整備等に取り組む様々な団体を幅広く支援しています。助成先の選定・支援方法については、官民連携の「ほっくー基金選定協議会*」を設置し、妥当性・公平性・透明性の確保に努めています。

*北海道・北海道環境財団・日本動物園水族館協会・当行で構成。



ほっくー定期預金

「ほっくー基金」の主な原資として、「ほっくー定期預金」をお取り扱いしています。お客さまにお預け入れたいただいた残高の0.01%相当額と満期案内不発行による郵送料相当額を当行が基金に拠出することにより、お客さまは間接的に「ほっくー基金」に参加し、北海道の生物多様性保全に貢献していただくことができます。さらに、「ほっくー定期預金」では環境配慮型通帳を採用しており、通帳の素材に地球環境に配慮した紙クロスと植物由来成分のインキを使用しリサイクル適性を向上させたほか、塩化ビニールを用いない磁気テープを採用することで廃棄適性も向上させています。



ほっくー定期預金通帳

ほっくー基金口座の設置

北海道の生物多様性保全に道民一丸となって取り組めるよう、「ほっくー基金」の専用寄付口座を設けています。各営業店の窓口にて、お振込手数料無料で受付しており、個人から法人のお客さままで広くご協力を募っています。

「21世紀金融行動原則」最優良取組事例特別賞(運営委員長賞)受賞

ほっくー基金による継続的な取組みが、生物多様性保全に資する模範的な好事例として評価され、環境省が支援する「21世紀金融行動原則*」の2020年度最優良取組事例において、特別賞(運営委員長賞)を道内金融機関で初めて受賞しました。



表彰式

*持続可能な社会の形成のために必要な責任と役割を果たしたいと考える金融機関の行動指針。署名金融機関は、自らの業務内容を踏まえ可能な限り7つの原則に基づく取組みの実践を目指しています。

2021年度 ほっくー基金助成先 (50音順)

<p>ほっくーコース 《助成金額》 100万円(上限)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オホーツク魚類研究会 ・環境市民団体エコ・ネットワーク ・特定非営利活動法人近自然森づくり協会北海道支部 ・釧路自然保護協会 ・沼辺の会 ・北海道希少生物調査会 ・山のトイレを考える会
<p>トムコース 《助成金額》 10万円(固定)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・旭山自然調査隊 ・アライグマ捕獲 深川市民の会 ・いしかり森林ボランティア「クマゲラ」 ・特定非営利活動法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会 ・遠軽町ウチダザリガニ防除ボランティアグループ ジョ・ザリ・クラブ ・特定非営利活動法人霧多布湿原ナショナルトラスト ・駒生川に魚道をつくる会 ・一般社団法人北海道自然保護協会 ・北海道生物教育会

ほっくー基金設立以来、7,390万円(延べ123先)を助成しました。

2021年度ほっくー基金助成先のご紹介

釧路湿原や釧路川で自然再生事業を行う 釧路自然保護協会

2018年より、釧路川水系においてイトウやサケ・マスなどの魚類の産卵遡上環境を改善するため、NGOや民間団体・行政機関等と連携し、落差工等の魚道の遡上障害となっている構造物に魚道を整備する活動を進めています。2018年度に4基、2019年度に2基、2020年度に2基の魚道整備(新設・改修)を行っており、イトウの産卵床数が増加するなど一定の成果があらわれています。2020年10月には自然再生推進法認可事業として実施計画を策定しており、今後も生物多様性豊かな釧路川流域の地域づくりを推進していきます。



釧路川に棲むイトウ(撮影:大本謙一)



魚道整備を行った落差工

職員の環境保全意識向上に向けた取組

全行一斉ごみ拾い活動

職員全員が北海道の環境保全への意識を持つきっかけづくりとして、店舗周辺および近隣地域を対象とした「全行一斉ごみ拾い活動」を実施しています。各営業店において日常的に店舗周辺の清掃は行っていますが、職員一丸で行う機会を設けることで、地域やお客さまへの感謝の気持ちを表すとともに、個々人の環境保全意識を高めています。

(2020年度参加人数: 1,309名)



大通公園でのごみ拾い活動



本店営業部・本部の参加者

医療福祉への取組

地域医療や福祉への貢献をはじめ、全てのお客さまが利用しやすい銀行を目指し、サービス体制充実のための様々な取組みを行っています。



地域医療活動への貢献

道内教育機関との連携

道民の皆さまがより健康で元気に暮らせる心身づくり、地域医療への貢献、産学が連携して互いに発展することを目的として、道内4つの研究・教育機関(北海道大学、札幌医科大学、旭川医科大学、北海道医療大学)と包括連携協定を締結し、市民向け講座やセミナー開催に取り組んでいます。

2020年度セミナー開催実績

大学名	内容
札幌医科大学	「道民医療講座WEBセミナー」 2020年12月～2021年3月までYouTube配信



道民医療講座WEBセミナー
(札幌医科大学との連携事業)

企業団体献血への協力

職員参加型の社会貢献活動として、企業団体献血への協力を推進しています。2020年度は、道内各地区で日本赤十字社より献血バスを手配いただき、延べ171名の役職員が参加しました。輸血を必要としている尊い命を救うために、持続的に取り組むことのできるボランティア活動として、今後も定期的に取り組んでいきます。



北洋大通センターでの団体献血

骨髄バンク活動への支援

1990年に設立された「北海道骨髄バンク推進協会」は、ドナー登録者の拡大をはじめ、骨髄移植を推進する活動を行っています。当行は、同協会設立以来、事務局の運営および啓発活動への協力のほか、経済的支援等様々な取組みを行っています。また、骨髄ドナー休暇を設けて職員の貢献活動も推奨しています。

商品や店舗を通じた取組

もしもの時の安心をサポートするローン商品

住宅ローン「11疾病団信(生活習慣病団信入院プラスα)」

住宅ローン団信のラインナップに「11疾病団信」を追加しました。通常の団信の保障(死亡・高度障害)、余命6ヶ月以内と判断されたときの保障に加え、がんと診断確定された場合や、10種類の生活習慣病で入院が180日以上継続した場合に、住宅ローンの残高が0円になるだけでなく、がんに関する充実した給付金と短期・中長期の入院にも幅広く対応しています。(2018年5月取扱開始)

先進医療ローン

悪性腫瘍に対する陽子線治療等、高額な治療費が必要となる先進医療を受けられる患者さまやそのご親族の方が対象の商品です。通常のローンよりお借入条件を有利に設定し、元金のお支払いも6ヶ月間据置できるため、経済面での不安を緩和し、治療に専念していただくことができます。(2015年1月取扱開始)

万が一の時も安心な教育ローン

ご返済中に、生まれて初めて「がん」と診断された場合、保険金が返済に充当される「がん診断保険金特約」をセットした教育ローンをご提供しています。「がん」と診断された場合はローンの残高が0円となり、ご返済負担がなくなります。教育をあきらめることなく治療に専念いただくことで、お子さまの夢を応援できる安心感をセットしました。(2016年1月取扱開始)

ご高齢のお客さま・障がいのあるお客さまへの対応

点字通知サービスの開始

視覚障がいをお持ちのお客さまに配慮した取組みとして、「預金残高」「取引明細」のご案内を点字で作成し、郵送にて無料で通知するサービスを2018年7月より開始しました。

全店に「サービス・ケア・アテンダント」「サービス・ケア・キャスト」認定者を配置

サービスをご提供するあらゆる場面においてお困りごとのある全ての方を対象に、人的対応能力に重点を置き、サービス品質のレベルアップを図る指標となる資格「サービス・ケア・アテンダント」、「サービス・ケア・キャスト」認定者を、2018年11月より全店に配置しています。

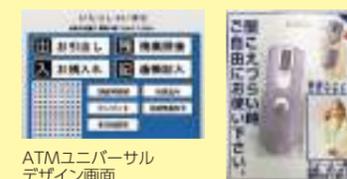


サービス・ケア・キャスト研修

★資格認定者 **248名**
 ●サービス・ケア・アテンダント **115名**
 ●サービス・ケア・キャスト **133名** (2021年3月末時点)

お客さまに優しい銀行としての取組み

- 「杖かけホルダー」の設置
- 「ATMタッチペン」の設置
- 「文字拡大機能付ATM」の設置
- 車いすの全店配備
- 声が大きく聞こえる機能がある「助聴器」の全店配備
- 店舗建て替え時のバリアフリー設計等
- 当行HPの一部音声読上げ



ATMユニバーサルデザイン画面

助聴器

視覚障がいのあるお客さま

- 窓口受付振込手数料をATM利用振込手数料と同額へ引き下げ
- 音声案内対応ATMを全店に1台以上設置
- 点字通知サービスによる預金残高・取引明細の通知
- ホームページの音声読上げサービス



音声案内対応ATM

耳の不自由なお客さま

- 「耳マーク」、「コミュニケーションボード」、「筆談ボード」を全店に設置



入出金・口座開設・名義変更等希望する手続きを指示する「コミュニケーションボード」

文化への取組

本格的なクラシック音楽に触れる機会を設けるほか、パラスポーツや地域スポーツを応援するなど、北海道の文化・スポーツを盛り上げる活動に取り組んでいます。



芸術文化振興への取組

北洋銀行presents 札幌交響楽団によるクラシックコンサート

2012年から札幌交響楽団によるクラシックコンサートを道内各地で開催し、道民の皆さまに本格的なクラシック音楽をお楽しみいただいています。



札幌公演(2019年)

2020年度クラシックコンサートオンライン配信

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、無観客で開催したコンサートの模様を当行公式YouTubeにてオンライン配信しました。(視聴期間:2020年12月28日~2021年7月20日)



無観客で実施した札幌公演(2020年)



YouTube掲載動画

国際教育音楽祭「PMF」

世界の若手音楽家の育成を目的に1990年より毎年開催されているPMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル)に協賛しています。夏の音楽祭の期間には、北洋大通センターセミナーホールにお取引先の皆さまをご招待するミニコンサートを開催し、アカデミー生が奏でる音色をお楽しみいただいています。

スポーツ振興への取組

北海道のパラスポーツを支援「パラスポーツ応援債」

北海道のパラスポーツを応援する私募債「パラスポーツ応援債」をお取り扱いしており、お客さまが発行する「パラスポーツ応援債」の0.2%相当額を、当行が「ほっくー障がい者スポーツ基金」に拠出し、道内のパラスポーツ活動に取り組む選手や団体等に寄付しています。基金の贈呈・支援方法については、官民連携の「ほっくー障がい者スポーツ基金選定協議会*」を設置し、妥当性・公平性・透明性の確保に努めています。今後も地域のお客さまとともに、道内のパラスポーツを支援していきます。



斉藤伸弘選手(パワーリフティング)



高橋宏美選手(車いすカーリング)

*北海道・札幌市・公益財団法人北海道障がい者スポーツ協会・一般社団法人札幌市障がい者スポーツ協会・株式会社北海道新聞社・当行で構成。

2020年度パラスポーツ応援債取扱実績

740百万円 / 15件



ほっくー障がい者スポーツ基金 2020年度 贈呈先	金澤 碧詩 選手(IDアルペンスキー)	三澤 英司 選手(パラアイスホッケー)
	久保 和廣 選手(CPサッカー)	依田 航 選手(IDサッカー)
	斉藤 伸弘 選手(パワーリフティング)	公益財団法人北海道障がい者スポーツ協会
	鈴木 秀則 選手(車いすカーリング)	一般社団法人札幌市障がい者スポーツ協会
	須藤 悟 選手(パラアイスホッケー)	道東地区障がい者スポーツ指導者協議会
	高橋 宏美 選手(車いすカーリング)	函館地区障害者スポーツ指導者協議会
	長江 充 選手(クロスカントリースキー)	2021ワールドパラノルディックスキージャパンカップ札幌大会
	永瀬 充 選手(パラアイスホッケー)	計15選手・団体等に710万円を寄付しました

スポーツ応援事業

北海道との包括連携協定の一環として、「子ども」と「障がい児者」に重点を置いたスポーツ応援事業を実施しています。子どものスポーツでは体力向上と地域活性化、障がい児者スポーツでは障がいに対する理解を深め、障がい児者の社会参加の促進に貢献しています。

子どものスポーツ	障がい児者スポーツ
公益財団法人北海道スポーツ協会のご協力のもと、スポーツ体験教室を開催する各市町村体育協会を助成しています。助成先は、地元のスポーツ少年団やスポーツクラブとも連携し、5種目10回以上のスポーツを体験できるものとしています。	公益財団法人北海道障がい者スポーツ協会のご協力のもと、障がい児者スポーツの活動団体に助成金を交付しています。一般公募の中から、障がい児者スポーツの振興と向上に貢献する活動に取り組む団体を選定しています。

教育への取組

北海道の未来を担う子どもたちへの金融教育や育成支援に力を入れているほか、幅広い層を対象とした各種セミナーを開催しています。



金融経済教育への取組

出張授業・職場見学の受入れ

小学生から高校生を対象に、金融に関する出張授業や講師派遣、当行本支店にて職場見学を積極的に受入しています。職場見学では、店内見学や職場体験のほか、お金の仕組みや銀行の役割に関する講義等を行っています。



オンラインを活用した金融教育
(サステナビリティ推進室)



講義の様子(サステナビリティ推進室)

金融教育ができる人財の育成

「金融教育ができる教員を育てること」を目的に、北海道教育大学との金融教育プロジェクトに取り組んでいます。当行職員が講師となり、同大学の学生を対象にマネーモラルや銀行の社会的役割についての講義を行っています。



北海道教育大学での講義(2019年)

金融リテラシーセミナーの開催

当行本支店やコンサルティングプラザにて、資産形成層のお客さまを対象に非課税制度を活用した資産形成に関するセミナー等を開催しています。また、学生への金融経済教育として、将来の生活と資産形成の大切さを学ぶ「ライフプランニング授業」を行っています。



道新資産運用フェアでのセミナー(2019年)

2020年度金融教育実績

① 学生を対象とした金融教育

	実施回数	参加人数
職場見学受入	5回	8名
講師派遣	4回	153名
インターンシップ受入	11回	554名

② 社会人等のお客さまを対象としたセミナー

	実施回数	参加人数
資産形成セミナー	29回	707名
相続関連セミナー	3回	37名
資産運用セミナー	1回	11名

次世代の育成支援

第48回 中学生作文コンクール

2013年度より「中学生作文コンクール」に協賛しています。2020年度のテーマ「君に逢えてよかった」はアイヌ語のあいさつ「イランカラテ」に由来したもので、全道から8,384点の応募がありました。

本年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、例年当行本支店を主会場として開催している表彰式は中止とし、作品の朗読や審査の総評などを収録したWEBコンテンツを公開しました。このほか、入賞作品やWEBコンテンツの内容をまとめた作品集を発行しています。



作品集

① テーマ 君に逢えてよかった



全道8,384点の応募の中から選ばれた入賞者

- 文部科学大臣賞／阿部麟太郎(登別・鷺別中学校3年)
- 北海道知事賞／本間心咲(函館・本通中学校1年)
- 北海道中学校長会会長賞／池田真弥(江別・立命館慶祥中学校1年)
- 北海道学校図書館協会会長賞／本田瑠々花(札幌・北海道教育大学附属札幌中学校2年)
- 特選 北海道放送賞／清杉笑花(旭川・緑が丘中学校1年)
- 特選 北洋銀行賞／今村晃也(函館・桔梗中学校2年)
- アイヌ民族文化財団賞／大沼乃々葉(鶴居・鶴居中学校1年)

劇団四季公演の青少年観劇を支援

札幌を中心に道内各地で開催される公演のサポーターとして、学校行事(芸術鑑賞教室)や青少年の観劇を支援し、舞台を通じて次世代を担う北海道の子どもたちの心に「生きる喜び」「人とのつながり」など、生きていく上で大切なものを語りかけ、豊かな感性を育む活動を応援しています。



劇団四季
「The Bridge
～歌の架け橋～」
(撮影:荒井健)

奨学金支援

社会福祉法人北海道母子寡婦福祉連合会(1976年より支援)と公益社団法人札幌市母子寡婦福祉連合会(1985年より支援)が行う奨学金事業を支援しています。



札幌市母子寡婦福祉連合会奨学金贈呈式(2019年度)

人財育成とダイバーシティ

銀行を取り巻く環境が大きく変化しているなか、お客さま本位を徹底し、お客さまのニーズに応え続けていくためには、変化を恐れず自ら考え挑戦できる人財の育成が不可欠です。また、職員がそれぞれの暮らしを充実させ、能力や個性を十分に発揮することが、中長期的に当行を支える重要な経営基盤になると考え、様々なサポートを行っています。

人財育成の取組

対話力向上、コンサルティング強化に向けた研修の拡充

中期経営計画の基本方針の1つである“深度あるコンサルティングの実現”のため、対話力向上とコンサルティング強化に向けた研修を拡充しています。研修はロールプレイングやグループワークを柱とした実践的な内容にブラッシュアップしたほか、自己啓発ツールとしてeラーニングのコンテンツ拡充も図っています。

人財育成の各種制度

- **新入行員育成プログラム**
新入行員の早期育成を目的とした制度(入行後3年間)です。
- **各種トレーニー制度**
行内の選抜試験を経た若手職員を外部機関または行内で一定期間専門業務に従事させることで、専門的なスキルを身に付ける機会を提供しています。
- **行内公募制度**
公募を行い自分の希望する本部部室への異動を自らの挙手により可能にします。専門的な業務スキルを身に付けることができる本部業務の機会を提供しキャリア上昇志向を支援しています。
- **ADチャレンジ制度**
各種資格試験や検定試験へのチャレンジ等、業務に関する自己啓発を支援しています。

タレントマネジメントシステムの活用

職員の保有能力を客観的に把握するスキルチェック表をタレントマネジメントシステムに搭載し、スキルを見える化することで、能力開発につなげます。また、職員間のコミュニケーションツールとしても活用しています。



スキルチェック表



行内SNS

SDGs関連データ<ダイバーシティ>

	2018年度実績	2019年度実績	2020年度実績
新規採用者に占める女性比率	50.0%	50.6%	43.3%
従業員に占める女性比率	36.3%	37.1%	41.3%
男性と女性の平均雇用年数の違い	4.0年	3.8年	3.5年
管理職における女性比率	17.1%	18.2%	18.4%
調査役クラス以上の女性比率	26.1%	27.9%	29.2%
女性の育児休業取得率	100.0%	100.0%	100.0%

※各年度末基準

表彰等

- 2016.4 厚生労働省「えるぼし」(最上位)認定
- 2016.12 内閣府「女性が輝く先進企業表彰」で「内閣府特命担当大臣表彰」受賞
- 2018.12 厚生労働省「プラチナくるみん」認定
- 2019.12 MSCI日本株女性活躍指数(WIN)の構成銘柄に選定

ダイバーシティの推進

ワークライフバランスの取組

男女ともに働きやすい環境整備への取組みとして、仕事と生活の両立を積極的に支援する制度を導入しています。コース転換制度や勤務地変更制度、育児・介護リキャリアプラン、半日有給休暇制度などのワークライフバランス関連制度を充実させたほか、1週間の連続休暇や勤続年数に応じたリフレッシュ休暇による有給休暇の取得推進、年2回の定時退行励行週間を実施するなど、時間外労働削減に取り組んでいます。

企業内託児所	2006年4月開設、職員・パートタイマーが利用	介護休業	要介護状態にある家族の介護を行っている職員
育児休業	子が2歳に達するまで	育児・介護リキャリアプラン	育児・介護の負担に応じ、一時的に役職を下げた業務を軽減
育児休業制度	配偶者の産後8週間以内に10日間取得可能	コース別人事	ライフイベントに応じて勤務地を限定できるコースを設置
育児短時間勤務制度	小学校6年生までの子を養育する職員、6時間勤務と7時間勤務の選択制	コース転換制度	ライフイベントに応じてコースの往来が可能
時間外労働の免除	小学校6年生までの子を養育する職員	勤務地変更制度	配偶者の転勤・親の介護先への希望異動が可能
半日有給休暇制度	有給休暇を半日単位で取得できる	退職行員再雇用制度	子育て等が落ち着いた元行員を再雇用する制度

女性職員の活躍支援

人事部内に設置した「ダイバーシティ推進室」では、職員全体の4割を占める女性職員のキャリアアップやライフプランについての個別相談、女性のキャリア形成支援を目的とした研修を実施しています。また、育児休業中の職員の職場復帰支援等、出産・子育てをしながら働き続けるための様々な制度やサポートがあります。



女性職員を対象としたキャリアデザイン研修 (2019年度)

育児休業者・復帰者意見交換会(2019年度)

職員の健康管理の取組

職員の健康で働きがいのある職場づくりを経営の重要な柱と位置づけており、時間外労働の削減に向けた各種取組みや全職員に対するストレスチェックなど、様々な施策を実施しています。これらが評価され、2021年3月には経済産業省および日本健康会議が実施する「健康経営優良法人認定制度」において「健康経営優良法人2021(大規模法人部門)」に4年連続で認定されました。

障がい者雇用への取組

障がいのある方が地域の中で安心して暮らせる社会の実現と、障がいのある方の社会的自立を支援するために障がい者雇用に取り組んでいます。

高齢者が活躍できる環境の整備

当行ではシニア職員再雇用制度により、希望者全員が満65歳まで引続き勤務しています。再雇用にあたっては、これまでのキャリアや経験を活かせるような配置を行っており、現在300名以上が本制度を利用し、うち100名以上の職員が営業店での勤務を選択しています。また、「シニアパートナー制度」を新設し、最長70歳までの雇用延長を実施しています。

コンプライアンス(法令等遵守)

当行グループでは、新たに策定した「行動規範」の一つに「コンプライアンス・社会的責任を常に意識し、誠実に向き合う」ことを掲げ、これが全ての行動の根幹になることを全職員に周知・徹底しています。

コンプライアンス態勢

当行では、「法令等遵守規程」に基づき、取締役会が当行および当行グループのコンプライアンス態勢の整備を統括し、「コンプライアンス委員会」において具体的な行動計画等を策定しています。

コンプライアンス委員会

当行は、コンプライアンス態勢確立のために頭取が任命する委員長および委員によるコンプライアンス委員会を設けており、法務コンプライアンス部が事務局となっています。また、各営業店・本部各部室にはコンプライアンス責任者とコンプライアンス担当者を配置しており、コンプライアンスに関する状況等を把握し、方針を徹底・浸透させています。

コンプライアンス委員会は、遵守すべき法令等の解説や違法行為を発見した場合の対処方法などを具体的に示したコンプライアンス・マニュアルを全役職員等に配布、また態勢強化のための具体的な計画であるコンプライアンス・プログラムの策定・見直しを行い、取締役会に付議・報告しています。

コンプライアンスの徹底

コンプライアンスの徹底のため、各職場でコンプライアンス担当者が中心となり、コンプライアンス・プログラムに基づく研修を繰り返し実施しています。また、新任営業店長や新任副支店長等を対象に、階層別のコンプライアンス集合研修を継続的に実施し、コンプライアンス態勢の強化を図っています。

内部通報制度

当行および子会社の役職員が法令上疑義のある行為等を発見した場合に、法務コンプライアンス部等の当行本部部署または弁護士による社外受付機関へ直接、報告することができる内部通報制度を利用し、不正行為やコンプライアンス上の問題の早期把握と是正に努めています。

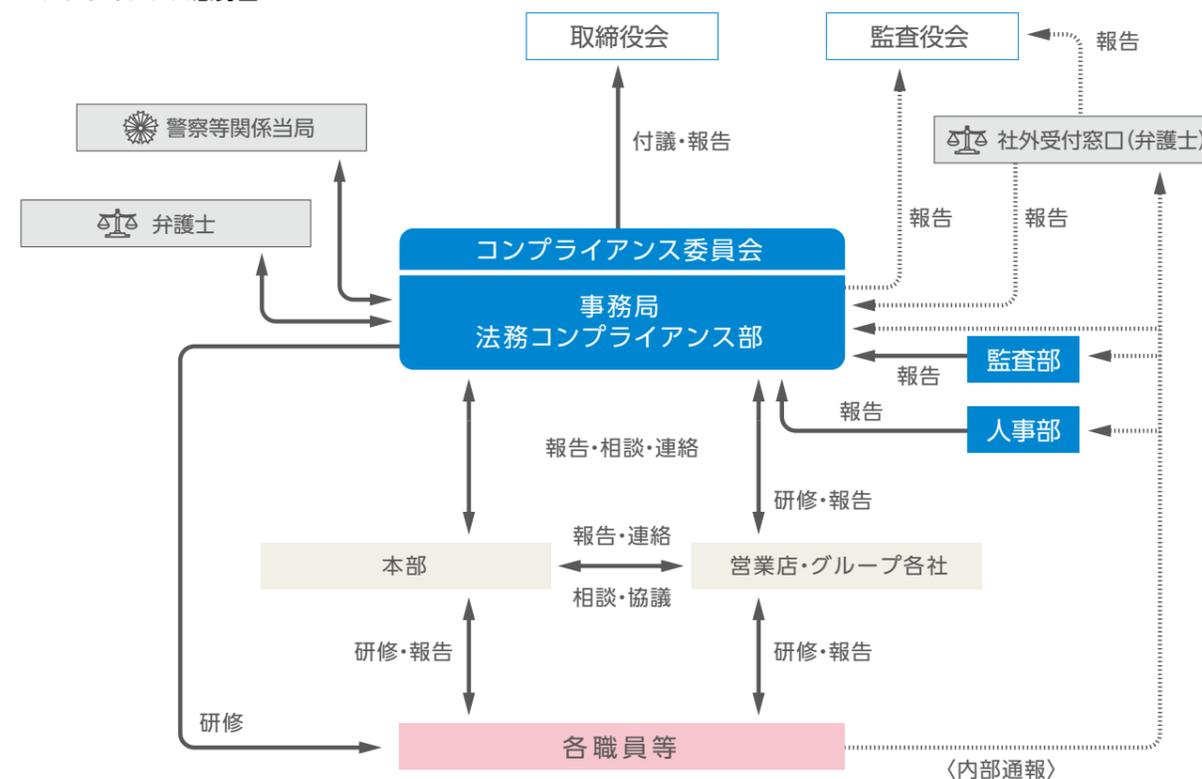
また、グループ内の役職員が遵守する「内部通報規程」において、通報窓口から報告を受けたコンプライアンス委員会事務局が都度監査役に報告する体制、および通報窓口が直接監査役に報告できる体制を定めているほか、通報者に不利益を与えない適切な態勢を整備し、通報者の保護を徹底しています。

反社会的勢力への対応

当行は、銀行のもつ公共的使命および社会的責任を認識し、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力への資金提供の拒絶、不当要求・不当介入の排除など、反社会的勢力との取引を含めた一切の関係を遮断すべく態勢の整備に努めています。

「反社会的勢力への対応に係る基本方針」に則り、各種預金取引、融資取引、貸金庫取引等の各種取引に「暴力団排除条項」を導入し、また法務コンプライアンス部を中心として警察や弁護士等と連携のうえ、反社会的勢力の排除を図っています。

コンプライアンス態勢図



コンプライアンス(法令等遵守)

個人情報保護・お客さま保護等の管理態勢

当行では新たな経営理念のもと、お客さま本位の営業をより追求し、お客さま・地域の多様化するニーズや課題に最善の提案をもってお応えすべく全行挙げて取り組んでいます。こうした取組みを実践していくうえで、情報資産を有効に活用し、適切に保護することが不可欠であるという認識のもと「セキュリティポリシー兼セキュリティスタンダード」を定め、遵守状況のチェックを行っています。

また、以下の方針等を役職員に周知・徹底し、個人情報保護・お客さま保護等の管理態勢強化に努めています。

個人情報保護

「個人情報の保護に関する法律」に従って定めた「個人情報保護宣言(プライバシーポリシー)」を公表し、情報の漏洩等の防止のための態勢整備や開示等の請求に対応する受付態勢を構築するなど個人情報保護のための安全管理措置の整備を行っています。

お客さま保護等

「金融商品の販売等に関する法律」等に基づき、お客さまの利便性向上や保護を図ることを目的とした「お客さま保護等管理方針」や、お客さまに適切な金融商品を提供するための「勧誘方針」等を定めており、適正な業務運営をもってお客さまの信頼性を高めるよう努めています。

利益相反管理

お客さまの利益が不当に害されることを防止するために「利益相反管理ポリシー」「利益相反管理規程」を定め、利益相反に該当する取引を適切に管理する態勢を整備しています。

フィデューシャリー・デューティー*

フィデューシャリー・デューティーの実践に向けた取組方針として、『お客さまの安定的な資産形成・資産承継を実現するための取組方針～「お客さま第一主義」(フィデューシャリー・デューティー)の徹底～』を策定し、公表しています。本取組方針に基づき、今後も、お客さまのライフステージ等に応じたコンサルティングを通じて、最適な商品やサービス・情報等をタイムリーにご提供してまいります。

*フィデューシャリー・デューティーとは、お客さまのニーズを正確にとらえ、適切な説明や情報提供を実施し、お客さまの意向や利益に真にかなう金融商品やサービスをご提供することをいいます。

マネー・ローンダリング等金融犯罪の防止に関する取組

マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与対策は、国際社会がともに取り組まなくてはならない課題として重要性が高まっています。当行は、マネー・ローンダリング等対策を経営の最重要課題のひとつと位置付け、複雑化・高度化する手口に対応し、実効的な対策を進めています。

「犯罪による収益の移転防止に関する法律」や「外国為替及び外国貿易法」などの関係法令に定められた取引時確認の措置等を的確に実施することは当然として、2018年11月に「マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策に係る基本方針」を制定し、2019年1月には、統括部署として法務コンプライアンス部内に「マネー・ローンダリング等金融犯罪対策室」を設置しました。今後もリスクベース・アプローチの考え方に基づくマネー・ローンダリング等管理態勢の強化に努めてまいります。

マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策に係る基本方針

北洋銀行(以下「当行」)は、金融機関としての社会的責任と公共的使命を認識し、マネー・ローンダリング及びテロ資金供与(以下「マネー・ローンダリング等」という。)対策を経営の最重要課題のひとつとして位置づけるとともに、関係法令等を遵守し、当行を取り巻く国際情勢やリスクの変化等に機動的に対応し、かつ実効的な管理態勢の整備に努めます。

1 組織態勢

(1)当行は、マネー・ローンダリング等の対策に関する責任者及び統括部門を定めて一元的な管理態勢を構築し、関係部門の連携のもと、各部門の役割及び責任を明確にしてマネー・ローンダリング等の対策に取り組めます。

(2)「取締役会」は、マネー・ローンダリング等の対策を経営の最重要課題のひとつと認識し、主体的かつ積極的に関与して適切な管理態勢を構築します。

2 リスクベース・アプローチ

当行は、リスクベース・アプローチの考え方に基づく、当行の提供する商品・サービスや取引形態、取引にかかる国・地域、顧客の属性等のリスクを包括的かつ具体的に検証し、マネー・ローンダリング等のリスクを特定・評価し、リスクに見合った低減措置を判断・実施します。

3 顧客管理方針

当行は、本人確認、取引時確認、資産凍結等の措置に係る確認など、顧客の属性や取引の内容に適した必要な措置を適切に実施します。

4 疑わしい取引の届出と資産凍結の措置

当行は、疑わしい取引について、適時・的確に検知できる態勢を整備し、当局に対して直ちに届け出ます。また、資産凍結対象者等に対する措置を適切に実施します。

5 コルレス契約先の管理

当行は、リスクベース・アプローチの考え方に基づく、コルレス契約先の情報を定期的に収集してリスクを評価し、評価結果に基づいて、適切な方策を講じます。

6 研修等の実施

当行は、役職員等に対し、マネー・ローンダリング等の対策に関する研修等を継続的に実施し、必要な知識を高め、意識の向上を図ります。

7 有効性の検証

当行は、マネー・ローンダリング等の対策の状況について、独立した内部監査部門である監査部が定期的に監査を行い、監査結果を踏まえてさらなる管理態勢の改善に努めます。

以上

盗難通帳・インターネットバンキングによる預金等の不正な払い戻しへの対応

当行では、預金者保護法における偽造・盗難キャッシュカード被害補償(以下「預金者保護法に基づく補償」といいます)のほかに、盗難通帳・インターネットバンキングによる預金等の不正な払い戻しへの対応を次のとおり行っています。

1. 盗難通帳による預金等の不正な払い戻しへの対応

個人のお客さまが盗難された通帳により預金の不正な払い戻しの被害に遭われた場合には、預金者保護法に基づく補償に準じて被害補償を実施いたします。(※)

2. インターネットバンキングによる預金等の不正な払い戻しへの対応

(1)個人のお客さまがインターネットバンキングによる不正な払い戻しの被害に遭われた場合には、預金者保護法に基づく補償に準じて被害補償を実施いたします。(※)

(2)法人のお客さまがインターネットバンキングによる不正な払い戻しの被害に遭われた場合には、当行が定める「お客さまに実施していただくセキュリティ対策」の導入等を条件に、所定の限度額の範囲内で被害補償を実施いたします。(※)

3. お客さまのご相談を受ける窓口

(1)個人のお客さま:最寄りの当行本支店窓口またはフリーダイヤル:0120-161-697にお問い合わせください。
ご利用時間/平日9:00～17:00(銀行休業日を除く)

(2)法人のお客さま:最寄りの当行本支店窓口またはフリーダイヤル:0120-440-043にお問い合わせください。
ご利用時間/平日9:00～18:00(銀行休業日を除く)

当行は、これからもお客さまに安心してご利用いただけますよう、引き続きセキュリティの向上に取り組んでまいります。また、不正な払い戻しを未然に防止するため、預金等の払い戻しの際には追加的な本人確認をお願いする場合がありますのでご承知願います。

*盗難通帳・インターネットバンキングによる預金等の不正な払い戻しにかかる被害補償につきまして、お客さまの「故意」もしくは「過失」による損害など所定の要件に該当する場合には、補償の対象外もしくは補償の減額となることがあります。詳しくは当行ホームページ等でご確認ください。

リスク管理

当行では、経営の健全性を確保しつつ収益力を向上できるよう、管理態勢・管理手法の充実を図るとともにリスク管理に取り組んでいます。

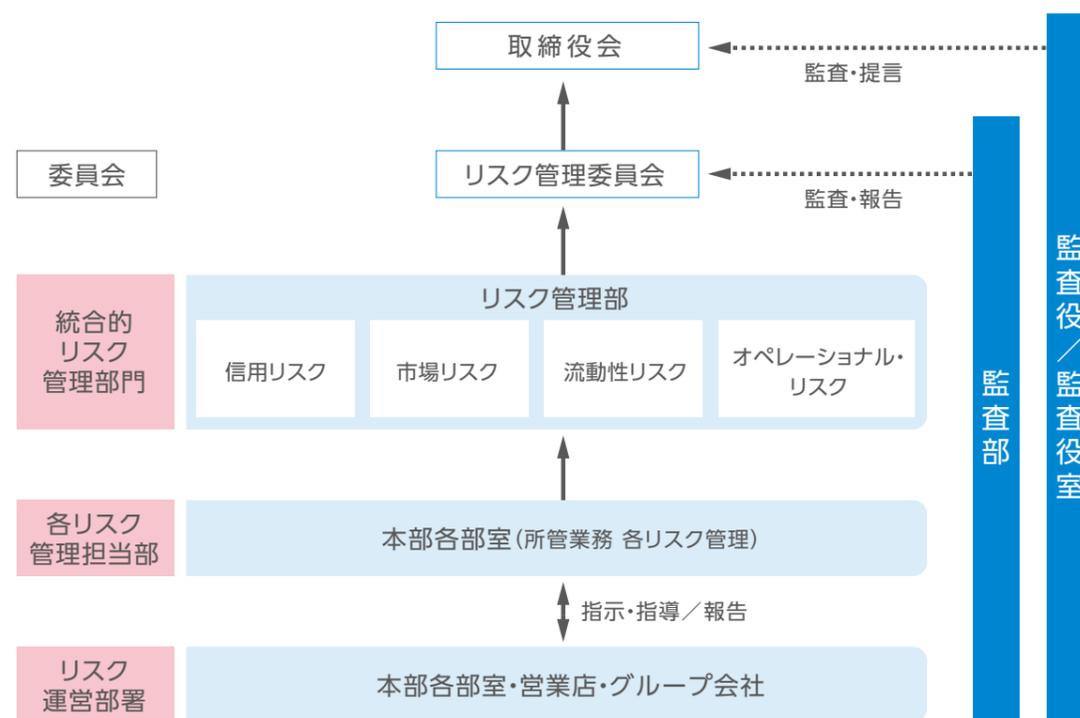
リスク管理態勢

お客さまニーズの高度化・多様化に伴い、多彩な金融商品の開発が行われるなど、金融機関を取り巻く環境は大きく変化してきており、これらから発生するリスクもまた一段と多様化・複雑化しています。このような環境の下で、お客さまが安心してお取引引きできる、また選ばれる金融機関となるためには、これらのリスクを適切に管理し、コントロールすることが以前にも増して強く求められています。

当行では、「リスク管理委員会」を設置し、グループ各社のリスク管理を統括することにより、経営の健全化を目指し、リスク管理態勢への取組みの強化・充実を図っています。

また、内部管理態勢の適切性・有効性検証のため、当行の監査部による内部監査を実施することで、内部牽制機能を構築するとともに、内部管理態勢の評価および改善提言等を行っています。

リスク管理態勢図



各リスクの統合管理への取組

グループ各社が抱える様々なリスクを統合的に管理するため、「リスク管理委員会」において、信用リスク、市場リスク、オペレーショナル・リスクをはじめ主要なリスク状況を把握するとともに、リスク管理方針やリスク管理態勢整備に関する事項について、協議を行っています。

加えて、当行のリスクを計量化し、リスク量の合計が経営体力の範囲内にあることをチェックしています。また、グループ経営会議を設置し、グループ各社と様々な協議を行っています。

信用リスク管理

「信用リスク」とは、信用供与先の財務内容の悪化あるいは支払能力低下の傾向等により、資産の価値が減少ないし消失し当行グループが損失を被るリスク、および大口信用供与先、特定業種または特定グループ等への貸出資産等の偏在・集中から生じるリスクです。

信用リスク管理には、2つの捉え方があります。1つは、個別取引先の貸出金をその信用状況に応じた適切な手法により管理することであり、もう1つは、特定の取引先や業種に対する貸出が偏重することのないよう、適切にポートフォリオを管理し、信用リスクを分散できる貸出運営を行うことです。

「リスク管理委員会」および「信用リスク管理検討会」では、グループの与信全体についてのポートフォリオを適切に管理することで、グループ全体の信用リスクの把握・検証を行っています。

また、当行では、審査部門の独立性の確保、審査機能の充実を図っており、行内・行外研修などを活用し、審査管理能力の向上に努めています。

なお、信用リスク管理の高度化に関しては、信用供与先や案件の債務履行の確実性を表す内部格付制度の拡充を図っており、基礎的内部格付手法を採用しています。

また、デフォルト先の最終的な損失率を算出するためのデータ収集を行い、平均的な損失額を見積もるための対応なども行っています。

リスク管理

市場リスク管理

「市場リスク」とは、金利の変動や有価証券の価格変動、外国為替相場の変動などにより、保有する資産の価値が減少することによって損失を被るリスクです。市場リスクの発生を予測し、適切に回避・軽減することは、金融機関の経営にとって非常に重要になっています。

「リスク管理委員会」および「ALM委員会」では、グループ全体の運用資産の市場リスク量を把握し、チェック・管理する態勢を取っています。

当行では、「有価証券運用・リスクテイクポリシー」にローリスク運用、中長期分散投資、市場流動性の重視等の基本方針を定め、ALMの調整、余資運用を目的として有価証券運用を行っています。また、相場観に過度に依存することや、短期的な収益確保を狙った投資行動はとらないことにしています。

具体的な有価証券運用方針は、経営陣を含めた「有価証券運用会議」で協議されています。また、市場リスク管理にあたっては、牽制機能を確保するため、市場取引部門(フロントオフィス)、市場リスク管理部門(ミドルオフィス)と後方事務部門(バックオフィス)を厳格に分離するとともに、「リスク管理委員会」等においてリスクリミット・アラームポイント・損失限度・運用上限等を設定し実効的なリスクコントロールを行っています。

流動性リスク管理

「流動性リスク」とは、予期せぬ資金の流出により、必要な資金確保が困難となったり、通常より著しく高い金利での資金調達を余儀なくされることにより損失を被る「資金繰りリスク」と、市場の混乱等により市場において取引ができなかったり、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされることで被る「市場流動性リスク」があります。

当行では、こうした「流動性リスク」を適切に管理するため、「流動性リスク管理規程」において、流動性リスク管理に関する方針、基本事項を定めています。

資金繰り管理部門は、日次・月次の資金繰り動向を把握し資金繰りリスクの抑制に努めており、流動性リスク管理部門は、資金繰りおよび流動性リスクに問題がないかをモニタリングしています。市場環境や当行の資金繰り状況が大きく変化した場合は直ちに経営陣に報告し、「リスク管理委員会」などにおいて必要な対策等について、速やかに意思決定を行う体制となっています。なお、当行は、換金性の高い流動性資産を十分に確保するための最低流動性準備量を制定し、日次でモニタリングしているほか、万が一流動性リスクが顕在化した場合に備えたマニュアル等も整備し、実効性を確保するために定期的な訓練を行っています。

オペレーショナル・リスク管理

「オペレーショナル・リスク」とは、業務の過程、役職員の活動もしくはシステムが不適切であること、または外生的な事象により損失が発生しうるリスクです。

当行グループでは、オペレーショナル・リスク管理に関する基本事項を定めた「オペレーショナル・リスク管理規程」を制定し、オペレーショナル・リスクを、その特性に応じて「事務リスク」「システムリスク」「法務リスク」「有形資産リスク」「人的リスク」に分けて管理しています。

また、オペレーショナル・リスク顕在化の未然防止および発生時の影響極小化を図るため、グループ各社がオペレーショナル・リスクの管理統括部署を設置し、各リスクの管理部署が専門的な立場からそれぞれのリスクを管理しています。顕在化したオペレーショナル・リスクの管理については、内部損失データの収集と分析を行い、潜在するオペレーショナル・リスクの管理については、そのリスクを特定し、評価し、管理・削減する手法として、RCSA(リスク・コントロール・セルフ・アセスメント)を取り入れ、その一連のプロセスを定期的実施しています。

オペレーショナル・リスクの概要

種 類	概 要
事務リスク	役職員の不正や過失等、または外部者の不正等に起因して、不適切な事務が行われることによりグループ会社が損失を被るリスク
システムリスク	コンピュータシステムのダウン・誤作動・障害等の発生、または不正利用によりグループ会社が損失を被るリスク
法務リスク	法令や契約等の違反、不適切な契約の締結等によりグループ会社が損失を被るリスク
有形資産リスク	自然災害や犯罪、不適切な資産管理等により、グループ各社が保有する有形資産が毀損し損失を被るリスク
人的リスク	労務慣行ならびに安全衛生環境の問題発生や、役職員の不法行為による使用者責任の追及等によりグループ会社が損失を被るリスク

BCP(緊急時業務継続計画)の整備について

地域金融機関には、万が一、災害等不測の事態が発生した場合でも、その影響を最小限に留め、業務を継続し、もしくは早期に業務を再開する責務があります。

当行グループでは、「危機管理規程」等を定め、グループ各社で協力し危機に対応できるよう態勢整備に努めています。

なお、当行の「業務継続計画」では、様々な事態に対応することを目指し、大規模災害の結果生じる被害(店舗損壊、システム障害等)を想定、特定した重要業務を継続していくために「緊急時対応要領」などのマニュアルを作成し、定期的に訓練を実施しています。

コーポレート・ガバナンス

当行は、任意の委員会の設置や社外取締役の増員など、より効果的なコーポレート・ガバナンス体制の確立に努めています。

基本的な考え方

当行は、北洋銀行グループの経営理念のもと、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を実現するため、株主・お取引先（お客さま）・職員・地域社会などの様々なステークホルダーと確固たる信頼関係を構築し、より実効的なコーポレートガバナンスを追求していくことを基本的な考え方としています。

この基本的な考え方に基づき、監査の独立性を確保する観点から、取締役会と監査役会が明確に分離されている監査役会設置会社を選択し、その枠組みの中で、独立社外役員が過半数を占める任意の「指名・報酬等経営諮問委員会」を設置するなど、より効果的なコーポレートガバナンス体制の確立に努めており、これを向上させていくために適時適切に見直しを行ってまいります。

1. 株主の権利・平等性の確保

- (1) 株主の権利・平等性が実質的に確保されるよう、少数株主や外国人株主など様々な株主の立場に十分配慮するとともに、株主総会における招集通知の早期発送や開催日の適切な設定など議決権行使の環境整備に努めてまいります。
- (2) 株主・投資家に平等に情報を提供するため、インフォメーション・ミーティングや個人投資家向け会社説明会の資料は、原則同日中に当行ホームページで開示します。

2. ステークホルダーとの適切な協働

- (1) 様々なステークホルダーの権利・立場や健全な事業活動倫理を尊重し、各ステークホルダーと適切に協働することにより、確固たる信頼関係の構築に努めてまいります。
- (2) 地域金融機関として、北海道経済の発展に寄与することを責務と考え、地方創生への積極的な取組みやお客さまのライフステージに応じたサービスの提供などにより、「地域密着型金融」を推進してまいります。
- (3) 全てのステークホルダーと地域社会・環境および当行グループのサステナビリティを重視し、「サステナビリティ方針」のもと、「ESG取組方針」を定めるとともに、「お客さまとの共通価値の創造」「環境保全」「医療福祉」「教育文化」「ダイバーシティ」の5項目を「SDGsに係る重点取組テーマ」として、様々な施策に取り組んでまいります。

3. 適切な情報開示と透明性の確保

- (1) 情報開示に関する基本的な考え方を「ディスクロージャー・ポリシー」として定め、法令に基づく開示を適時・適切に行うとともに、「開示委員会」において運用状況を検証してまいります。
- (2) 経営理念や中期経営計画をはじめとする非財務情報についても、当行ホームページへの掲載などにより、主体的に開示してまいります。

4. 取締役会等の責務

- (1) 取締役会・監査役会
 - a 取締役会は、株主に対する受託者責任を踏まえたうえで、経営戦略や経営計画をはじめとする重要な意思決定および経営陣・取締役に対する実効性の高い監督を行うことを主要な責務とします。
 - b 取締役会は、定款で定める14名以内の適正な員数とし、業務に精通した一定数の社内取締役と、専門的知見や経験等のバックグラウンドが異なる複数名の社外取締役にて構成します。
 - c 監査役会は、株主に対する受託者責任を踏まえたうえで、能動的・積極的にその権限を行使し、取締役の職務の執行に対する実効性の高い監督を行うことを主要な責務とします。
 - d 監査役には、財務・会計に関する適切な知見を有している者を1名以上選任します。
- (2) 独立社外取締役の有効な活用
 - a 独立社外取締役は、中長期的な企業価値向上の視点とステークホルダーの立場に立った助言および重要な意思決定を通じた経営の監督を行うことを主要な責務とします。
 - b 独立社外取締役は、「指名・報酬等経営諮問委員会」「ALM委員会」「経営戦略に関する意見交換会」等に参加し、取締役会以外においても、当行の重要な意思決定に係る議論に参画します。
- (3) 取締役・監査役候補者の選定
 - a 取締役会は、「取締役・監査役候補者の選定基準」を定め、これを開示します。
 - b 取締役会は、社外役員候補者の選定に係る「独立性判断基準」を定め、これを開示します。
 - c 取締役候補者の選定に際しては、当行の業績等の評価を適切に人事に反映させ、「コーポレート・ガバナンス報告書」（当行ホームページで開示）に記載の基準・手続に従い、独立社外役員が過半数を占める「指名・報酬等経営諮問委員会」の協議を経て、取締役会で決議することにより、透明性・公正性の確保に努めます。
- (4) 取締役・監査役報酬の決定
 - a 取締役会は、「各会社役員の報酬等の額の算定方法に係る決定に関する方針」を定め、これを開示します。
 - b 取締役の報酬の透明性・公正性を確保するため、独立社外役員が過半数を占める「指名・報酬等経営諮問委員会」を設置し、個別の支給額を決定します。
 - c 監査役報酬は監査役協議により決定します。

5. 株主との対話

当行の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を実現するためには、株主との建設的な対話が不可欠であるとの認識のもと、取締役会で定めた「株主・投資家の皆さまとの建設的な対話を促進するための方針」に基づき、その体制を整備するとともに、IR活動の充実に取り組んでまいります。

コーポレート・ガバナンス

会社の機関

2020年6月から社外取締役を1名増員しており、現在、役員構成は取締役11名(うち社外取締役4名)、監査役5名(うち社外監査役3名)となっています。経営環境の変化に迅速に対応し、機動的な経営体制を構築するとともに、職務執行の成果を毎年の株主総会で評価いただくことができるよう、取締役の任期を1年に短縮しています。また、当行グループ内の業務推進上の戦略・方針等の連絡・調整を図ることを目的に、グループ経営会議を設置しています。このほか、営業推進・業務運営等に関する重要な事項等を決議・協議することを目的に、社内取締役で構成する経営会議を設置しています。

社外役員

社外取締役

経営の透明性を高めるため、社外取締役4名を選任し、その社外取締役が社外監査役を含む監査役会と連携して取締役の業務執行をモニタリングする体制を構築しており、社外取締役によるモニタリングは十分に機能していると考えています。また、全員を独立役員として東京証券取引所および札幌証券取引所に届出しています。

	当行が期待する専門性			
	経営	金融	法律	財務会計
社外取締役 島本 和明氏	○			
社外取締役 西田 直樹氏		○		
社外取締役 谷口 雅子氏				○
社外取締役 佐々木 麻希子氏			○	

社外監査役

社外監査役3名を選任し、うち1名を常勤監査役としており、社外監査役による経営の監視機能は十分に機能していると考えています。また、全員を独立役員として東京証券取引所および札幌証券取引所に届出しています。

社外監査役(常勤) 窪田 毅氏 社外監査役 和田 健夫氏 社外監査役 石井 吉春氏

内部監査、監査役監査、会計監査

内部監査

当行は、被監査部門から独立した内部監査部門として、取締役会が直轄する監査部を設置し、取締役会で決定する監査方針・監査計画に基づき、本部、営業店、子会社の内部監査を実施しています。監査結果は、原則1ヶ月1回以上の頻度で開催される監査報告会に報告されるとともに、取締役会および監査役へ報告されています。

監査役監査

常勤監査役は、当行営業店や子会社への往査、重要書類の閲覧・調査等の業務監査を通じて内部管理態勢を検証するとともに、取締役会への出席等により取締役の職務執行の適法性と妥当性に関する監査を行っています。監査役(会)のサポート専任部署として監査役室を設置し、業務を検証できる能力と知識を有する専任スタッフを監査役室長として配置するとともに、監査役(会)から要請があった場合は監査役室に職員を配置することとしています。また、当該スタッフの異動・人事考課・賞与評価・懲戒等については、その独立性を確保するために常勤監査役の同意を必要としています。

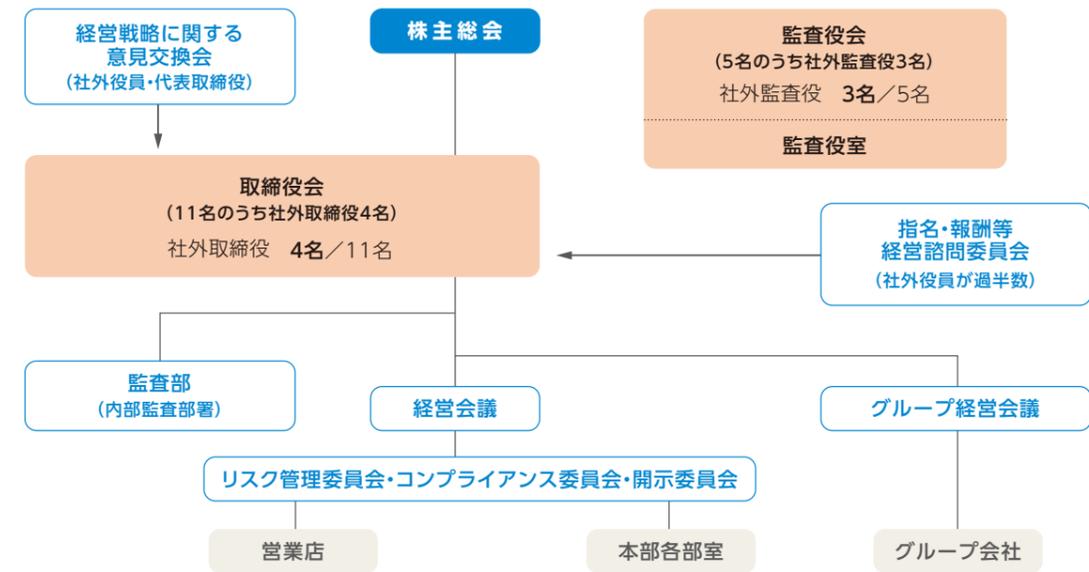
会計監査

当行の会計監査人は、有限責任 あずさ監査法人です。

相互連携

社外取締役が決算時期の監査役会に出席し、監査役監査に係る意見交換を行うなど、監査役と社外取締役は相互に連携しています。また、社外取締役と社外監査役は、取締役会において定期的に内部監査の結果について報告を受けています。監査役と内部監査部門は会計監査人と決算に関する意見交換会を実施し、社外取締役は別途会計監査人から説明を受けるなど、関係機関が適切に連携し、監督、監査の実効性向上を図っています。

コーポレート・ガバナンス体制概要図



内部統制システムの整備

内部統制基本方針

当行は、会社法および会社法施行規則に基づき、取締役会にて「内部統制基本方針」を決議し、当行の業務ならびに当行およびその子会社からなる企業集団の業務の適正を確保するための体制を整備しています。取締役会・監査役(会)による経営のモニタリングに関して、主要な監督対象であるリスク管理態勢(P53参照)やコンプライアンス態勢(P49参照)などを適切に構築しています。また、「職務権限規程」等により、職務・権限・意思決定ルールを明確化するとともに、「グループ運営規程」「子会社管理要領」でグループ内の経営上の意思決定・報告体制を明確に定め、当行および子会社の取締役の職務執行が効率的に行われる体制を構築しています。

財務報告に係る

内部統制の基本方針

当行は、有価証券報告書をはじめとする財務報告に関する信頼性の確保は、経営上の重要な要点であると考えています。そのため、当行では、金融商品取引法に基づく「内部統制報告制度」への対応として、取締役会において「財務報告に係る内部統制の基本方針」を決議し、「財務報告に係るグループ内部統制管理規程」を制定しています。

コーポレート・ガバナンス



社外取締役 島本 和明

北洋銀行がステークホルダーとの信頼関係を築いていくために、ガバナンス体制を構築・強化していくことが重要であることは言うまでもありません。経営の管理・監督、不正行為を未然に防ぎ、健康な企業経営を目指す企業自身による管理体制に、社外取締役の役割も位置づけられています。自分の立場で考えてみますと、取締役会やALM委員会において、自らの経験や知見に基づいて、経営や経営改善に関して監督・助言し、専門的立場からベンチャー企業や医療機関への対応について意見を述べてまいりました。

当行では社外取締役を4人(36%)とし、取締役会での監督を強化するとともに、指名・報酬等経営諮問委員会では過半数の社外役員のもとで社外取締役が委員長を務め、指名・報酬について透明性および公正性を高めています。さらに本年6月からは取締役会の議長も社外取締役が担うことになりました。監査役会・監査役室が強力な監査機能を発揮して十分なガバナンス体制が構築されており、また頭取の強いリーダーシップは新経営理念の設定とその普及という取り組みを通して、厳しい経営環境ではありますが当行の未来に明るい展望を示していると思います。

金融機関を取り巻く環境が大きく変わる中、当行グループは、北海道という広い地域における地域金融機関としての社会的な役割を踏まえつつ、中長期的な収益基盤を考え、PDCAで方向性を修正しながら、変わろうとしています。収益基盤の基本であるサービスの中身の優劣は、お客さまと直接対する職員の能力と気持ちに依拠しており、職員が自らの成長や働きがいを感じられるような職場環境をつくることも企業価値を高めることにつながると思います。

また、当行グループでは、ダイバーシティ推進室の設置、コース別人事、勤務地変更制度など働きやすい環境整備を行い、支店長・副支店長クラス以上の女性はこの5年間で25名増加し、近年女性の登用を進めています。社外取締役として、今後、支店長・副支店長クラス以上の女性比率とともに、特に本部での女性の登用状況を注視していきたいと思います。



社外取締役 谷口 雅子

社外取締役の一人として、これまでの専門分野の経験を活かして、取締役会などで提供される情報について、会計的視点で理解しつつ、株主さま、お客さまのほか職員の視点も勘案し、当行グループの持続的な成長に貢献してまいりたいと思います。

社外取締役メッセージ

External Director's Message

北洋銀行は、潜在的な成長力を有する北海道において“お客さま本位を徹底し、多様な課題の解決に取り組み、北海道の^{あす}明日をきりひろく”との経営理念を掲げ、その実現に向け、行員一人ひとりが“お客さまからの「ありがとう」を追求する”等の行動規範の実践に努めながら、中期経営計画に掲げられた施策に取り組んでいるところです。

特に今後、ポストコロナを見据えた金融仲介機能の発揮は、経営理念の実現や持続可能なビジネスモデルの構築に向けた試金石であると位置づけ、営業店と本部、子会社である北海道共創パートナーズが一体となって、官民連携も図りながら、お客さまの課題解決(生産性向上・経営改善・事業再生・事業承継等)に取り組むなど、地域密着型金融を着実に実践していくことが重要であると考えています。また、広大な北海道において、地域毎の特色や実情等を踏まえながら、地方公共団体における地方創生の取組みを積極的にサポートしていくことも期待しています。

私は長年にわたって地域金融行政に携わってまいりました。その経験や知見を活かして、取締役・執行役員一人ひとりがリーダーシップを適切に発揮して北洋銀行ならではの持続可能なビジネスモデルを構築できるよう、社外取締役の立場から伴走型で助言・提言を行ってまいりたいと考えています。



社外取締役 西田 直樹

私は20年以上にわたる弁護士生活の中で、金融機関関係法務のほか、企業、個人を含めた多様な分野、事案に接し経験してきました。この地に根ざした弁護士として、特定業種や分野のみに特化することなく幅広い業務に関わってきた経験を、多角的な視点と知見に基づく分析、意見等により当行のガバナンス、コンプライアンスに活かしたいと思っております。また私は札幌で生まれ育ち、北海道民としての歴史や想いを理解・共有するところは大きく、当行での業務を通じて少しでも地域社会に貢献できればとも思っております。

社外取締役は初めての経験ですが、地域を代表する当行の持続・発展に寄与し、さらには地域経済・国民生活の向上にも役立てるよう、精一杯務める所存です。



社外取締役 佐々木 麻希子

ステークホルダーとのコミュニケーション

北洋銀行では、様々なステークホルダーとの活発なコミュニケーションを通じて、より質の高い活動を推進し、企業価値の向上を目指しています。



お客さまとのコミュニケーション

「お客さまの声ポスト」を営業店に設置し、いただいたご意見やご要望をもとに、接客スキルの向上や店頭体制の見直しに努めています。あわせて、お客さまから感動していただける対応に向けて、全店で定期的に「CS委員会」を開催しているほか、外部調査機関による覆面調査の実施などにより、さらなるサービスの向上に取り組んでいます。

また、窓口に来店されたお客さまをはじめ、法人のお取引先や資産運用・ローンのお客さまなどに「アンケート」を実施し、その結果を全店で共有したうえで、お客さまへの対応や商品説明・ご提案などの品質を向上させることで、お客さま本位の業務運営を実践するための体制を構築しています。

株主・投資家とのコミュニケーション

株主・投資家の皆さまと長く揺るぎない信頼関係を築くため、適時・適切な情報開示に加え、会社説明会の積極的な開催などを行っています。コミュニケーションの機会をより拡充することで、当行への理解を深めていただき、常に適切な評価を獲得できるよう努めています。

機関投資家向け決算説明会

例年6月と12月に機関投資家向け決算説明会を開催しています。頭取より、直近の決算内容や経営戦略、配当方針などを説明するほか、投資家の皆さまからのご質問を受け付けています。説明会で使用した資料や質疑応答の内容はホームページで公表しています。また、機関投資家の皆さまのご要望に応じて、個別ミーティングも随時開催しています。なお2020年度は、コロナ禍を鑑み、電話会議等にて開催させていただきました。

主なIR活動

IR活動	2020年度	
	回数	場所
株主総会	1	札幌
機関投資家向け決算説明会	1	電話会議
機関投資家向け個別ミーティング	12	Web/電話会議
個人投資家向け会社説明会		見送り

個人投資家向け会社説明会

2019年7月に札幌、函館、帯広の各都市で個人投資家向け会社説明会を開催し、合計で237名の皆さまにご来場いただきました。2020年度はコロナ禍を鑑み開催を見送りとしましたが、2021年7月にはWeb会議形式で説明会を開催し、延べ183名の皆さまにご参加いただきました。



地域とのコミュニケーション

地域社会の一員として、地域のお祭りなどへの行事への参加、各種イベントへの協力など様々な取り組みを通じて地域の皆さまとの交流を図っています(→P37)。また、地域の医療福祉の充実や芸術文化振興などに貢献すべく積極的に取り組んでいます(→P41-46)。

職員とのコミュニケーション

役員が営業店等と意見交換を行うなど、職員との経営方針や経営課題の共有ならびに現場の忌憚のない意見の収集に努めています。

また、臨店チームによる人事部面談の機会拡充や、組織活性化調査の実施により職員の意見を人事施策に反映させているほか、タレントマネジメントシステムによる行内SNSを活用し職員間のコミュニケーションを図るなど、「働きがいのある職場づくり」への取組みを強化しています。

役員一覧 (2021年6月25日現在)



取締役頭取(代表取締役)
安田 光春

2014年6月 取締役経営企画部長
2016年6月 常務取締役
2018年4月 取締役頭取(現任)



取締役副頭取(代表取締役)
竹内 巖

2014年6月 常務執行役員
2016年6月 常務取締役
2019年6月 取締役副頭取(現任)



取締役副頭取(代表取締役)
長野 実

2016年6月 常務取締役本店営業部本店長
2017年6月 常務取締役
2019年6月 取締役副頭取(現任)



常務取締役
進藤 智

2017年4月 執行役員経営企画部長
2018年6月 取締役経営企画部長
2019年6月 常務取締役(現任)



常務取締役
日當 隆文

2017年4月 執行役員本店営業部副本店長
2019年6月 常務取締役本店営業部本店長
2021年6月 常務取締役(現任)



常務取締役
増田 仁志

2017年4月 執行役員苫小牧中央支店長
2019年4月 常務執行役員帯広中央支店長
2021年6月 常務取締役本店営業部本店長(現任)



取締役
阿部 勝義

2018年4月 常務執行役員釧路中央支店長
2020年4月 常務執行役員営業店サポート部長
2021年6月 取締役営業店サポート部長(現任)



取締役(社外)
島本 和明

2004年3月 札幌医科大学附属病院院長
2010年4月 札幌医科大学理事長・学長
2016年4月 学校法人日本医療大学総長(現任)
2016年6月 当行取締役(現任)



取締役(社外)
西田 直樹

2014年7月 金融庁総務企画局審議官
2018年7月 財務省北陸財務局長(2019年7月退任)
2020年6月 当行取締役(現任)



取締役(社外)
谷口 雅子

2013年7月 谷口雅子公認会計士事務所開設(現任)
2017年8月 監査法人銀河代表社員(現任)
2020年6月 当行取締役(現任)



取締役(社外)
佐々木 麻希子

2016年6月 札幌萌黄法律事務所開設(現任)
2018年4月 札幌市公務災害補償等審査会委員(現任)
2018年4月 地方公務員災害補償基金
札幌市支部審査会委員(現任)
2021年6月 当行取締役(現任)



常勤監査役
松下 克則

2014年6月 執行役員本店営業部副本店長
2016年6月 取締役
2018年6月 常勤監査役(現任)



常勤監査役
押野 均

2017年 4月 執行役員監査部長
2018年10月 常務執行役員監査部長
2021年 6月 常勤監査役(現任)



常勤監査役(社外)
窪田 毅

2015年6月 北海道庁総合政策部長
2017年4月 同 副知事(2019年5月退任)
2019年6月 当行常勤監査役(現任)



監査役(社外)
和田 健夫

2008年4月 小樽商科大学理事(副学長)
兼大学院商学研究科長
2014年4月 同 学長(2020年3月退官)
2020年6月 当行監査役(現任)



監査役(社外)
石井 吉春

2003年6月 株式会社日本政策投資銀行四国支店長
2015年4月 北海道大学公共政策大学院院長
2019年6月 株式会社苫東代表取締役会長(現任)
2020年6月 当行監査役(現任)

常務執行役員 **小林 良輔**
常務執行役員 **石川 裕也**
常務執行役員 **野際 斉**

常務執行役員 **細野 拓朗**
常務執行役員 **織田 亨**
常務執行役員 **山田 明**

常務執行役員 **松岡 宏治**
常務執行役員 **栗尾 史郎**
常務執行役員 **津山 博恒**

常務執行役員 **米田 和志**

執行役員 **石田 裕一**
執行役員 **岡部 好浩**

執行役員 **水本 健一**
執行役員 **宮原 正宏**

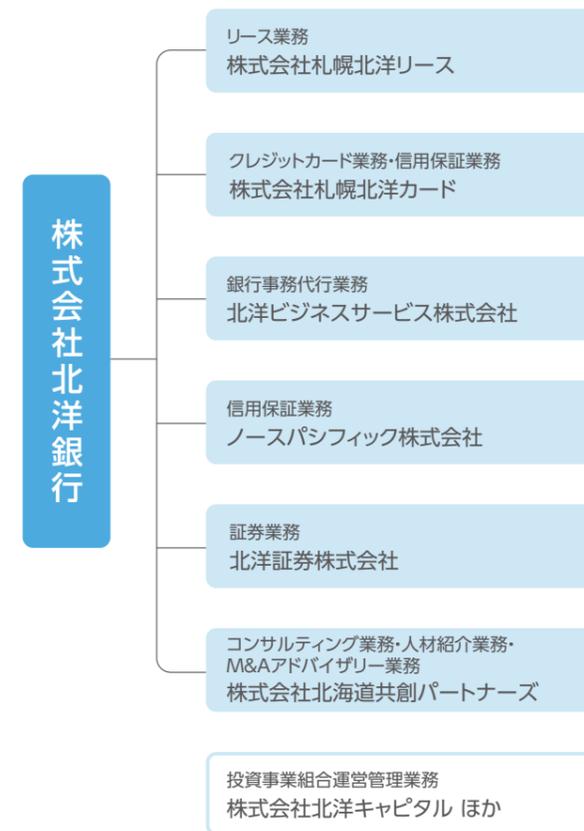
執行役員 **林 和則**
執行役員 **吉野 弘隆**

執行役員 **山吹 達也**

組織図 (2021年5月1日現在)



グループ会社



北洋銀行グループは、当行、連結子会社および投資事業組合等で構成され、銀行業務を中心にリース業務、クレジットカード業務および証券業務などの金融サービスに係る事業を行っています。子会社の重要な業務の決定等については、グループ運営規程および子会社管理要領に当行への報告が必要な事項を定め、経営上の報告体制を明確にしています。また、当行および子会社の役員が出席するグループ経営会議を定期的開催し、グループ内の業務推進上の戦略・方針等の連絡・調整を行うとともに、子会社の役員に経営上の重要事項の報告を義務づけています。さらに、当行は子会社に対する定期的な監査を通じ、業務運営および管理状況等について助言・指導を行っています。

連結子会社の概況

(2021年3月31日現在)

会社名	本社所在地	主要業務内容	設立年月日	資本金 (百万円)	当行議決権比率 (%)	グループ会社の議決権比率 (%)
株式会社札幌北洋リース	札幌市中央区大通西3丁目11番地	リース業務	1989年6月30日	50	100.00	—
株式会社札幌北洋カード	札幌市中央区大通西3丁目11番地	クレジットカード業務・信用保証業務	1983年4月1日	100	100.00	—
北洋ビジネスサービス株式会社	札幌市中央区南8条西8丁目523番地	銀行事務代行業務	1998年7月3日	60	100.00	—
ノースパシフィック株式会社	札幌市中央区南8条西8丁目523番地	信用保証業務	1988年6月28日	100	4.34	39.38
北洋証券株式会社	札幌市中央区北1条西3丁目3番地	証券業務	1938年2月11日	3,000	100.00	—
株式会社北海道共創パートナーズ	札幌市中央区大通西4丁目1番地	コンサルティング業務・人材紹介業務・M&Aアドバイザー業務	2017年9月27日	49	100.00	—

店舗等ネットワーク

店舗 171

(2021年6月30日現在)

札幌市中央区	<p>本店営業部 札幌市中央区大通西3丁目7番地 (011)261-1311</p> <p>札幌市役所支店 札幌市中央区北1条西2丁目1番地 (011)271-0127</p> <p>札幌南支店 札幌市中央区大通西4丁目1番地(仮店舗) (011)261-5131</p> <p>すすきの支店 札幌市中央区大通西4丁目1番地(札幌南支店内) (011)261-5131</p> <p>東屯田支店 札幌市中央区南8条西8丁目525番地 (011)511-4246</p> <p>道庁支店 札幌市中央区北3条西6丁目1番地 (011)221-3111</p> <p>札幌駅南口支店 札幌市中央区北4条西4丁目1番地 (011)241-3111</p>	<p>苗穂支店 札幌市中央区北2条東5丁目1番地 (011)207-4411</p> <p>札幌東支店 札幌市中央区北2条東5丁目1番地(苗穂支店内) (011)207-4411</p> <p>札幌西支店 札幌市中央区南1条西11丁目1番地302 (011)271-7111</p> <p>札幌西支店 札幌医大病院出張所 札幌市中央区南1条西16丁目291番地84 (011)643-6311</p> <p>円山公園支店 札幌市中央区南1条西24丁目1番1号 (011)631-5266</p> <p>旭ヶ丘支店 札幌市中央区南8条西24丁目1番18号 (011)513-9551</p> <p>宮の森支店 札幌市中央区北5条西27丁目1番7号 (011)641-3755</p>	<p>西線支店 札幌市中央区南15条西15丁目2番1号 (011)551-5611</p> <p>石山通支店 札幌市中央区南21条西11丁目1番3号 (011)561-3104</p> <p>桑園支店 札幌市中央区北10条西15丁目1番地6 (011)622-2270</p> <p>北五条通支店 札幌市中央区北4条西18丁目7番地2 (011)611-2251</p> <p>アルカ支店 (0120)608-599</p>	<p>店舗外ATM</p> <p>地下鉄大通駅 地下鉄大通駅西 丸井今井 ほくでん本店 サッポロファクトリーフロンティア館 アーバンネット札幌ビル 三越 地下鉄すすきの駅</p>	<p>すすきの出張所 さっぽろ地下街ポータルタウン 札幌医大附属病院2階 地下鉄西18丁目駅 地下鉄円山公園駅 東光ストア円山店 東光ストア西線6条店 東光ストア行啓通店</p>	<p>サッポロドラッグストア南11条店 プロム山鼻 ラルズマート啓明店 地下鉄豊線さっぽろ駅 さっぽろ東急百貨店北口 札幌エスタ店 JRタワー アピア</p>	<p>道庁別館 市立札幌病院 イオン札幌桑園店 JR桑園駅 溪仁会 西円山病院</p>
	<p>店舗外ATM</p> <p>JR札幌駅 札幌駅パセオ 札幌第一合同庁舎 北海道大学クラーク会館 北海道大学 北海道大学医学部附属病院</p>	<p>北海道大学教養部福利厚生会館 北海道大学創成科学研究棟 クレスト18 スーパーアークス北24条店 地下鉄北34条駅 地下鉄麻生駅</p>	<p>新琴似南 ラッキー新琴似四番通店 ビッグハウス新川店 コーチャンフォー新川通り店 スーパーアークスエクスプレス スーパーエース屯田店</p>	<p>イトーヨーカドー屯田店 ジョイフルエーケー屯田店 ホクレンショップフードファーム屯田3条店 サッポロドラッグストア屯田店 MEGADON・キホーテ篠路店 ビッグハウス太平店</p>	<p>北海道医療大学病院 北海道教育大学札幌校 コープさっぽろあいの里店 東光ストアあいの里店</p>		

札幌市北区	<p>北七条支店 札幌市北区北7条西4丁目5番地1伊藤110ビル (011)716-5176</p> <p>北二十四条支店 札幌市北区北23条西4丁目1番30号 (011)716-9191</p> <p>麻生支店 札幌市北区北38条西4丁目2番15号 (011)709-2511</p> <p>新川支店 札幌市北区北29条西15丁目2番1号 (011)756-6561</p>	<p>新川中央支店 札幌市北区新川13条7丁目1番5号 (011)762-7171</p> <p>新琴似支店 札幌市北区新琴似8条6丁目5番7号 (011)761-5315</p> <p>屯田支店 札幌市北区屯田7条4丁目7番33号(屯田北支店内) (011)772-5181</p> <p>篠路店支店 札幌市北区篠路3条4丁目1番40号 (011)771-2131</p>	<p>あいの里支店 札幌市北区あいの里1条5丁目2番25号 (011)778-8425</p> <p>屯田北支店 札幌市北区屯田7条4丁目7番33号 (011)772-5181</p>	<p>店舗外ATM</p> <p>JR札幌駅 札幌駅パセオ 札幌第一合同庁舎 北海道大学クラーク会館 北海道大学 北海道大学医学部附属病院</p>	<p>北海道大学創成科学研究棟 クレスト18 スーパーアークス北24条店 地下鉄北34条駅 地下鉄麻生駅</p>	<p>新琴似南 ラッキー新琴似四番通店 ビッグハウス新川店 コーチャンフォー新川通り店 スーパーアークスエクスプレス スーパーエース屯田店</p>	<p>イトーヨーカドー屯田店 ジョイフルエーケー屯田店 ホクレンショップフードファーム屯田3条店 サッポロドラッグストア屯田店 MEGADON・キホーテ篠路店 ビッグハウス太平店</p>	<p>北海道医療大学病院 北海道教育大学札幌校 コープさっぽろあいの里店 東光ストアあいの里店</p>
	<p>店舗外ATM</p> <p>JR札幌駅 札幌駅パセオ 札幌第一合同庁舎 北海道大学クラーク会館 北海道大学 北海道大学医学部附属病院</p>	<p>北海道大学創成科学研究棟 クレスト18 スーパーアークス北24条店 地下鉄北34条駅 地下鉄麻生駅</p>	<p>新琴似南 ラッキー新琴似四番通店 ビッグハウス新川店 コーチャンフォー新川通り店 スーパーアークスエクスプレス スーパーエース屯田店</p>	<p>イトーヨーカドー屯田店 ジョイフルエーケー屯田店 ホクレンショップフードファーム屯田3条店 サッポロドラッグストア屯田店 MEGADON・キホーテ篠路店 ビッグハウス太平店</p>	<p>北海道医療大学病院 北海道教育大学札幌校 コープさっぽろあいの里店 東光ストアあいの里店</p>			

札幌市東区	<p>光星支店 札幌市東区北10条東7丁目1番10号 (011)711-7131</p> <p>北十五条支店 札幌市東区北15条東15丁目4番10号 (011)751-0555</p> <p>元町支店 札幌市東区北23条東15丁目4番6号 (011)721-1818</p>	<p>栄町支店 札幌市東区北41条東15丁目2番7号 (011)753-4311</p> <p>東苗穂支店 札幌市東区北5条東10丁目16番3号 (011)712-0211</p> <p>伏古支店 札幌市東区伏古7条3丁目5番1号 (011)782-6981</p>	<p>札幌支店 札幌市東区東苗穂7条2丁目2番25号 (011)786-5671</p>	<p>店舗外ATM</p> <p>札幌総合卸センター ジェイ・アール生鮮市場北10条店 天使病院 マックスバリュ光星店 スーパーアークス光星店</p>	<p>スーパーエース美香保店 スーパーアークス苗穂店 アリオ札幌店 マックスバリュ元町店 西友元町北二十四条店</p>	<p>イオン札幌元町店 ザ・ビッグ東雁来店 マックスバリュ北26条店 東光ストア北栄店 ファミリーショップハッピー30条店</p>	<p>マックスバリュエクスプレス新道店 サッポロドラッグストア麻生北40条店 イオンモール札幌苗穂 勤医協中央病院 伏古北</p>	<p>メガセンターライアル伏古店</p>
	<p>店舗外ATM</p> <p>札幌総合卸センター ジェイ・アール生鮮市場北10条店 天使病院 マックスバリュ光星店 スーパーアークス光星店</p>	<p>スーパーエース美香保店 スーパーアークス苗穂店 アリオ札幌店 マックスバリュ元町店 西友元町北二十四条店</p>	<p>イオン札幌元町店 ザ・ビッグ東雁来店 マックスバリュ北26条店 東光ストア北栄店 ファミリーショップハッピー30条店</p>	<p>マックスバリュエクスプレス新道店 サッポロドラッグストア麻生北40条店 イオンモール札幌苗穂 勤医協中央病院 伏古北</p>	<p>メガセンターライアル伏古店</p>			

札幌市白石区	<p>白石中央支店 札幌市白石区本通4丁目南2番8号 (011)861-8231</p> <p>白石本郷支店 札幌市白石区本通4丁目南2番8号(白石中央支店内) (011)861-8231</p> <p>南郷通支店 札幌市白石区東札幌2条6丁目5番1号 (011)863-1611</p>	<p>北郷支店 札幌市白石区北郷3条4丁目1番1号 (011)874-5231</p> <p>北都支店 札幌市白石区川下3条4丁目1番1号 (011)872-3151</p> <p>菊水支店 札幌市白石区菊水3条2丁目4番17号 (011)841-9551</p>	<p>菊水上町支店 札幌市白石区本通4丁目南2番8号(白石中央支店内) (011)861-8231</p>	<p>店舗外ATM</p> <p>地下鉄菊水駅前 スーパーアークス菊水店 勤医協札幌病院 北海道がんセンター</p>	<p>ラッキー菊水元町店 菊水元町 イオン東札幌店 ラソラ札幌</p>	<p>JR白石駅 白石バスターミナル 地下鉄白石駅 マックスバリュ北郷店</p>	<p>ビッグハウス白石店 ラルズマート新ほくと店 地下鉄南郷7丁目駅前 南郷13丁目</p>	<p>コープさっぽろルーシー</p>
	<p>店舗外ATM</p> <p>地下鉄菊水駅前 スーパーアークス菊水店 勤医協札幌病院 北海道がんセンター</p>	<p>ラッキー菊水元町店 菊水元町 イオン東札幌店 ラソラ札幌</p>	<p>JR白石駅 白石バスターミナル 地下鉄白石駅 マックスバリュ北郷店</p>	<p>ビッグハウス白石店 ラルズマート新ほくと店 地下鉄南郷7丁目駅前 南郷13丁目</p>	<p>コープさっぽろルーシー</p>			

札幌市厚別区	<p>厚別中央支店 札幌市厚別区厚別中央2条5丁目7番4号 (011)891-2666</p> <p>大谷地支店 札幌市厚別区大谷地東3丁目2番2号 (011)891-5111</p> <p>東月寒支店 札幌市厚別区大谷地東3丁目2番2号(大谷地支店内) (011)891-5111</p>	<p>北野支店 札幌市厚別区大谷地東3丁目2番2号(大谷地支店内) (011)891-5111</p> <p>もみじ台支店 札幌市厚別区厚別中央2条5丁目7番4号(厚別中央支店内) (011)891-2666</p> <p>平岡公園支店 札幌市厚別区上野幌3条4丁目19番26号 (011)895-7911</p>	<p>森林公園支店 札幌市厚別区厚別中央2条5丁目7番4号(厚別中央支店内) (011)891-2666</p>	<p>店舗外ATM</p> <p>スーパーアークスイースト 地下鉄新さっぽろ駅 新さっぽろアークシティデュオ</p>	<p>新さっぽろアークシティデュオ1 JCHO札幌北辰病院 もみじ台ショッピングセンター</p>	<p>マックスバリュ厚別東店 スーパーセンターライアル厚別店 西友厚別店</p>	<p>札幌フードセンター森林公園店 マックスバリュ厚別店 CAPO(キャポ)大谷地</p>	<p>北星学園大学</p>
	<p>店舗外ATM</p> <p>地下鉄学園前駅 ザ・ビッグ豊平店 東光ストア豊平店 豊平公園 コープさっぽろ美園店</p>	<p>ラルズマート美園店 月寒中央通6丁目 地下鉄月寒中央駅 スーパーアークス月寒東店 ドコモショップ南平岸店</p>	<p>コープさっぽろ月寒ひがし店 西友福住店 福住バスターミナル KKR札幌医療センター ビッグハウスエクストラ</p>	<p>マックスバリュ平岸店 北海道整形外科記念病院 中の島 JCHO北海道病院 ザ・ビッグ西岡店</p>	<p>イオン札幌西岡ショッピングセンター 札幌大学</p>			

札幌市豊平区	<p>豊平支店 札幌市豊平区豊平4条6丁目1番20号 (011)811-8151</p> <p>月寒中央支店 札幌市豊平区月寒中央通9丁目3番1号 (011)851-5206</p>	<p>福住支店 札幌市豊平区月寒東1条15丁目1番20号 (011)856-2425</p> <p>平岸中央支店 札幌市豊平区平岸3条8丁目1番33号 (011)822-6131</p>	<p>澄川中央支店 西岡出張所 札幌市豊平区西岡3条11丁目3番10号 (011)582-0111</p>	<p>店舗外ATM</p> <p>地下鉄学園前駅 ザ・ビッグ豊平店 東光ストア豊平店 豊平公園 コープさっぽろ美園店</p>	<p>ラルズマート美園店 月寒中央通6丁目 地下鉄月寒中央駅 スーパーアークス月寒東店 ドコモショップ南平岸店</p>	<p>コープさっぽろ月寒ひがし店 西友福住店 福住バスターミナル KKR札幌医療センター ビッグハウスエクストラ</p>	<p>マックスバリュ平岸店 北海道整形外科記念病院 中の島 JCHO北海道病院 ザ・ビッグ西岡店</p>	<p>イオン札幌西岡ショッピングセンター 札幌大学</p>
	<p>店舗外ATM</p> <p>地下鉄学園前駅 ザ・ビッグ豊平店 東光ストア豊平店 豊平公園 コープさっぽろ美園店</p>	<p>ラルズマート美園店 月寒中央通6丁目 地下鉄月寒中央駅 スーパーアークス月寒東店 ドコモショップ南平岸店</p>	<p>コープさっぽろ月寒ひがし店 西友福住店 福住バスターミナル KKR札幌医療センター ビッグハウスエクストラ</p>	<p>マックスバリュ平岸店 北海道整形外科記念病院 中の島 JCHO北海道病院 ザ・ビッグ西岡店</p>	<p>イオン札幌西岡ショッピングセンター 札幌大学</p>			

札幌市清田区	<p>清田区役所前支店 札幌市清田区平岡1条1丁目1番2号 (011)883-2121</p>	<p>店舗外ATM</p> <p>東光ストア真栄店 フードD平岡食彩館</p>	<p>イオンモール札幌平岡 東光ストア平岡店</p>	<p>ラッキー清田店 札幌国際大学</p>	<p>コープさっぽろ平岡店 ホクレンショップフードファーム平岡公園邊店</p>	<p>スーパーアークス北野店 北野出張所</p>
	<p>店舗外ATM</p> <p>JR札幌駅 札幌駅パセオ 札幌第一合同庁舎 北海道大学クラーク会館 北海道大学 北海道大学医学部附属病院</p>	<p>北海道大学創成科学研究棟 クレスト18 スーパーアークス北24条店 地下鉄北34条駅 地下鉄麻生駅</p>	<p>新琴似南 ラッキー新琴似四番通店 ビッグハウス新川店 コーチャンフォー新川通り店 スーパーアークスエクスプレス スーパーエース屯田店</p>	<p>イトーヨーカドー屯田店 ジョイフルエーケー屯田店 ホクレンショップフードファーム屯田3条店 サッポロドラッグストア屯田店 MEGADON・キホーテ篠路店 ビッグハウス太平店</p>	<p>北海道医療大学病院 北海道教育大学札幌校 コープさっぽろあいの里店 東光ストアあいの里店</p>	

札幌市南区	<p>澄川中央支店 札幌市南区澄川4条3丁目1番1号 (011)812-5656</p> <p>真駒内中央支店 札幌市南区真駒内幸町2丁目1番12号 (011)581-1145</p>	<p>藻岩支店 札幌市南区川沿2条2丁目1番1号 (011)571-7111</p> <p>藻岩支店 藤野出張所 札幌市南区藤野3条6丁目7番20号 (011)592-4311</p>	<p>店舗外ATM</p> <p>東光ストア自衛隊駅前店 マックスバリュ澄川店 コープさっぽろ西岡店</p>	<p>ラルズマート真駒内上町店 イオン札幌藻岩店 コープさっぽろソシア</p>	<p>ザ・ビッグ石山店 ラッキー川沿店 ビッグハウスサウス</p>	<p>東光ストア藤野店 常盤 レックス</p>	<p>北海道東海大学 石山 愛全病院</p>
	<p>店舗外ATM</p> <p>JR札幌駅 札幌駅パセオ 札幌第一合同庁舎 北海道大学クラーク会館 北海道大学 北海道大学医学部附属病院</p>	<p>北海道大学創成科学研究棟 クレスト18 スーパーアークス北24条店 地下鉄北34条駅 地下鉄麻生駅</p>	<p>新琴似南 ラッキー新琴似四番通店 ビッグハウス新川店 コーチャンフォー新川通り店 スーパーアークスエクスプレス スーパーエース屯田店</p>	<p>イトーヨーカドー屯田店 ジョイフルエーケー屯田店 ホクレンショップフードファーム屯田3条店 サッポロドラッグストア屯田店 MEGADON・キホーテ篠路店 ビッグハウス太平店</p>	<p>北海道医療大学病院 北海道教育大学札幌校 コープさっぽろあいの里店 東光ストアあいの里店</p>		

札幌市西区	<p>琴似中央支店 札幌市西区琴似2条5丁目1番1号 (011)631-5126</p> <p>琴似中央支店 山の手出張所 札幌市西区琴似2条5丁目1番1号(琴似中央支店内) (011)631-5126</p> <p>西町支店 札幌市西区西町南8丁目2番37号 (011)661-0151</p>	<p>西野二股支店 札幌市西区西町南8丁目2番37号(西町支店内) (011)661-0151</p> <p>八軒支店 札幌市西区八軒5条西1丁目1番60号 (011)641-9111</p> <p>発寒支店 札幌市西区発寒13条3丁目4番13号 (011)663-6611</p>	<p>宮の沢支店 札幌市西区発寒6条10丁目1番27号 (011)663-3033</p>	<p>店舗外ATM</p> <p>地下鉄琴似駅 イトーヨーカドー琴似店 5588琴似店 ラッキー山の手店</p>	<p>マックスバリュ八軒5条店 ダイイチ八軒店 二十四軒 ビッグハウスウエスト</p>	<p>西友西町店 マックスバリュ エクスプレス発寒南駅前店 西町北 コープさっぽろにしの店</p>	<p>西野出張所 ラッキー発寒店 イオンモール札幌発寒 宮の沢ターミナル</p>	<p>北海道大野記念病院</p>
	<p>店舗外ATM</p> <p>JR札幌駅 札幌駅パセオ 札幌第一合同庁舎 北海道大学クラーク会館 北海道大学 北海道大学医学部附属病院</p>	<p>北海道大学創成科学研究棟 クレスト18 スーパーアークス北24条店 地下鉄北34条駅 地下鉄麻生駅</p>	<p>新琴似南 ラッキー新琴似四番通店 ビッグハウス新川店 コーチャンフォー新川通り店 スーパーアークスエクスプレス スーパーエース屯田店</p>	<p>イトーヨーカドー屯田店 ジョイフルエーケー屯田店 ホクレンショップフードファーム屯田3条店 サッポロドラッグストア屯田店 MEGADON・キホーテ篠路店 ビッグハウス太平店</p>	<p>北海道医療大学病院 北海道教育大学札幌校 コープさっぽろあいの里店 東光ストアあいの里店</p>			

札幌市手稲区	<p>手稲中央支店 札幌市手稲区前田1条11丁目1番20号 (011)683-6511</p> <p>星置支店 札幌市手稲区星置1条3丁目2番1号 (011)685-7115</p>	<p>新発寒支店 札幌市手稲区新発寒5条3丁目1番17号 (011)694-3535</p> <p>新発寒支店 札幌市手稲区前田1条11丁目1番20号(手稲中央支店内) (011)683-6511</p>	<p>手稲あけぼの支店 札幌市手稲区前田1条11丁目1番20号(手稲中央支店内) (011)683-6511</p>	<p>店舗外ATM</p> <p>西友手稲店 手稲溪仁会病院 スーパーセンターライアル手稲店 北海道科学大学</p>	<p>ザ・ビッグエクスプレス前田店 手稲曙通 JR手稲駅 ラッキー星置駅前店</p>	<p>コープさっぽろ星置店 スーパーアークス星置店 イオンスーパーセンター手稲山口店 スーパーアークス宮の沢店</p>	<p>コープさっぽろ西宮の沢店 ホクレンショップ新発寒店 コープさっぽろ新はっさむ店 マックスバリュ新発寒店</p>
	<p>店舗外ATM</p> <p>地下鉄菊水駅前 スーパーアークス菊水店 勤医協札幌病院 北海道がんセンター</p>	<p>ラッキー菊水元町店 菊水元町 イオン東札幌店 ラソラ札幌</p>	<p>JR白石駅 白石バスターミナル 地下鉄白石駅 マックスバリュ北郷店</p>	<p>ビッグハウス白石店 ラルズマート新ほくと店 地下鉄南郷7丁目駅前 南郷13丁目</p>	<p>コープさっぽろルーシー</p>		

石狩地区	<p>恵庭中央支店 恵庭市瀬町17番地 (0123)33-3111</p> <p>恵庭中央支店 恵み野出張所 恵庭市恵み野西2丁目2番地 (0123)36-2111</p>	<p>江別中央支店 江別市5条6丁目9番地 (011)382-3311</p> <p>野幌中央支店 江別市野幌町47番地14 (011)384-7111</p>	<p>野幌中央支店 大麻出張所 江別市大麻中町26番地10 (011)387-0511</p> <p>当別支店 石狩郡当別町園生55番地23 (0133)23-2615</p>
	<p>店舗外ATM</p> <p>地下鉄菊水駅前 スーパーアークス菊水店 勤医協札幌病院 北海道がんセンター</p>	<p>ラッキー菊水元町店 菊水元町 イオン東札幌店 ラソラ札幌</p>	<p>JR白石駅 白石バスターミナル 地下鉄白石駅 マックスバリュ北郷店</p>

石狩地区	花川北支店 石狩市花川北3条3丁目12番地 (0133) 74-3131	西の里支店 北広島市栄町1丁目1番地4 (北広島中央支店内) (011) 372-3116	千歳中央支店 千歳空港出張所 千歳市美々(新千歳空港国内線ターミナルビル2階南側) (0123) 46-2000		
	花川南支店 石狩市花川北3条3丁目12番地(花川北支店内) (0133) 74-3131	大曲支店 北広島市大曲南ヶ丘1丁目3番地3 (011) 377-3201	祝梅支店 千歳市梅ヶ丘1丁目8番10号 (0123) 24-1115	千歳富丘支店 千歳市千代田町3丁目11番地(千歳中央支店内) (0123) 23-3111	
	北広島中央支店 北広島市栄町1丁目1番地4 (011) 372-3116	千歳中央支店 千歳市千代田町3丁目11番地 (0123) 23-3111			
	店舗外ATM				
	恵み野病院 コープさっぽろ恵み野店 マックスバリュ恵庭店 JR恵庭駅 恵庭市役所 ラルズマート島松店 イオンタウン江別ショッピングセンター イオン江別店 江別市役所	マルシェ上江別ショッピングセンター ホクレンショップゆめみ野店 コープさっぽろえべつ店 札幌学院大学 北翔大学 酪農学園 ビッグハウス野幌店 ディスカウトストアリアル江別大塚店 北海道医療大学	ビッグハウス大塚店 フードD LISTA 北広島市役所本庁舎 コープさっぽろエルフィン店 セイコーマート北広島白樺店 広島 西の里出張所 スーパーアークス大曲店 コープさっぽろいしかり店	石狩市役所 パストラル花川ショッピングセンター 花川病院前 イオンスーパーセンター石狩緑苑台店 イオン千歳店 ラッキー千歳店 千歳市役所 コープさっぽろ向陽台店 ホクレンショップ東郊店	ビッグハウス千歳店 信濃 千歳北陽 JR千歳駅 ちとせモール 新千歳空港ターミナルビル2階北 新千歳空港国際線ターミナルビル

空知地区	岩見沢中央支店 岩見沢市4条西6丁目12番地1 (0126) 22-1050	美唄支店 美唄市大通西1条南2丁目1番7号 (0126) 63-2181	砂川支店 砂川市東1条北2丁目1番10号 (0125) 54-2191		
	栗山支店 夕張郡栗山町中央3丁目4番地 (0123) 72-1420	滝川支店 滝川市大町1丁目1番1号 (0125) 32-2181	赤平支店 赤平市本町1丁目2番地 (0125) 32-3111	芦別支店 芦別市北1条東1丁目6番地7 (0124) 22-3111	
	夕張支店 夕張市本町4丁目2番地 (0123) 52-3111	深川支店 深川市3条8番14号 (0164) 22-1511			
	店舗外ATM				
	岩見沢ポルタ JR岩見沢駅 空知総合振興局 コープさっぽろ岩見沢南店	北海道教育大学岩見沢校 コープさっぽろ岩見沢東店 イオン岩見沢店 ビッグハウス岩見沢店	イオンスーパーセンター三笠店 砂川市立病院 砂川市役所 深川市役所	深川市立病院 赤平市役所 芦別市役所	

小樽市	小樽中央支店 小樽市稲穂2丁目2番4号 (0134) 22-7111	手宮支店 小樽市稲穂2丁目2番4号(小樽中央支店内) (0134) 22-7111			
	小樽駅前支店 小樽市稲穂3丁目9番1号 (0134) 22-8195	奥沢口支店 小樽市若松2丁目7番13号 (0134) 23-9121			
	店舗外ATM				
	小樽市役所 小樽花園 小樽商科大学	小樽駅前第2ビル(長崎屋小樽店) 小樽市立病院 マックスバリュ手宮店	ホクレンショップフードファーム朝里店 コープさっぽろ小樽南店 イオン小樽店	ラルズマート桂岡店 小樽オルゴール堂本館	

後志地区	岩内中央支店 岩内郡岩内町字万代6番地 (0135) 62-1711	倶知安支店 虻田郡倶知安町北1条西1丁目18番地 (0136) 22-0181	余市支店 余市郡余市町黒川町4丁目112番地 (0135) 23-2194		
	店舗外ATM				
	イオン余市店	後志総合振興局	コープさっぽろ倶知安店	ラッキー倶知安店	

函館市	函館中央支店 函館市若松町15番7-11号 (0138) 23-8511	五稜郭公園支店 函館市本町7番16号 (0138) 51-2101	日吉支店 函館市湯川町2丁目25番26号(湯川支店内) (0138) 57-8171		
	末広町支店 函館市若松町15番7-11号(函館中央支店内) (0138) 23-8511	湯川支店 函館市湯川町2丁目25番26号 (0138) 57-8171	桔梗支店 函館市桔梗3丁目41番5号 (0138) 47-5755		
	万代町支店 函館市本町7番16号(五稜郭公園支店内) (0138) 51-2101	美原支店 函館市美原1丁目12番5号 (0138) 43-6611			
	店舗外ATM				
	函館市役所 スーパーアークス港町店 市立函館病院 北海道教育大学函館校	函館中央病院 函館五稜郭病院 イトーヨーカドー函館店 渡島合同庁舎	スーパーアークス大塚店 コープさっぽろひとみ店 函館昭和タウンプラザ 東山	ビッグハウスアドマーニ コープさっぽろいしかわ店 コープさっぽろ湯川店 スーパーアークス戸倉店	アクロス十字街出張所 コープさっぽろ旭岡店 函館空港

渡島地区	七重浜支店 北斗市七重浜8丁目4番25号 (0138) 48-2511	長万部支店 北越郡長万部町字長万部64番地4 (01377) 2-3112	八雲支店 二海郡八雲町本町251番地1 (0137) 62-2145		
	松前支店 松前郡松前町字松城2番地 (0139) 42-2611	森支店 茅部郡森町字本町131番地 (01374) 2-2325			
	店舗外ATM				
	新函館北斗駅	スーパーアークス七飯店	イオン上磯店	スーパーセンタートライアル上磯店	久根別

檜山地区	江差支店 檜山郡江差町字中歌町62番1 (0139) 52-0123				
	店舗外ATM				
	江差町役場	檜山振興局			

苫小牧市	苫小牧中央支店 苫小牧市表町2丁目1番1号 (0144) 33-7171	苫小牧北支店 苫小牧市表町2丁目1番1号(苫小牧中央支店内) (0144) 33-7171			
	糸井支店 苫小牧市川沿町6丁目21番16号 (0144) 74-8111	沼ノ端支店 苫小牧市拓勇東町4丁目3番15号 (0144) 57-7321			
	店舗外ATM				
	ビッグハウス苫小牧明徳店 マックスバリュ澄川町店 マックスバリュ新花園店	苫小牧市役所 同樹会苫小牧病院 新生台ファミリープラザ	MEGAドン・キホーテ苫小牧店 コープさっぽろパセオ川沿店 イオンモール苫小牧	ビッグハウス明野店 ホクレンショップ沼ノ端店 フードD沼ノ端食彩館	

胆振地区	室蘭中央支店 室蘭市海岸町1丁目4番1号 (0143) 23-0123	登別支店 登別市新生町2丁目23番地12 (0143) 86-0700			
	中島町支店 室蘭市中島町1丁目22番6号 (0143) 44-4745	伊達支店 伊達市鹿島町7番地1 (0142) 23-3224			
	店舗外ATM				
	市立室蘭総合病院 日鋼記念病院 輪西中核施設	日本製鉄株式会社 室蘭製鉄所 モル工中島 イオン室蘭店	室工大生協 大川原脳神経外科病院 コープさっぽろしがイースト店	イオン登別店 イオン伊達店	

日高地区	静内支店 日高郡新ひだか町静内御幸町1丁目1番1号 (0146) 42-1001	浦河支店 浦河郡浦河町大通4丁目1番地1 (0146) 22-2441			
	店舗外ATM				
	日高徳洲会病院	日高振興局	イオン静内店	パセオ堺町店	

旭川市	旭川中央支店 旭川市4条通9丁目1703番地 (0166) 26-2111	大雪通支店 旭川市4条通9丁目1703番地(旭川中央支店内) (0166) 26-2111		豊岡支店 旭川市豊岡3条2丁目2番19号 (0166) 33-3110	
	春光支店 旭川市末広1条2丁目1番23号 (0166) 51-3151	永山中央支店 旭川市永山3条4丁目3番6号 (0166) 48-7211		神楽支店(2021.7.19移転) 旭川市4条通9丁目1703番地(旭川中央支店内) (0166) 26-2111	
	旭川北支店 旭川市末広1条2丁目1番23号(春光支店内) (0166) 51-3151	永山北支店 旭川市永山3条4丁目3番6号(永山中央支店内) (0166) 48-7211			
	店舗外ATM				
	旭川市役所 旭川市役所第二庁舎 コープチャンフォー旭川店 コープさっぽろツインハーブ店 旭川市水道局 市立旭川病院	ウエスタン川端店 北海道教育大学旭川校 ダイイチ旭町店 イオン旭川春光店 ダイイチ花咲店 イオンモール旭川駅前	コープさっぽろ春光店 イオンモール旭川西 旭川赤十字病院 コープさっぽろ忠和店 神楽5条 スーパーアークス西神楽店	旭川医大附属病院 スーパーアークスウエスタン北彩都店 コープさっぽろ東光店 ウエスタンパワーズ イオン旭川永山店 ベストプライス永山中央店	コープさっぽろシーナ店 上川合同庁舎

上川地区	名寄支店 名寄市西3条南8丁目1番地1 (01654) 2-4141	美深支店 中川郡美深町字大通北2丁目7番地 (01656) 2-1721		当麻支店 上川郡当麻町3条東3丁目10番20号 (0166) 84-2211	
	士別支店 士別市大通東10丁目2093番地 (0165) 23-2181	富良野支店 富良野市日の出町4番16号 (0167) 23-2171			
	店舗外ATM				
	西條百貨店名寄店 イオン名寄店	富良野市役所 フランマルシェ	当麻町役場 ベストム東神楽店	旭川空港	

留萌地区	留萌支店 留萌市本町3丁目38番地 (0164) 42-2421	増毛支店 増毛郡増毛町島中町3丁目92番地1 (0164) 53-1054			
	店舗外ATM				
	留萌振興局	留萌市役所			

宗谷地区	稚内支店 稚内市中央2丁目13番15号 (0162) 23-3710	浜頓別支店 枝幸郡浜頓別町大通2丁目17番 (01634) 2-2224			
	店舗外ATM				
	西條稚内店	宗谷総合振興局	シティわっかない	枝幸町役場	

帯広市	帯広中央支店 帯広市西2条南12丁目1 (0155)24-5181	柏林台支店 帯広市柏林台南町3丁目3番地1 (0155)33-0155	帯広西支店 帯広市西2条南12丁目1(帯広中央支店内) (0155)24-5181	店舗外ATM
	ふじまるビル イオン帯広店	帯広市役所 ダイイチ啓北店	いっきゅう びあざフクハラ西帯広店	十勝合同庁舎 イトーヨーカドー帯広店

十勝地区	池田支店 中川郡池田町字大通1丁目29番地1 (015)572-3121	本別支店 中川郡本別町北3丁目2番地23 (0156)22-2111	木野支店 河東郡音更町木野大通東7丁目1番15 (0155)31-1651	店舗外ATM
	幕別支店 中川郡幕別町本町97番地 (0155)54-2121	清水支店 上川郡清水町本通3丁目19番地1 (0156)62-2181		ダイイチみなみ野店 帯広空港

釧路市	釧路中央支店 釧路市北大通6丁目2番地 (0154)23-5111	新橋大通支店 釧路市新橋大通6丁目2番18号 (0154)24-4121	鳥取支店 釧路市北大通6丁目2番地(釧路中央支店内) (0154)23-5111	店舗外ATM
	釧路市役所 釧路総合振興局 釧路赤十字病院	ザ・ビッグ文苑店 イオンモール釧路昭和 びあざフクハラ星が浦店	北海道教育大学釧路校 ザ・ビッグ春採店 コープさっぽろ中央店	コープさっぽろ桜ヶ岡店 コープさっぽろ貝塚店 ビッグハウス旭町店

釧路地区	弟子屈支店 川上郡弟子屈町高米1丁目4番12号 (015)482-2107	厚岸支店 厚岸郡厚岸町真栄2丁目127番地 (0153)52-3181	標茶支店 川上郡標茶町旭2丁目1番3号 (015)485-2121	店舗外ATM
	イオン釧路店			

根室地区	根室支店 根室市本町3丁目13番地 (0153)23-5131	中標津支店 標津郡中標津町東4条南1丁目1番地5 (0153)72-3271	店舗外ATM
	根室振興局		

網走地区	北見中央支店 北見市北2条東1丁目2番地 (0157)24-2111	斜里支店 斜里郡斜里町本町31番2 (0152)23-2111	美幌支店 網走郡美幌町字大通北2丁目14番地 (0152)73-3194	店舗外ATM
	留辺蘂支店 北見市北2条東1丁目2番地(北見中央支店内) (0157)24-2111	遠軽支店 紋別郡遠軽町大通北1丁目1番地 (0158)42-2161	紋別支店 紋別市本町3丁目1番22号 (0158)23-3101	イトーヨーカドー北見店 北見メッセ イオン北見店

東京都	東京支店 東京都千代田区丸の内1丁目2番1号(東京海上日動ビルディング新館6階) (03)3284-0811			
-----	---	--	--	--

振込専用支店	はまなす支店		
--------	---------------	--	--

海外駐在員事務所	大連駐在員事務所 中華人民共和国遼寧省大連市西岗区中山路147号 申貿大廈10階 86-411-8365-8288	セブン銀行、E-net(イーネット)、ローソン銀行との提携により、全国のコンビニエンスストアに設置されたATMで、北洋銀行のキャッシュカードによる入出金や残高照会などがご利用いただけます。 なお、ATMの設置場所等は各社のホームページでご確認ください。
	上海駐在員事務所 中華人民共和国上海市延安西路2201号 上海国際貿易中心16階 86-21-6275-2666	

LINK LINE ATM

バンコク駐在員事務所 タイ王国バンコク市パンラック区シーロム地区ノース・サトーン通98 サトーン・スクエアオフィスタワー20階 66-2-163-2834	セブン銀行 E-net ローソン銀行	https://www.sevenbank.co.jp/ https://www.enetcom.co.jp/ https://www.lawsonbank.jp/
---	--------------------------	--

ご相談コーナー等

住宅融資相談専門窓口

本店ローンブラザ 札幌市中央区大通西3丁目7番地(北洋銀行本店営業部2階)(011)261-1357 営業時間/平日9:00~16:30 土・日(祝日除く)10:00~16:30
麻生ローンブラザ 札幌市北区北38条西4丁目2番15号(北洋銀行麻生支店1階)(011)738-3851 営業時間/平日9:00~16:30 土・日(祝日除く)10:00~16:30
豊平ローンブラザ 札幌市豊平区豊平4条6丁目1番20号(北洋銀行豊平支店2階)(011)837-8831 営業時間/平日9:00~16:30 土・日(祝日除く)10:00~16:30
平岸ローンブラザ 札幌市豊平区平岸3条8丁目1番33号(北洋銀行平岸中央支店2階)(011)822-6170 営業時間/平日9:00~15:00 土・日(祝日除く)10:00~16:30
琴似ローンブラザ 札幌市西区琴似2条5丁目1番1号(北洋銀行琴似中央支店2階)(011)631-1633 営業時間/平日9:00~15:00 土・日(祝日除く)10:00~16:30
東区ローンブラザ 札幌市東区北15条東15丁目4番10号(北洋銀行北十五条支店2階)(011)751-1131 営業時間/平日9:00~15:00 土・日(祝日除く)10:00~16:30
白石ローンブラザ 札幌市白石区本通4丁目南2番8号(北洋銀行白石中央支店2階)(011)861-8261 営業時間/平日9:00~15:00 土・日(祝日除く)10:00~16:30
千歳ローンブラザ 千歳市千代田町3丁目11番地(北洋銀行千歳中央支店2階)(0123)23-3172 営業時間/平日9:00~15:00 日曜日(土・祝日除く)10:00~16:30
岩見沢ローンブラザ 岩見沢市4条西6丁目12番地1(北洋銀行岩見沢中央支店2階)(0126)22-1060 営業時間/平日9:00~15:00
小樽ローンブラザ 小樽市稲穂2丁目2番4号(北洋銀行小樽中央支店2階)(0134)23-8117 営業時間/平日9:00~15:00

資産運用相談専門窓口

本店コンサルティングブラザ 札幌市中央区大通西3丁目7番地(北洋銀行本店営業部2階)(011)261-2315 営業時間/平日9:00~15:00
円山コンサルティングブラザ 札幌市中央区南1条西24丁目1番1号(北洋銀行円山公園支店内)(011)631-5266 営業時間/平日9:00~15:00
平岸コンサルティングブラザ 札幌市豊平区平岸3条8丁目1番33号(北洋銀行平岸中央支店内)(011)827-7420 営業時間/平日9:00~15:00
麻生コンサルティングブラザ 札幌市北区北38条西4丁目2番15号(北洋銀行麻生支店内)(011)788-8385 営業時間/平日9:00~15:00
琴似コンサルティングブラザ 札幌市西区琴似2条5丁目1番1号(北洋銀行琴似中央支店内)(011)688-7361 営業時間/平日9:00~15:00
厚別コンサルティングブラザ 札幌市厚別区厚別中央2条5丁目7番4号(北洋銀行厚別中央支店内)(011)802-5780 営業時間/平日9:00~15:00
清田コンサルティングブラザ 札幌市清田区平岡1条1丁目1番2号(北洋銀行清田区役所前支店内)(011)887-6105 営業時間/平日9:00~15:00
月寒コンサルティングブラザ 札幌市豊平区月寒中央通9丁目3番1号(北洋銀行月寒中央支店内)(011)876-8024 営業時間/平日9:00~15:00
石山通コンサルティングブラザ 札幌市中央区南21条西11丁目1番3号(北洋銀行石山通支店内)(011)522-6525 営業時間/平日9:00~15:00
手稲コンサルティングブラザ 札幌市手稲区前田1条11丁目1番20号(北洋銀行手稲中央支店内)(011)688-7362 営業時間/平日9:00~15:00

保険専門相談窓口

北洋ほけんブラザ大通 札幌市中央区大通西3丁目7番地(北洋銀行本店営業部内) (0120)522-124 営業時間/平日9:00~16:30 土・日(祝日除く)10:00~16:30
北洋ほけんブラザ平岸 札幌市豊平区平岸3条8丁目1番33号(北洋銀行平岸中央支店内) (0120)117-089 営業時間/平日9:00~16:30 土・日(祝日除く)10:00~16:30

● 詳しい業務内容等については当行までお問い合わせください。

苫小牧ローンブラザ 苫小牧市表町2丁目1番1号(北洋銀行苫小牧中央支店2階)(0144)33-3620 営業時間/平日9:00~15:00
室蘭ローンブラザ 室蘭市中島町1丁目22番6号(北洋銀行中島町支店2階)(0143)44-1021 営業時間/平日9:00~15:00
旭川ローンブラザ 旭川市4条通9丁目1703番地(北洋銀行旭川中央支店2階)(0166)26-2121 営業時間/平日9:00~15:00
函館ローンブラザ 函館市美原1丁目12番5号(北洋銀行美原支店2階)(0138)43-6601 営業時間/平日9:00~15:00
帯広ローンブラザ 帯広市西2条南12丁目1(JR帯広駅北口ビル2階)(0155)24-5234 営業時間/平日9:00~15:00
釧路ローンブラザ 釧路市北大通6丁目2番地(北洋銀行釧路中央支店2階)(0154)23-5110 営業時間/平日9:00~15:00
北見ローンブラザ 北見市北2条東1丁目2番地(北洋銀行北見中央支店1階)(0157)24-1411 営業時間/平日9:00~15:00

白石コンサルティングブラザ 札幌市白石区本通4丁目南2番8号(北洋銀行白石中央支店内)(011)876-8920 営業時間/平日9:00~15:00
北十五条コンサルティングブラザ 札幌市東区北15条東15丁目4番10号(北洋銀行北十五条支店内)(011)788-2037 営業時間/平日9:00~15:00
宮の沢コンサルティングブラザ 札幌市西区発寒6条10丁目1番27号(北洋銀行宮の沢支店内)(011)676-3061 営業時間/平日9:00~15:00
野幌コンサルティングブラザ 江別市野幌町47番地14(北洋銀行野幌中央支店内)(011)398-3104 営業時間/平日9:00~15:00
小樽コンサルティングブラザ 小樽市稲穂2丁目2番4号(北洋銀行小樽中央支店内)(0134)26-6171 営業時間/平日9:00~15:00
旭川コンサルティングブラザ 旭川市4条通9丁目1703番地(北洋銀行旭川中央支店内)(0166)73-4114 営業時間/平日9:00~15:00
苫小牧コンサルティングブラザ 苫小牧市表町2丁目1番1号(北洋銀行苫小牧中央支店内)(0144)84-7101 営業時間/平日9:00~15:00
釧路コンサルティングブラザ 釧路市北大通6丁目2番地(北洋銀行釧路中央支店内)(0154)65-5022 営業時間/平日9:00~15:00
帯広コンサルティングブラザ 帯広市西2条南12丁目1(北洋銀行帯広中央支店内)(0155)66-5005 営業時間/平日9:00~15:00
五稜郭コンサルティングブラザ 函館市本町7番16号(北洋銀行五稜郭公園支店内)(0138)83-1668 営業時間/平日9:00~15:00

北洋ほけんブラザ琴似 札幌市西区琴似2条5丁目1番1号(北洋銀行琴似中央支店内) (0120)117-836 営業時間/平日9:00~16:30 土・日(祝日除く)10:00~16:30

株式会社 北洋銀行 経営企画部

〒060-8661 札幌市中央区大通西3丁目7番地

電話 011-261-1311 (代表)

<https://www.hokuyobank.co.jp/>

2021年7月発行

UD FONT 見やすいユニバーサル
デザインフォントを
使用しています。

